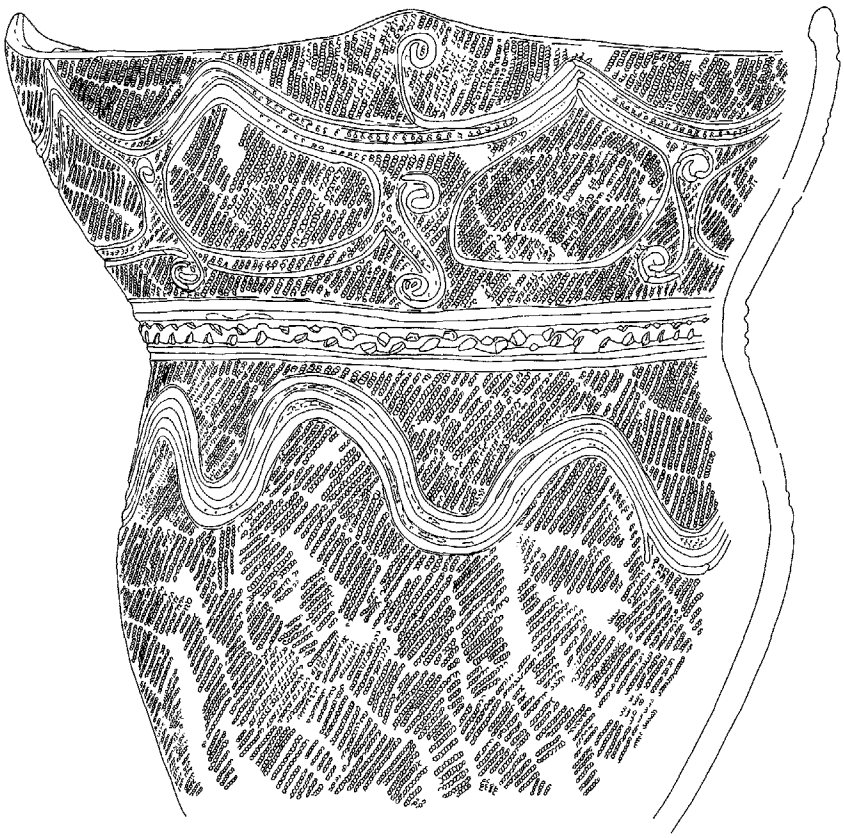
五代伊勢宮Ⅱ遺跡

五代南部工業団地及び住宅団地造成に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書

2001

前橋市埋蔵文化財発掘調査団

五代伊勢宮Ⅱ遺跡



前橋市埋蔵文化財発掘調査団

1．調査区遠景

2．五代伊勢宮Ⅱ遺跡出土土器（縄文時代中期）

3．調査区全景

4．五代伊勢宮Ⅱ遺跡出土土器（古墳～奈良時代）

序

前橋市は、雄大な裾野を広げる赤城山を背に、坂東太郎として名高い利根川や詩情豊かな広瀬川が市街地を貫流する、四季折々の風情にあふれた美しい県都です。

前橋市域の赤城山南麓と前橋台地上には、旧石器時代から近世、近代に至るまで、人々の生活の痕跡を示す遺跡・遺物が数多く存在します。特に古墳においては、かつて市域に800余基の存在が伝えられています。その中には大室四古墳をはじめ国指定史跡となっている古墳も9基含まれ、東国古墳文化の中心として位置づけられてきました。また、続く律令政治の時代に入ると、山王廃寺、上野国分僧寺、上野国分尼寺、上野国府の存在が示す通り、政治、宗教、経済の中心地として花開き一大文化圏が形成されました。さらに中世においては、戦国武将の長尾氏・上杉氏・武田氏・北条氏が鎬をけずった地として知られ、近世においては、譜代大名の酒井氏・松平氏が居城した関東三名城の一つに数えられる厩橋城が築かれました。まさに、前橋はこれまで連綿と続いてきた歴史を物語る様々な文化財で溢れています。

五代伊勢宮Ⅱ遺跡は、前橋市の北東の方向の五代町地内に位置しており、昨年度から五代南部工業団地及び住宅団地造成事業に伴う埋蔵文化財発掘調査が実施されてきております。2年目にあたる今年度は、縄文時代の住居跡、古墳時代から奈良時代の住居跡、掘立柱建物跡など多くの遺構と遺物を検出し、貴重な資料を得ることができました。その中でも、縄文時代中期の土器が多数出土し、文様などから長野県や関東各地域との交流が盛んに行われていたことが推測されます。

発掘調査にあたりまして、ご協力いただきました市工業課、前橋工業団地造成組合、地元関係者、酷暑の中調査に従事されました皆様に感謝とお礼を申し上げます。

平成14年3月

前橋市埋蔵文化財発掘調査団
団　長　　阿部　明雄

例　　言

1．本報告書は、五代南部工業団地及び住宅団地造成に伴う五代伊勢宮Ⅱ遺跡発掘調査報告書である。

2．本遺跡の遺跡コードは13C27である。

3．調査主体は、前橋市埋蔵文化財発掘調査団である。

4．発掘調査の要項は次のとおりである。

調　査　場　所	群馬県前橋市五代町地内
発掘調査期間	平成13年5月18日～平成13年12月17日
整理・報告書作成期間	平成13年12月18日～平成14年3月22日
発掘・整理担当者	高橋一彦・倉品敦子

5．本書の原稿執筆・編集は高橋・倉品が行った。

6．発掘調査・整理作業にかかわった方々は次のとおりである。

今井弘子・植木政俊・大島きく江・須田隆治・鈴木民江・高橋公代・多田啓子・中林美智子・細野進太郎
堀込とよ江・弥郡啓吾・渡辺永造・木村美芳・長澤幸枝・奈良啓子・大塚美智子・柴崎まさ子・戸丸澄江

7．発掘調査で出土した遺物は、当発掘調査団より前橋市教育委員会に保管を依頼し、前橋市教育委員会文化財保護課で保管されている。

凡　　例

1．挿図中に使用した北は、座標北である。

2．挿図に建設省国土地理院発行の1／50,000地形図（前橋）、1／25,000地形図（前橋、大胡、渋川、鼻毛石）を使用した。

3．本発掘調査の略称は、13C27である。

4．本遺構及び遺構施設の略称は、次のとおりである。

J…縄文時代の住居跡　　H…古墳・奈良時代の住居跡　　B…掘立柱建物跡
T…竪穴状遺構　　W…溝跡　　D…土坑　　P…柱穴

5．遺構・遺物の実測図の縮尺は、次のとおりである。

遺構　住居跡・掘立柱建物跡・竪穴状遺構・溝跡・土坑・柱穴…1／60
竈断面図…1／30　　全体図…1／200、1／350
遺物　土器…1／3、1／4　　石器…1／2、1／3、2／3、1／4、1／5
臼玉…1／1　　紡錘車…1／2　　銭貨…1／1

6．計測値については、（　　）は現存値、［　　］は復元値を表す。

7．セクション注記の記号○○は締まり、粘性の順である。

8．スクリーントーンの使用は、次のとおりである。

遺構平面図　焼　土…濃点　　灰…斑
遺構断面図　構　築　面…斜線
遺物実測図　須恵器断面…黒塗り　　灰　釉…あられ　　灰釉断面…濃点　　油　煙…斑

9．周辺遺跡概要一覧表については、『芳賀東部団地遺跡　前橋市埋蔵文化財発掘調査団　1998』に加筆した。

目　　次

序 …… i

Ⅰ 調査に至る経緯 …… 1

Ⅱ 遺跡の位置と環境
　1 遺跡の立地 …… 1
　2 歴史的環境 …… 1

Ⅲ 調査の経過
　1 調査方針 …… 5
　2 調査経過 …… 7

Ⅳ 基本層序 …… 7

Ⅴ 遺構と遺物
　1 竪穴住居跡 …… 8
　2 掘立柱建物跡 …… 13
　3 竪穴状遺構 …… 14
　4 溝跡 …… 14
　5 土坑・柱穴 …… 15
　6 その他の遺構・グリッド等出土遺物 …… 15

Ⅵ 考察 …… 31

図　版

口絵1　調査区遠景
2　五代伊勢宮Ⅱ遺跡出土土器（縄文時代中期）
3　調査区全景
4　五代伊勢宮Ⅱ遺跡出土土器（古墳～奈良時代）

PL. 1　J－1～3号住居跡
2　J－4・8、グリッド遺物出土状態、調査区南東部分
3　J－6号住居跡
4　H－1・2号住居跡
5　H－3・4・5・6号住居跡
6　H－7・8・10号住居跡
7　H－11・12・13号住居跡
8　H－15・16号住居跡
9　H－14・17・18号住居跡、調査区北中央部分
10　T－1・2、D－1、木樋、B－1・2・3、現地説明会
11　W－1～4号溝跡
12　H－1・2号住居跡出土の土器
13　H－2～7号住居跡出土の土器
14　H－7～10号住居跡出土の土器
15　H－10～12号住居跡出土の土器
16　H－11～18号住居跡出土の土器
17　J－2、H－1・2・6・10・14・17・18、T－1、W－1、D－1出土の土器・石製品・古銭
18　J－3・4号住居跡出土の縄文土器
19　J－4・6号住居跡出土の縄文土器
20　J－2・4・6・7・8、D－1・32、グリッド出土の縄文土器
21　J－3・4・6号住居跡出土・表採の縄文土器
22　J－1～8、H－1・14、D－1、グリッド出土・表採の石器

挿　図

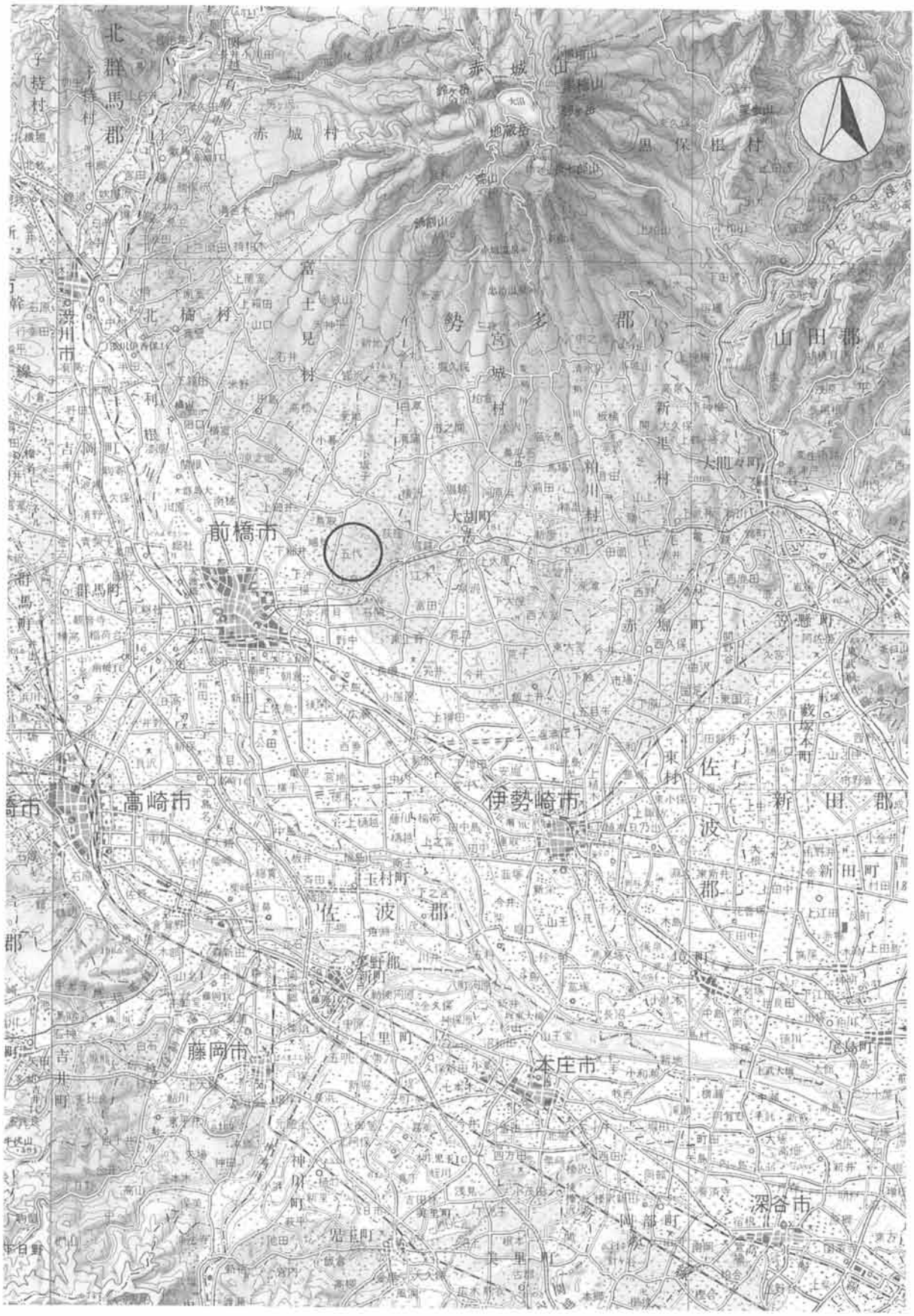
Fig. 1　位置図
2　周辺遺跡図
3　グリッド設定図
4　遺跡全体図（縮尺350分の1）
5　J－1・2号住居跡
6　J－3号住居跡
7　J－4号住居跡
8　J－6号住居跡
9　J－8号住居跡・グリッド遺物出土状態
10　H－1号住居跡
11　H－2号住居跡
12　H－3・4号住居跡
13　H－5・7号住居跡
14　H－6・17号住居跡
15　H－8号住居跡
16　H－10号住居跡
17　H－11号住居跡
18　H－12号住居跡・T－2号竪穴状遺構
19　H－13・14号住居跡
20　H－15・18号住居跡
21　H－16号住居跡・T－1号竪穴状遺構
22　B－1・3号掘立柱建物跡
23　B－2号掘立柱建物跡
24　W－1・2号溝跡
25　W－1・2号溝跡
26　W－1・2号溝跡
27　W－3号溝跡
28　W－3号溝跡
29　W－3号溝跡・D－1～3号土坑
30　W－3号溝跡・D－4・7～9号土坑
31　W－4号溝跡
32　J－7号住居跡・W－4号溝跡
33　W－4号溝跡
34　W－4号溝跡
35　H－1・2号住居跡出土の土器
36　H－2～5号住居跡出土の土器
37　H－5～8号住居跡出土の土器
38　H－10・11号住居跡出土の土器
39　H－11～13号住居跡出土の土器
40　H－13・16～18号住居跡、T－1号竪穴状遺構出土の土器
41　J－2号住居跡、H－1・2・6・14号住居跡、T－1号竪穴状遺構、W－1号溝跡、D－1号土坑・グリッド出土遺物
42　J－3号住居跡出土の縄文土器
43　J－3・4号住居跡出土の縄文土器
44　J－4号住居跡出土の縄文土器
45　J－4号住居跡出土の縄文土器
46　J－4・6号住居跡出土の縄文土器
47　J－4・6～8号住居跡・グリッド出土の縄文土器
48　J－1～3号住居跡出土の石器
49　J－4・6号住居跡出土の石器
50　J－8号住居跡、H－1・14号住居跡、W－3号溝跡、D－1・32号土坑出土の石器
51　石器
52　石器

表

Tab. 1　周辺遺跡概要一覧
2　住居跡一覧表
3　土坑計測表
4　柱穴計測表
5　古墳時代～奈良時代出土遺物観察表
6　石製品観察表
7　縄文時代出土遺物観察表
8　石器観察表

付　図

遺跡全体図（縮尺200分の1）



1：200,000

0 5 10 15 20 キロメートル

Fig. 1　位置図

Ⅰ　調査に至る経緯

本発掘調査は、五代南部工業団地及び住宅団地造成事業実施に伴い行われた。本調査地は、昨年度の試掘調査結果により遺跡地であることが確認されている。今年度は、その発掘調査地年次計画に基づいて行われた調査の２年目にあたるものである。

平成13年４月11日、前橋工業団地造成組合（管理者　萩　原　弥惣治）より、五代南部工業団地及び住宅団地造成に伴う埋蔵文化財発掘調査の依頼が前橋市教育委員会に提出された。前橋市教育委員会が組織する前橋市埋蔵文化財発掘調査団はこれを受諾し、５月７日に前橋工業団地造成組合と前橋市埋蔵文化財発掘調査団との間で埋蔵文化財発掘調査に関する協定書が締結され、その４日後の11日に両者の間で埋蔵文化財発掘調査委託契約が締結された。そして５月18日から現地での発掘調査を開始するに至った。

なお、遺跡名称「五代伊勢宮Ⅱ遺跡」（遺跡コード：13Ｃ27）の「伊勢宮」は旧地籍の小字名を採用した。また、名称中のローマ数字は、当調査団で過去に調査した遺跡と区別するため付したものである。また、今年度の発掘調査面積は約18,962㎡であり、五代伊勢宮Ⅱ遺跡はそのうちの約6,800㎡である。

Ⅱ　遺跡の位置と環境

1　遺跡の立地

五代伊勢宮Ⅱ遺跡は前橋市役所から北東の方向約５㎞の五代町地内の五代南部工業団地造成予定地である。五代町は、昭和29年に前橋市に吸収合併された。それまでは、昭和22年に周囲の６ヶ村と赤城山入会地と合併し、芳賀村となり勢多郡芳賀村字五代であった。旧芳賀村の地域は現在も「芳賀地区」と呼称されている。一緒に吸収合併された五代町の北に隣接する鳥取町は、前橋市の芳賀地区団地造成計画により、昭和45年から住宅・工業団地の開発が進められ、住宅が建ち並び、工場も多数建ち並んでいる。しかし、五代町は一部がこの造成計画によって開発されたが、町の大部分に田畑が残っており、酪農も盛んであり、住宅はまばらな状況である。土地の高低差があり、高いところは宅地、畑、牧草地であり、低いところは田圃になっている。

2　歴史的環境

五代伊勢宮Ⅱ遺跡が位置する赤城山南斜面の台地には、旧石器時代後期から中近世に至る数多くの遺跡が存在し、埋蔵文化財の宝庫として知られている。本遺跡が所在する前橋市の北部「芳賀地区」は、先にも述べた芳賀地区団地造成計画に伴う大規模な発掘調査の他、数多くの発掘調査によってその歴史が明らかにされてきている。

本遺跡のすぐ北に位置する芳賀東部団地遺跡（調査面積約33ha）は、縄文時代から古墳時代、奈良・平安時代まで続く集落跡である。縄文前期の竪穴住居跡60軒、中期末葉と後期前半の敷石住居跡６軒が検出された。また、古墳４基、鍛冶関連遺構５基が検出された。そして、奈良・平安時代の竪穴住居跡約500軒、掘立柱建物跡206軒が検出された。

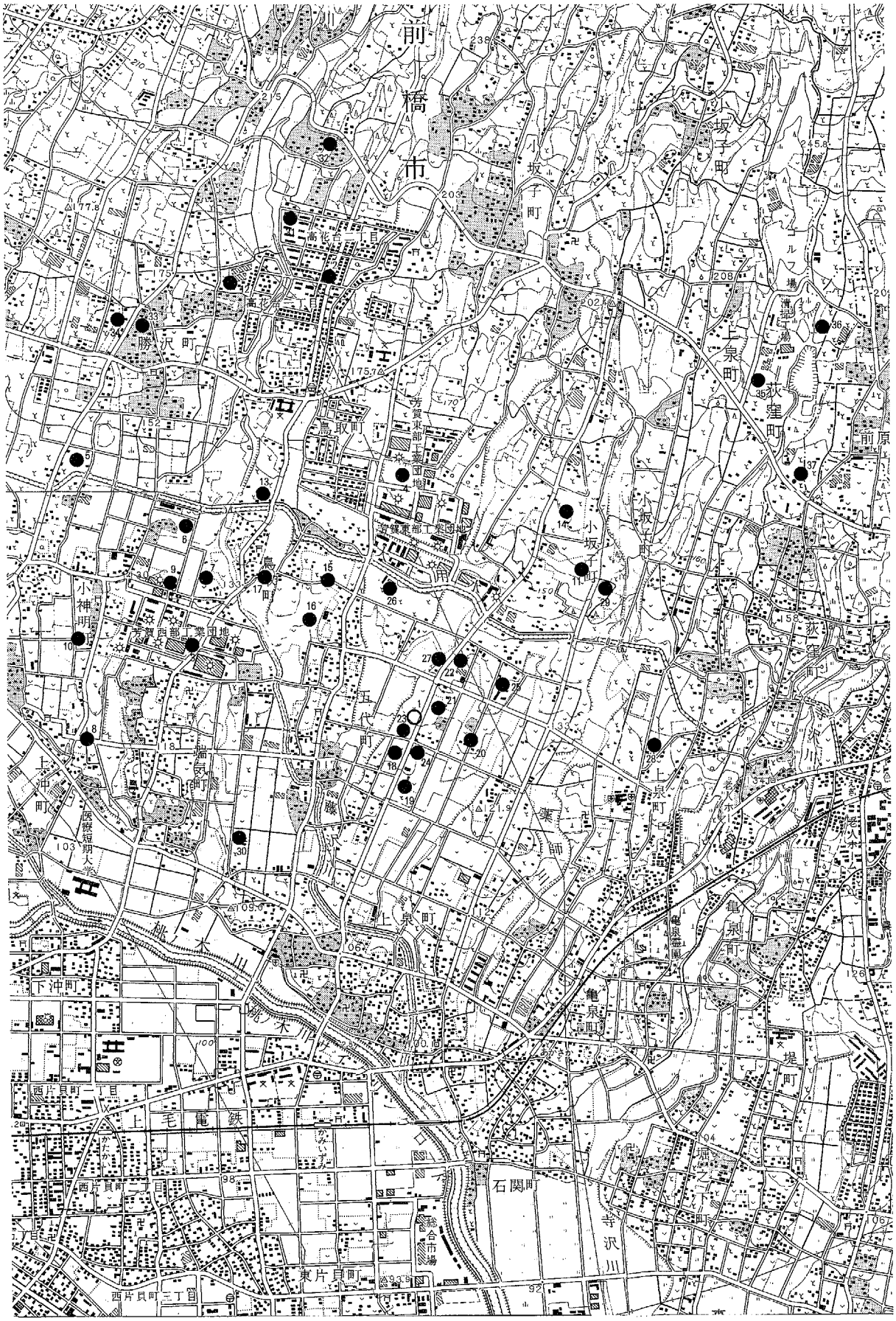

前橋市
勝沢町
高花台
鳥取町
芳賀東部工業団地
芳賀西部工業団地
小神明町
五代町
上泉町
小坂子町
荻窪町
前原
亀泉町
堤町
石関町
寺沢川
桃木川
上毛電鉄
西片貝町一丁目
西片貝町二丁目
西片貝町三丁目
東片貝町
下沖町
上沖町
医療短期大学
総合市場
亀泉霊園
老人ホーム
ゴルフ場
1:25,000
500m 0 500 1000 1500

Fig. 2　周辺遺跡図

Tab.1　周辺遺跡概要一覧

番号	遺跡名	調査年度	時代：遺構の種類及び数
1	五代伊勢宮Ⅱ遺跡	平成13	本遺跡
2	芳賀北部団地遺跡	昭和48・49	縄　文：竪穴住居跡34（うち敷石住居4）、配石遺構17
			奈良・平安：竪穴住居跡237、掘立柱建物跡8、製鉄遺構3 溝28、井戸5、ピット20
3	芳賀西部団地遺跡	昭和50	縄　文：竪穴住居跡7、ピット6、配石遺構3
			古　墳：古墳32、埴輪棺1他
4	芳賀東部団地遺跡	昭和51～55	縄　文：竪穴住居跡60（うち敷石住居6）、ピット140、配石遺構4
			古　墳：竪穴住居跡75、古墳4
			奈良・平安：竪穴住居跡411、掘立柱建物跡約206、 鍛冶・精錬址5、その他635
5	小神明遺跡群Ⅰ	昭和57	縄　文：竪穴住居跡7、ピット4、その他1
			奈良・平安：竪穴住居跡3
6	小神明遺跡群Ⅱ 九料遺跡	昭和58・60	縄　文：敷石住居跡3
			古　墳：竪穴住居跡40、掘立柱建物跡1
			奈良・平安：竪穴住居跡2
7	小神明遺跡群Ⅱ 西田遺跡	昭和58	縄　文：竪穴住居跡3
			古　墳：竪穴住居跡4、円墳4、帆立貝式古墳1
8	端気遺跡群Ⅰ・Ⅱ	昭和57・58	縄　文：竪穴住居跡2、ピット1
			弥　生：方形周溝墓2、ピット1、溝状遺構1
			古　墳：竪穴住居跡16
9	倉本遺跡	昭和58	弥　生：竪穴住居跡2
10	小神明遺跡群Ⅱ 大明神遺跡	昭和58	古　墳：竪穴住居跡2
11	檜峯遺跡	昭和56	古　墳：竪穴住居跡11
			奈良・平安：竪穴住居跡65
12	芳賀北曲輪遺跡	平成2	縄　文：竪穴住居跡23（うち敷石住居4）、配石遺構1
			古　墳：古墳6
13	芳賀北原遺跡	平成3	古　墳：竪穴住居跡3
			奈良・平安：竪穴住居跡6
14	五代檜峯遺跡	平成9	古　墳：竪穴住居跡2
15	鳥取東原遺跡	平成9	古　墳：竪穴住居跡1
			近　世：埋葬施設1
16	鳥取福蔵寺遺跡	平成9	縄　文：竪穴住居跡2、落ち込み2
			古墳～平安：竪穴住居跡41（製鉄遺構1）、土坑83、掘立柱建物跡1 井戸跡2
17	鳥取福蔵寺Ⅱ遺跡	平成10	旧石器：細石刃文化石器群
			縄　文：竪穴住居跡6
			古　墳：竪穴住居跡12
			奈良・平安：竪穴住居跡29、掘立柱遺構9、鍛冶工房跡1

番号	遺跡名	調査年度	時代：遺構の種類及び数
18	五代江戸屋敷遺跡	平成12	縄文：土坑1
			古墳：竪穴住居跡44、方形周溝墓2、周溝状遺構1、
			奈良・平安：竪穴住居跡12、掘立柱建物跡1、ピット87、井戸跡1
			中世：地下式土坑2、溝1
19	五代木福Ⅰ遺跡	平成12	縄文：竪穴住居跡1、ピット6、配石遺構3
			古墳：竪穴住居跡35、土坑8
			奈良・平安：掘立柱建物跡19、土坑2、ピット220
			中世・近世：土坑11、溝8
20	五代木福Ⅱ遺跡	平成12	縄文：配石1
			古墳：竪穴住居跡61
			奈良・平安：竪穴住居跡114、掘立柱建物跡16
			中世：溝2、地下式土坑2、井戸6
			近世以降：溝6
21	五代竹花遺跡	平成12	縄文：竪穴住居跡2
			古墳：竪穴住居跡5、土坑1
			奈良・平安：竪穴住居跡11、土坑3、ピット254
			近世・現代：溝2
22	五代深堀Ⅰ遺跡	平成12	縄文：竪穴住居跡1
			奈良・平安：竪穴住居跡2、ピット29、掘立柱建物跡3（奈良～中世）
23	五代伊勢宮Ⅰ遺跡	平成12	古墳：竪穴住居跡3
			奈良・平安：竪穴住居跡3、ピット1
			中世・近世：土坑1、溝1
24	五代伊勢宮Ⅲ遺跡	平成13	縄文：土坑1
			奈良・平安：竪穴住居跡3
			中世・近世：土坑66、溝3、井戸3、地下式土坑5
25	五代深堀Ⅱ遺跡	平成13	縄文：竪穴住居跡1、土坑2
			古墳：竪穴住居跡2
			奈良・平安：竪穴住居跡7
26	五代中原Ⅰ遺跡	平成13	縄文（前期）：竪穴住居跡3
			古墳：竪穴住居跡5
			奈良・平安：竪穴住居跡19、溝1
			中世・近世：土坑5
27	五代伊勢宮Ⅳ遺跡	平成13	縄文（中期）：竪穴住居跡3、土坑194
			奈良・平安：竪穴住居跡1

◎その他の周辺の遺跡

28 新田塚古墳　29 檜峯古墳　30 大日塚古墳　31 桂正田稲塚古墳
32 東公田古墳　33 オブ塚古墳　34 オブ塚西古墳　35 荻窪鰯塚遺跡
36 荻窪東爪遺跡　37 荻窪倉兼遺跡

本遺跡の西に位置する芳賀西部団地遺跡（調査面積約2.5ha）は、縄文時代前期の竪穴住居跡、埴輪棺等の他、古墳総覧記載漏れの古墳32基が集中して検出され、初期群集墳であることが分かった。また、小神明遺跡群Ⅱの西田遺跡からは円墳４基、帆立貝式古墳１基が検出された。昭和10年、県下一斉に行われた古墳調査において芳賀地区には64基の古墳があるとされ、赤城南麓では旧荒砥村、粕川村、旧桂萱村についで古墳の多いところとされてきた。しかし、古墳総覧記載漏れの古墳を併せると、芳賀地区には実に100基もの古墳が集中して存在したことになる。

芳賀北部団地遺跡（調査面積約約6.1ha）は縄文時代前期、後期の竪穴住居跡、中期の敷石住居跡が検出された。また、奈良・平安時代では竪穴住居跡237軒が検出され、中世では勝山城址の一部が検出された。

鳥取福蔵寺遺跡では、縄文前期の住居跡が２軒、奈良・平安時代の住居跡が39軒・精錬鍛冶炉遺構が１基、中世の竪穴状遺構１基などが検出された。

鳥取福蔵寺Ⅱ遺跡では、特筆すべきこととして約13,000年前に堆積した浅間黄色軽石層直下の関東ローム層中より旧石器が検出された。細石刃文化石器群と認められるだけでも350点検出された。器種も細石核、細石刃、スキー状削片、彫刻刀型石器、削器、掻器、礫器など多岐に及んだ。縄文時代前・中・後期の竪穴住居跡６軒、古墳時代の竪穴住居跡12軒、奈良・平安時代の竪穴住居跡29軒・掘立柱遺構９基・鍛冶工房跡１基が検出された。

檜峯遺跡からは、奈良・平安時代の竪穴住居跡65軒とともに奈良三彩小壺（前橋指定重要文化財）が検出された。

このように芳賀地区の主な遺跡を見てくると、旧石器の終わりから縄文、古墳、奈良・平安、中近世と、古くから絶えることなく人々が生活をしてきたことが窺える。

Ⅲ　調査の経過

1　調査方針

委託調査箇所は、五代南部工業団地及び住宅団地の造成が計画されている地域（約427,600㎡）のうち、昨年度試掘調査の結果、本調査が必要とされた地域（約137,500㎡）である。グリッドについては、４ｍピッチで西から東へＸ０、Ｘ１、Ｘ２…と、北から南へＹ０、Ｙ１、Ｙ２…と付番し、グリッドの呼称は北西杭の名称を使用した。本遺跡（五代伊勢宮Ⅱ遺跡）は、本調査が必要とされた地域のうち約6,800㎡である。

本遺跡のＸ41・Ｙ220の公共座標は次のとおりである。

第Ⅸ系	＋45424.000（Ｘ）		－64500.000（Ｙ）
緯度	36° 24′ 26″．2118	経度	139° 06′ 50″．7596
子午線収差角	25′ 36″．8	増大率	0.999951

調査方法は、表土掘削・遺構確認・杭打ち・遺構掘下・遺構精査・測量・全景写真撮影の手順で行った。

図面作成は、平板・簡易遣り方測量を用い、遺構平面図は原則として1／20、住居跡竈は1／10の縮尺で作成した。遺物については平面分布図を作成し、台帳に各種記録をしながら収納した。包含層の遺物はグリッド単位で収納し、重要遺物については分布図・遺物台帳の記載を行い収納した。

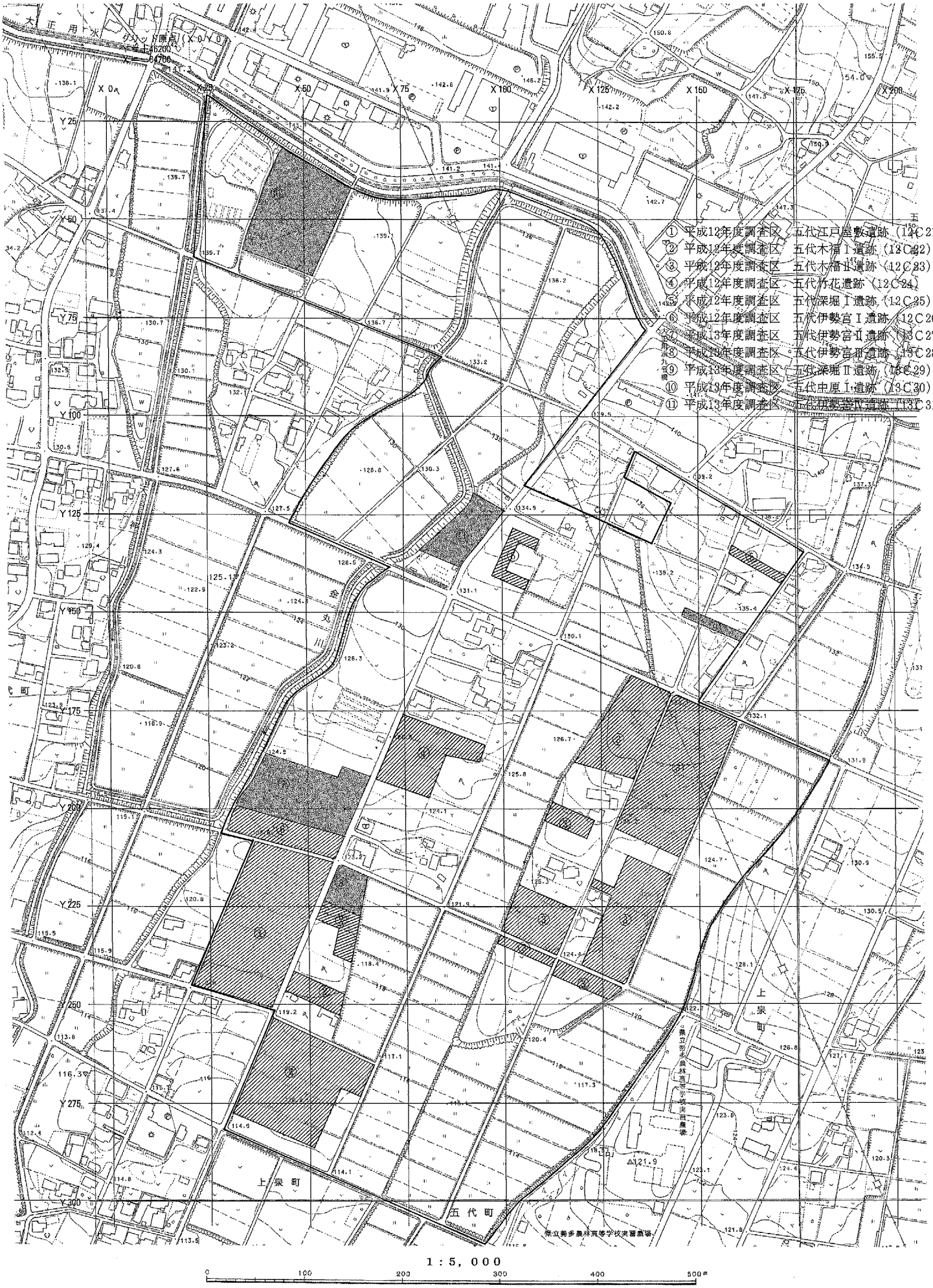


Fig. 3　グリッド設定図

2　調査経過

本遺跡の発掘調査は、委託契約を５月11日に締結し、18日から調査を開始した。重機（バックフォー0.7m³）２台と10ｔダンプ１台を使い、調査区の表土掘削を行った。表土掘削に16日間かかり、それと並行して、鋤簾による遺構確認を行った。その結果、現耕作土直下からローム面が検出され、住居跡と思われる遺構29軒が見つかった。そのうち13軒が縄文時代の遺構ではないかと想定されたが、埋没土が地山のロームと類似し、平面プランを明確に確認するのが難しい状態であったため、サブトレンチを入れながら遺構の範囲を確認した。

25日に杭打ちを行い、遺構の掘下・精査に入った。住居跡の掘り込みは深く、掘り下げに多くの時間を要した。今年は天候に恵まれ、梅雨時の作業は足止めを喰うことなく順調に進んでいったが、７月に入ると一転して猛暑の日が続き（７月24日には気温40度を記録）作業も停滞しがちになった。また、調査区が広いため遺構面を掃除するのに多大な労力を要した。

６月22日には、芳賀中学校の２年生２名が職場体験学習に訪れ、発掘調査の現場を体験した。中学生は発掘調査の話や出土遺物の説明を受けた後、住居跡の精査を経験し、遺物を発見した時の喜びや発掘の苦労を少なからず感じて帰校したようであった。また五代町生涯学習推進協議会より依頼を受けて、10月21日に五代伊勢宮Ⅱ遺跡現地説明会を開催した。五代町住民40名余りの参加のもと、出土遺物の説明、現地見学を行なった。参加した住民は、自分たちの住んでいる大地（町）から貴重な遺構が検出されたということで興味・関心を持って来た人が多かったようである。

遺構精査の結果、竪穴住居跡24軒、掘立柱建物跡３軒、竪穴状遺構２軒、土坑33基、柱穴490基、溝跡４条が検出された。12月５日には委託業者によるヘリウムガス仕様気球を用いた空中写真撮影を行い、10日より一週間現場事務所において土器洗いや図面整理などを済ませ、17日をもって現地での調査は終了となった。その後、重機（バックフォー0.7m³）１台、10ｔダンプ２台、重機（ブルトーザー：Ｄ２）１台で７日間かけて埋め戻しを行った。18日より文化財保護課に戻り、出土遺物・図面・写真等の整理作業にあたり、翌年３月22日までにすべての作業を完成させる運びとなった。

Ⅳ　基　本　層　序

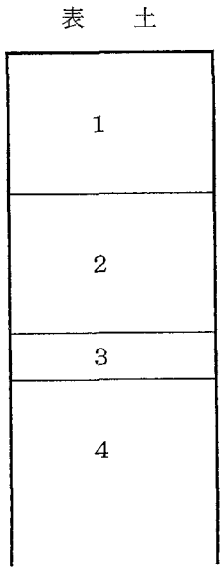
本遺跡地内の地層の堆積は、右のとおりである。

1　**褐灰色粗砂層**　（10ＹＲ4／1）　締まり○　粘性×　現耕作土
厚さ15cm前後

2　**灰黄褐色粗砂層**　（10ＹＲ5／2）　締まり○　粘性×　Hr-FP軽石・As-C軽石を含む。厚さ15cm前後

3　**にぶい黄褐色細砂層**（10ＹＲ5／4）　締まり○　粘性×　As-C軽石を含む。ローム漸移層　厚さ５cm前後

4　**明黄褐色細砂層**　（10ＹＲ3／3）　締まり△　粘性×　ローム層



V　遺構と遺物

1　竪穴住居跡

J－1号住居跡（Fig. 5、PL. 1）

位　置　X61・62、Y191・192グリッド　長軸方向　N－27°－E　面　積　8.58㎡

形状等　円形。長径3.60m、短径3.17m、壁現高22㎝を測る。

床　全体に平坦で堅緻な床面。

炉　住居のほぼ中央より長方形の石組炉が検出された。長軸方向はN－10°－Wであり、長軸63㎝、短軸52㎝、深さ20.5㎝を測る。炉の北東部分に石の抜けた形跡が見られる。

時　期　住居の形状や出土遺物から、縄文時代中期と考えられる。

遺　物　総数28点。そのうち、削器1点を図示した。

J－2号住居跡（Fig. 5、PL. 1）

位　置　X58・59、Y195・196グリッド　長軸方向　N－73°－E　面　積　[15.38] ㎡

形状等　隅丸方形。長径4.95m、短径4.75m、壁現高17㎝を測る。

床　南側半分に耕作痕と見られる攪乱を受けているが、全体に平坦な床面。

炉　検出されず。

時　期　時期を確定する遺物の出土がなかったが、住居の形態等から縄文時代中期のものと考えられる。

遺　物　総数35点。そのうち、石皿1点、臼玉1点を図示した。

J－3号住居跡（Fig. 6、PL. 1）

位　置　X58・59、Y197～199グリッド　長軸方向　N－55°－W　面　積　[24.65] ㎡

形状等　円形。長径5.72m、短径5.37m、壁現高24.5㎝を測る。北西隅に攪乱を受けている。

床　全体に平坦で堅緻な床面。

炉　住居の中央やや北寄りに地床炉が検出された。長軸方向はN－47°－Wであり、長軸140㎝、短軸92㎝、深さ14㎝を測る。炉の中に炉体土器あり。

時　期　出土遺物から、縄文時代中期後半（加曽利E期）と考えられる。

遺　物　総数978点。そのうち、深鉢18点、石鏃3点、ハンマーストーン1点、敲石1点、磨り石1点を図示した。

J－4号住居跡（Fig. 7、PL. 2）

位　置　X55・56、Y196～198グリッド　長軸方向　N－48°－W　面　積　38.47㎡

形状等　円形。長径7.38m、短径7.10m、壁現高45㎝を測る。住居のほぼ中央に直径約260㎝、深さ56㎝の土器捨て穴が検出され、そこから大量の遺物が出土した。

床　全体に平坦で非常に堅緻な床面。

炉　検出されず。

時　期　出土遺物から、縄文時代中期後半（加曽利E期）と考えられる。

遺　物　総数3,084点。そのうち、深鉢39点、浅鉢3点、両耳壺1点、台付鉢1点、土製円盤4点、石鏃1点、打製石斧6点、石匙1点、削器1点、石槍1点、磨り石1点を図示した。

J－5号住居跡　欠番

J－6号住居跡（Fig. 8、PL. 3）

位　置　X36・37、Y190～192グリッド　長軸方向　N－43°－E　面　積　[28.59] ㎡

形状等　楕円形。長径7.0m、短径（6.4）m、壁現高40cmを測る。住居北西部分は調査区域外。住居の南東隅に出入り口部分と思われる高まりが見られる。

床　全体に平坦で非常に堅緻な床面。炉の北側に小型の埋設土器あり。

炉　住居の中央やや南寄りに長方形の石組炉が検出された。長軸方向はN－35°－Wであり、長軸115cm、短軸94cm、深さ20cmを測る。南東側の石が一部抜けており、そこから流れ出たと思われる焼土が炉の東側に見られた。炉の内部にピットが見られ、土器が埋設してあった可能性がある。

時　期　出土遺物から、縄文時代中期後半（加曽利E期）と考えられる。

遺　物　総数724点。そのうち、深鉢10点、浅鉢1点、磨り石1点を図示した。

J－7号住居跡（Fig.32）

位　置　X51・52、Y198～200グリッド　**長軸方向**　N－5°－E　**面　積**　[16.96] m²

形状等　円形。W－4に切られており、住居の範囲は推定であるが、長径（4.83）m、短径（4.76）m、壁現高（55）cmを測る。

床　W－4に切られているため、明確に確認できなかった。

炉　検出されず。

時　期　出土遺物から、縄文時代前期（黒浜式期）と考えられる。

遺　物　総数5点。そのうち、深鉢1点を図示した。

J－8号住居跡（Fig.9、PL.2）

位　置　X63・64、Y189～191グリッド　**長軸方向**　N－5°－W　**面　積**　[26.82] m²

形状等　円形。長径6.20m、短径5.76m、壁現高15cmを測る。W－.1に住居のほぼ中心を切られている。

床　全体に平坦な床面。

炉　住居の中央やや南寄りに炉の一部と思われる石と、炉体土器と思われる深鉢が検出され、その周辺に炉の痕跡と思われるくぼみが確認された。W－1に切られているため、その規模は推定であるが、長軸方向はN－35°－Wであり、長軸（115）cm、短軸（94）cm、深さ（20）cmを測る。

時　期　出土遺物から、縄文時代中期後半（加曽利E期）と考えられる。

遺　物　総数38点。そのうち、深鉢1点、石鏃1点、打製石斧1点を図示した。

H－1号住居跡（Fig.10、PL.4）

位　置　X59～61、Y199～201グリッド　**主軸方向**　N－98°－W　**面　積**　[44.20] m²

形状等　長方形。東西7.40m、南北7.98m、壁現高79cmを測る。住居南東部分は調査区域外。

床　全体に平坦で、中心部分に堅緻な面。床面上から大量の炭化物が検出され、一部焼けた部分も見られた。周溝あり。

竈　西壁南寄りより検出され、主軸方向がN－104°－Wであり、全長124cm、最大幅101cm、焚口部幅14cmを測る。支柱石が見られ、両袖に石を構築材として使用。袖の上に渡してあったと思われる土器が焚口付近から検出された。付け替え前の竈があったと思われる焼土が住居東壁北寄りから検出された。

貯蔵穴　竈南側、南西コーナーより1基検出。

時　期　覆土や出土遺物から、6世紀後半と考えられる。

遺　物　総数1,331点。そのうち、坏3点、甕2点、紡錘車2点、臼玉1点を図示した。

H－2号住居跡（Fig.11、PL.4）

位　置　X37～39、Y196～198グリッド　**主軸方向**　N－60°－E　**面　積**　44.65m²

形状等　正方形。東西6.99m、南北6.78m、壁現高61cmを測る。西壁中央寄りに105×90cmのピットを検出。住居の湿気取りの役割か。

床　全体に平坦で、南側に堅緻な床面。周溝がほぼ全周する。

竈　東壁南寄りより検出され、主軸方向がN－63°－Eであり、全長145cm、最大幅97cm、焚口部幅15cm

を測る。北側の袖に石、南側の袖に土器を構築材として使用。袖の上に渡してあったと思われる土器がつぶれた状態で出土。竈の南側に古い竈の構築材と思われる粘土が堆積しており、竈を作り直したときの補強材として使用されたものと考えられる。

貯蔵穴　竈南側、南東コーナーより１基検出。

時　期　覆土や出土遺物から、６世紀第３四半期と考えられる。

遺　物　総数1,227点。そのうち、坏４点、甑２点、壺２点、甕５点、紡錘車１点を図示した。

Ｈ－３号住居跡（Fig.12、PL.５）

位　置　X56・57、Y191グリッド　**主軸方向**　N－93°－E　**面　積**　[10.85]m²

形状等　長方形。東西3.08m、南北3.74m、壁現高39cmを測る。

床　全体に平坦な床面。南西隅に一部攪乱を受けている。

竈　東壁南寄りより検出され、主軸方向がN－95°－Eであり、全長（113）cm、最大幅（126）cm、焚口部幅（35）cmを測る。残存状況が悪く、北側の袖が攪乱により欠落している。

貯蔵穴　竈南隣、南東コーナーより１基検出。

時　期　覆土や出土遺物から、８世紀第４四半期と考えられる。

遺　物　総数113点。そのうち、坏１点、蓋１点を図示した。

Ｈ－４号住居跡（Fig.12、PL.５）

位　置　X55・56、Y191・192グリッド　**主軸方向**　N－116°－E　**面　積**　[10.41] m²

形状等　正方形。東西3.54m、南北3.34m、壁現高52cmを測る。南西隅に一部攪乱を受けている。

床　全体に平坦で、一部堅緻な面。周溝は北側で一部とぎれる。

竈　東壁南寄りより検出され、主軸方向がN－128°－Eであり、全長（153）cm、最大幅（123）cm、焚口部幅（29）cmを測る。残存状況が悪い。

貯蔵穴　竈南隣、南東コーナーより１基検出。

時　期　覆土や出土遺物から、８世紀第３四半紀と考えられる。

遺　物　総数251点。そのうち、坏３点を図示した。

Ｈ－５号住居跡（Fig.13、PL.５）

位　置　X56、Y189・190グリッド　**主軸方向**　N－108°－E　**面　積**　11.64m²

形状等　正方形。東西3.80m、南北3.58m、壁現高69.5cmを測る。

床　全体に平坦で、一部堅緻な面。周溝がほぼ全周する。

竈　東壁南寄りより検出され、主軸方向がN－108°－Eであり、全長（157）cm、最大幅（76）cm、焚口部幅（26）cmを測る。残存状況が悪い。

貯蔵穴　竈南隣、南壁寄りより１基検出。

時　期　覆土や出土遺物から、７世紀第２四半期と考えられる。

遺　物　総数237点。そのうち、坏４点、蓋１点を図示した。

Ｈ－６号住居跡（Fig.14、PL.５）

位　置　X53・54、Y189・190グリッド　**主軸方向**　N－157°－E　**面　積**　[9.65] m²

形状等　Ｈ－１７と重複しており、規模は推定であるが、正方形を呈すると思われ、東西[3.19]m、南北[3.12]mを測る。

床　全体に平坦な床面。

竈　南壁東寄りに検出されたが上部が削平されており、痕跡が確認できる程度。主軸方向はN－159°－Eである。

重　複　Ｈ－１７と重複しており、新旧関係は本遺構→Ｈ－１７の順である。

時　期　覆土や出土遺物から、８世紀第３四半期と考えられる。なお、本住居跡から出土している臼玉は重複

しているH－17に伴う可能性がある。

遺　物　総数231点。そのうち、坏１点、臼玉１点を図示した。

H－７号住居跡（Fig.13、PL.６）

位　置　X52・53、Y188・189グリッド　　主軸方向　N－106°－E　　面　積　16.16㎡

形状等　長方形。東西4.67m、南北3.75m、壁現高54.5㎝を測る。

床　全体に平坦で非常に堅緻な床面。周溝がほぼ全周する。

竈　東壁南寄りより検出され、主軸方向がN－118°－Eであり、全長（115）㎝、最大幅（82）㎝、焚口部幅（25）㎝を測る。残存状況が悪い。

貯蔵穴　竈南隣、南東コーナーより１基検出。

時　期　覆土や出土遺物から、８世紀第２四半期と考えられる。

遺　物　総数326点。そのうち、坏４点、埦１点、高坏１点を図示した。

H－８号住居跡（Fig.15、PL.６）

位　置　X52・54、Y197・198グリッド　　主軸方向　N－79°－W　　面　積　31.46㎡

形状等　正方形。東西5.92m、南北5.83m、壁現高75.5㎝を測る。

床　全体に平坦で一部堅緻な床面。住居の拡張があったと考えられ、拡張前の旧住居の床面により多くのHr-FP軽石が見られることから、拡張はHr-FP軽石降下時あたりにおこなわれたものと推測される。周溝が全周している。

竈　西壁中央南寄りより検出され、主軸方向がN－83°－Wであり、全長138㎝、最大幅95㎝、焚口部幅36㎝を測る。南側の袖に石が構築材として使用されている。東壁南寄りに付け替え前の竈跡が検出された。西側の新しい竈の袖の付け根に壁を削り残したロームが見られることから、住居の拡張と竈の付け替えはほぼ同時期に行なわれたものと推測される。

貯蔵穴　竈南隣、西壁寄りより１基検出。また、付け替え前の竈に伴う貯蔵穴が付け替え前の竈跡の北側東壁寄りより検出された。覆土にロームブロックが含まれ一気に埋まった形跡があり、人為的に埋められたものと思われる。

時　期　覆土や出土遺物から、６世紀後半と考えられる。

遺　物　総数610点。そのうち、坏７点、甑１点、壺１点、甕１点を図示した。

H－９号住居跡　　欠番

H－10号住居跡（Fig.16、PL.６）

位　置　X47～49、Y196・197グリッド　　主軸方向　N－70°－E　　面　積　29.93㎡

形状等　正方形。東西5.56m、南北5.96m、壁現高52㎝を測る。

床　全体に平坦で一部堅緻な床面。周溝が全周する。

竈　東壁南寄りより検出されるが、攪乱により北側の袖をわずかに残すのみで、計測不可。

貯蔵穴　竈南隣、南東コーナーより１基検出。

時　期　覆土や出土遺物から、６世紀後半と考えられる。

遺　物　総数424点。そのうち、坏３点、壺１点、甑１点、平瓶１点を図示した。

H－11号住居跡（Fig.17、PL.７）

位　置　X42～44、Y193・194グリッド　　主軸方向　N－63°－E　　面　積　25.76㎡

形状等　正方形。東西5.11m、南北5.52m、壁現高49㎝を測る。

床　全体に平坦で、一部堅緻な面。周溝が全周する。

竈　東壁南寄りより検出され、主軸方向がN－72°－Eであり、全長140㎝、最大幅104㎝、焚口部幅17㎝を測る。両袖に土器が構築材として使用されている。袖の上に渡してあったと思われる土器が焚き口

付近からつぶれた状態で検出された。

貯蔵穴　竈南隣、南東コーナーより１基検出。

時　期　覆土や出土遺物から、６世紀第２四半期と考えられる。

遺　物　総数643点。そのうち、坏５点、甑２点、壺２点、甕４点を図示した。

Ｈ－12号住居跡（Fig.18、PL.７）

位　置　X44～46、Y185～187グリッド　　主軸方向　N－110°－W　　面　積［51.03］㎡

形状等　正方形。東西7.52m、南北7.18m、壁現高28cmを測る。住居南側・東側の一部に攪乱を受けている。

床　全体に平坦な床面。

竈　西壁南寄りより検出され、主軸方向がN－116°－Wであり、全長128cm、最大幅105cm、焚口部幅35cmを測る。残存状況が悪い。

貯蔵穴　竈南側、南西コーナーに１基検出。

重　複　T－２と重複しており、新旧関係は本遺構→T－２の順である。

時　期　覆土や出土遺物から、６世紀第３四半期と考えられる。

遺　物　総数232点。そのうち、坏２点、坩１点を図示した。

Ｈ－13号住居跡（Fig.19、PL.７）

位　置　X61・62、Y188・189グリッド　　主軸方向　N－76°－E　　面　積　8.51㎡

形状等　長方形。東西3.11m、南北2.73m、壁現高27cmを測る。

床　全体に平坦で、一部堅緻な面。

竈　東壁南寄りに検出され、主軸方向がN－76°－Eであり、全長68cm、最大幅79cm、焚口部幅20cmを測る。両袖に丸みを帯びた石が構築材として使用されている。

貯蔵穴　竈南隣、南東コーナーより１基検出。

時　期　覆土や出土遺物から、８世紀第３四半期と考えられる。

遺　物　総数157点。そのうち、坏３点、椀１点、皿１点を図示した。

Ｈ－14号住居跡（Fig.19、PL.９）

位　置　X57・58、Y187・188グリッド　　主軸方向　N－97°－E　　面　積　［19.06］㎡

形状等　長方形。東西4.66m、南北[4.39]m、壁現高50.5cmを測る。住居北側に攪乱を受けており、北側の範囲は推定。

床　全体に平坦な床面。周溝は北側は検出できず。

竈　東壁中央南寄りに検出され、主軸方向がN－97°－Eであり、全長（97）cm、最大幅（77）cm、焚口部幅（25）cmを測る。残存状況が悪い。

貯蔵穴　竈南隣、南壁寄りより１基検出。

時　期　時期を確定する遺物の出土がなかったが、住居の形状等から７世紀後半から８世紀にかけてのものと考えられる。

遺　物　総数287点。そのうち紡錘車１点、石鏃１点を図示した。

Ｈ－15号住居跡（Fig.20、PL.８）

位　置　X48、Y193・194グリッド　　主軸方向　N－72°－E　　面　積　9.44㎡

形状等　長方形。東西2.82m、南北3.70m、壁現高10.5cmを測る。

床　全体に平坦な床面。

竈　東壁南寄りより検出され、主軸方向がN－89°－Eであり、全長（93）cm、最大幅（55）cm、焚口部幅（12）cmを測る。確認面からの深さが浅く、残存状況が悪い。

時　期　時期を確定する遺物の出土がなかったが、住居の形状等から６世紀代のものと考えられる。

遺　物　総数49点。

H－16号住居跡（Fig.21、PL.8）

位　置　X48～50、Y188～190グリッド　　主軸方向　N－14°－W　　面　積　[41.90] ㎡

形状等　正方形。東西6.68m、南北6.70m、壁現高23.5㎝を測る。

床　全体に平坦な床面。一部焼けた部分が見られ、ところどころに炭化物が見られる。

炉　竈は検出されず、炉跡と思われる焼土範囲が住居中央北寄りから検出された。

重　複　T－1と重複しており、新旧関係は本遺構→T－1の順である。

時　期　覆土や出土遺物から、5世紀中頃と思われる。

遺　物　総数313点。そのうち、坩1点、甕1点、高坏1点を図示した。

H－17号住居跡（Fig.14、PL.9）

位　置　X53・54、Y189・190グリッド　　主軸方向　N－74°－E　　面　積　12.78㎡

形状等　正方形。東西3.56m、南北3.83m、壁現高44㎝を測る。

床　全体に平坦で堅緻な床面。周溝がほぼ全周する。

竈　東壁南寄りより検出され、主軸方向がN－83°－Eであり、全長（90）㎝、最大幅（84）㎝、焚口部幅（29）㎝を測る。残存状況が悪い。

貯蔵穴　竈南隣、東壁寄りより1基検出。

重　複　H－6と重複しており、新旧関係はH－6→本遺構の順である。

時　期　覆土や出土遺物から、6世紀後半と考えられる。

遺　物　総数48点。そのうち、坏2点を図示した。

H－18号住居跡（Fig.20、PL.9）

位　置　X40・41、Y193グリッド　　主軸方向　N－62°－E　　面　積　4.58㎡

形状等　正方形。東西2.03m、南北2.26m、壁現高38㎝を測る。

床　全体に平坦な床面。

竈　東壁中央に検出され、主軸方向がN－62°－Eであり、全長152㎝、最大幅79㎝、焚口部幅12㎝を測る。両袖に石が使用されている。約110㎝の煙道が付き、補強に土器が使われている。

時　期　覆土や出土遺物から、7世紀初頭と考えられる。

遺　物　総数84点。そのうち、坏4点を図示した。

2　掘立柱建物跡

B－1号掘立柱建物（Fig.22、PL.10）

位　置　X57～59、Y198～200グリッド

形　状　東西3間（4.31m）×南北5間（8.32m）の長方形で、長軸方向はN－19°－E、推定面積36.15㎡である。柱間寸法は東西5尺＋4尺＋5尺、南北6尺＋6尺＋5尺＋6尺＋6尺の可能性がある。ただし、本遺構周辺は上部が削平され、またところどころに攪乱を受けているので、確認できる範囲での計測値である。長軸方向がB－2と直交しており、同一規格で建てられたものと考えられる。

柱　穴　平面は円形を呈し、円筒形をしている。径は32～74㎝、深さ10～65㎝である。

重複関係　B－3との建て替えがあったと推測される。

時　期　柱穴の平面形態や建物の長軸方向などから8世紀後半頃と考えられる。

遺　物　本遺構に関連する遺物の出土はなかった。

B－2号掘立柱建物（Fig.23、PL.10）

位　置　X56～58、Y200～202グリッド

形　状　東西4間（8.33m）×南北2間（4.06m）の長方形で、長軸方向はN－71°－W、推定面積34.84㎡である。柱間寸法は東西7尺等間、南北7尺等間の可能性がある。長軸方向がB－1・B－3と直交し

ており、同一規格で建てられたものと考えられる。

柱　穴　平面は円形を呈し、円筒形をしている。径は26～50㎝、深さ14～44㎝である。

重複関係　プランのほぼ中央に異時期の東西方向の柵列が見られるが前後関係は不明。

時　期　柱穴の平面形態や建物の長軸方向などから８世紀後半頃と考えられる。

遺　物　本遺構に関連する遺物の出土はなかった。

Ｂ－３号掘立柱建物（Fig.22、PL.10）

位　置　X57～59、Y198～200グリッド

形　状　東西２間（4.20m）×南北５間（8.24m）の長方形で、長軸方向はＮ－17°－Ｅ、推定面積34.17㎡である。柱間寸法は東西７尺等間、南北５尺等間の可能性が高い。ただし、本遺構周辺は上部が削平され、またところどころに攪乱を受けているので、確認できる範囲での計測値である。長軸方向がＢ－２と直交しており、同一規格で建てられたものと考えられる。

柱　穴　平面は円形を呈し、円筒形をしている。径は24～44㎝、深さ18～56㎝である。

重複関係　Ｂ－１との建て替えがあったと推測される。

時　期　柱穴の平面形態や建物の長軸方向などから８世紀後半頃と考えられる。

遺　物　本遺構に関連する遺物の出土はなかった。

3　竪穴状遺構

Ｔ－１号竪穴状遺構（Fig.21、PL.10）

位　置　X48～49、Y188～189グリッド　　主軸方向　Ｎ－72°－Ｅ　　面　積　12.52㎡

形状等　長方形。東西4.56m、南北3.07m、壁現高31㎝を測る。

床　　平坦な床面。一部焼けたところが見られる。

重　複　Ｈ－16と重複しており、新旧関係はＨ－16→本遺構の順である。

時　期　覆土や出土遺物から、６世紀中頃と考えられる。

遺　物　総数384点。そのうち、坏２点、壺１点、甕１点を図示した。

Ｔ－２号竪穴状遺構（Fig.18、PL.10）

位　置　X44～45、Y186～187グリッド　　主軸方向　Ｎ－16°－Ｗ　　面　積　10.91㎡

形状等　長方形。東西2.92m、南北4.28m、壁現高30㎝を測る。

床　　平坦な床面。

重　複　Ｈ－12と重複しており、新旧関係はＨ－12→本遺構の順である。

時　期　本遺構に関連する遺物の出土はなかったが、遺構の形状等から６世紀後半のものと考えられる。

4　溝　　跡

Ｗ－１号溝跡（Fig.24・25・26、PL.11）

位　置　X59～65、Y189～193グリッド

方　位　北東よりＮ－133°－Ｗの方向で南西へ26.3m進み、そこから北西へＮ－5°－Ｗの方向で10m進む。

形状等　断面はＵ字状を呈し、上幅75～170㎝、深さ22～97㎝、長さ36.3mを測る。

時　期　時期を判断する遺物の出土はなかったが、形状等から、近世の館に伴うものと考えられる。

遺　物　総数188点。そのうち、坏１点を図示した。

Ｗ－２号溝跡（Fig.24・25・26、PL.11）

位　置　X58～65、Y188～194グリッド

方　位　北東よりＮ－131°－Ｗの方向で南西へ30.5m進み、そこから北西へＮ－9°－Ｗの方向で23.7m進む。

形状等　断面はU字状を呈し、上幅55～240cm、深さ11～68cm、長さ54.2mを測る。
時　期　時期を判断する遺物の出土はなかったが、形状等から近世の館に伴うものと考えられる。
遺　物　総数277点。

W－3号溝跡（Fig.27・28・29・30、PL.11）
位　置　X46～50、Y185～201グリッド
方　位　北よりN－2°－Eの方向で南へ53.2m進み、そこから西へN－68°－Wの方向で11m進み、そこから南へN－166°－Wの方向で12.2m進む。
形状等　断面はU字状を呈し、上幅62～255cm、深さ13～74cm、長さ76.4mを測る。
重　複　X50、Y199グリッド付近でW－4と切り合っており、新旧関係はW－3→W－4の順である。
時　期　時期を判断する遺物の出土はなかったが、溝の南側は五代伊勢宮Ⅰ遺跡で検出された近世の溝と連続しているものと思われ、同遺構も同時期のものと考えられる。
遺　物　総数127点。そのうち、石鏃1点を図示した。

W－4号溝跡（Fig.31・32・33・34、PL.11）
位　置　X38～56、Y195～199グリッド
方　位　N－89°－W
形状等　断面はU字状を呈し、上幅73～235cm、深さ5～46cm、長さ77.4mを測る。
重　複　X50、Y199グリッド付近でW－3と切り合っており、新旧関係はW－3→W－4の順である。
時　期　時期を判断する遺物の出土はなかったが、形状などから近世のものと思われる。
遺　物　総数181点。

5　土坑・柱穴　　Tab.3・4　土坑・柱穴計測表を参照のこと。

6　その他の遺構・グリッド等出土遺物

X51～54、Y194～200グリッドに、ほぼ並行して南北方向に走る2本の樋状の木材が確認された。2本とも半裁され、断面を上側にして設置されており、木材の幅は約30cmを測る。西側のものが14.2m、東側のものが24.7mの長さで、2本の間の幅は約6.3mである。木材の内側はくりぬかれた状態で、建物に伴う樋であったと考えられる。時期的には近世のものか。木材の材質はミズナラ等のナラ材と思われる。(PL.10)

X40・41、Y191グリッドから、縄文時代中期のものと思われる深鉢（Fig.9、PL.2）が出土した。口縁側を上にしてほぼ垂直の状態で検出され、埋設されたものと思われる。住居に伴うものかと考えたが、その周辺は上部が削平されており、住居の確認はできなかった。遺物自体も口縁部を欠いている。底部も欠損しているが、これは意図的に欠かれたものと思われる。また、X50、Y197グリッドからは、縄文時代中期のものと思われる器台（Fig.9、PL.2）が出土した。以上2点は図示した。

そのほか、小破片を含め、総数4,400点の遺物が出土した。そのうち石鏃2点、尖頭器1点、削器5点、打製石斧18点、古銭1点を図示した。

Tab. 2　住居跡一覧表

遺構名	規模（m）			面積	主軸方向	竈・炉	周溝	出土遺物
	東西（長径）	南北（短径）	壁現高	（㎡）		位置・素材等		
J－1	3.60	3.17	0.22	8.58	N－27°－E	炉跡・ほぼ中央・石		削器・石斧
J－2	4.95	4.75	0.17	[15.38]	N－73°－E	検出されず。		石皿
J－3	5.72	5.37	0.25	[24.65]	N－55°－W	炉跡・中央北寄り・炉体土器有り		深鉢・石斧・石鏃・凹石・磨り石・敲石
J－4	7.38	7.10	0.45	38.47	N－48°－W	検出されず。		深鉢・石斧・石鏃・石槍・削器・凹石
J－5	欠番							
J－6	7.00	(6.40)	0.40	[28.59]	N－43°－E	炉跡・中央南寄り・石		深鉢・浅鉢・石斧・凹石・磨り石・敲石
J－7	(4.83)	(4.76)	(0.55)	[16.96]	N－5°－E	検出されず。		深鉢
J－8	6.20	5.76	0.15	[26.82]	N－5°－W	炉跡？・ほぼ中央		深鉢・石鏃
H－1	7.40	7.98	0.79	[44.20]	N－98°－W	竈跡・西壁南寄り・粘土・袖石	有	坏・甕・紡錘車・臼玉
H－2	6.99	6.78	0.61	44.65	N－60°－E	竈跡・東壁南寄り・粘土・土器	有	坏・甕・壺・甑・紡錘車
H－3	3.08	3.74	0.39	[10.85]	N－93°－E	竈跡・東壁南寄り・残存状況悪い	無	坏・蓋
H－4	3.54	3.34	0.52	[10.41]	N－116°－E	竈跡・東壁南寄り・残存状況悪い	有	坏
H－5	3.80	3.58	0.70	11.64	N－108°－E	竈跡・東壁南寄り・残存状況悪い	有	坏・蓋
H－6	[3.19]	[3.12]	－	[9.65]	N－157°－E	竈跡・南壁東寄り・残存状況悪い	無	坏・臼玉
H－7	4.67	3.75	0.55	16.16	N－106°－E	竈跡・東壁南寄り・残存状況悪い	有	坏・高坏・埦
H－8	5.92	5.83	0.76	31.46	N－79°－W	竈跡・西壁中央南寄り・粘土・袖石 東壁に付け替え前の竈跡有り	有	坏・甕・甑
H－9	欠番							
H－10	5.56	5.96	0.52	[29.93]	N－70°－E	竈跡・東壁南寄り・残存状況悪い	有	坏・甕・甑・平瓶
H－11	5.11	5.52	0.49	25.76	N－63°－E	竈跡・東壁南寄り・粘土・土器	有	坏・甕・甑・壺
H－12	7.52	7.18	0.28	[51.03]	N－110°－W	竈跡・西壁南寄り・粘土	無	坏・甕・坩
H－13	3.11	2.73	0.27	8.51	N－76°－E	竈跡・東壁南寄り・粘土・袖石	有	坏・埦・皿
H－14	4.66	[4.39]	0.51	[19.06]	N－97°－E	竈跡・東壁中央南寄り・粘土	有	
H－15	2.82	3.70	0.11	9.44	N－72°－E	竈跡・東壁南寄り・残存状況悪い	無	
H－16	6.68	6.70	0.24	[41.90]	N－14°－W	炉跡？・中央北寄り	無	坏・甕・高坏
H－17	3.56	3.83	0.44	12.78	N－74°－E	竈跡・東壁南寄り・粘土	有	坏・甕
H－18	2.03	2.26	0.38	4.58	N－62°－E	竈跡・東壁中央・粘土・煙道有り	無	坏

注）①住居の規模については、縄文時代の住居跡は長径・短径、土師の住居跡は東西・南北の計測値を記載した。

②住居の規模の単位はm、面積の単位は㎡であり、現存値を（　）、復元値を［　］を示した。

Tab. 3　土坑計測表

遺構名	位　　置	長軸(cm)	短軸(cm)	深さ(cm)	形　状	備　　考
D－1	X50・51,Y197～199	270	200	42	長方形	打製石斧1，石皿1
D－2	X46,Y200	195	175	58	楕円形	
D－3	X37,Y195	185	148	136	楕円形	
D－4	X61,Y198	161	130	48	楕円形	
D－5	X51,Y188	106	98	42	円　形	
D－6	X59,Y203	92	90	25	円　形	
D－7	X58,Y203・204	70	67	19	円　形	
D－8	X59,Y203	62	60	22	円　形	
D－9	X40,Y191	74	72	17	円　形	
D－10	X40,Y191	56	55	23	円　形	
D－11	X46,Y188	94	58	50	楕円形	
D－12	X46,Y189	70	38	70	楕円形	
D－13	X46,Y189	56	48	61	不整形	
D－14	X48,Y188	75	54	72	楕円形	
D－15	X47,Y191	62	46	50	楕円形	
D－16	X47・48,Y189	65	55	57	楕円形	
D－17	X48,Y190	56	45	67	楕円形	
D－18	X48,Y195	62	50	32	不整形	
D－19	X49,Y195	62	44	29	楕円形	
D－20	X50,Y186	78	68	23	楕円形	
D－21	X51,Y188	82	51	41	楕円形	
D－22	X56,Y194	63	62	36	円　形	
D－23	X57・58,Y186	200	132	46	不整形	
D－24	X59・60,Y187	86	71	39	楕円形	
D－25	X60,Y194	53	45	18	楕円形	
D－26	X60,Y194	110	58	21	不整形	
D－27	X60,Y195	57	51	21	円　形	
D－28	X60,Y198	76	60	37	楕円形	
D－29	X62,Y194	111	107	26	不整形	
D－30	X61,Y195	97	62	59	楕円形	
D－31	X62・63,Y193・194	142	111	32	楕円形	
D－32	X63,Y194	70	52	30	楕円形	石皿1
D－33	X53・54,Y199	92	50	58	楕円形	

Tab.4　柱穴計測表

遺構名	位　置	長軸(cm)	短軸(cm)	深さ(cm)	形　状	遺構名	位　置	長軸(cm)	短軸(cm)	深さ(cm)	形　状
P－1	X40、Y188	42	35	40	円　形	P－51	X46,Y188	32	28	40	楕円形
P－2	X40、Y189	36	34	38	円　形	P－52	X46、Y188	28	25	26	円　形
P－3	X41、Y188	37	33	25	円　形	P－53	X46、Y188	26	21	32	円　形
P－4	X40、Y191・192	48	45	25	円　形	P－54	X46、Y188	61	50	60	楕円形
P－5	X40、Y192	50	42	26	楕円形	P－55	X46、Y188	43	42	60	楕円形
P－6	X41・42、Y192	44	41	65	円　形	P－56	X45、Y190	34	32	27	円　形
P－7	X42、Y190	42	40	36	円　形	P－57	X45、Y190	49	44	37	不整形
P－8	X43、Y189	30	26	63	楕円形	P－58	X45・46、Y190	58	49	45	楕円形
P－9	X43、Y190	40	38	31	円　形	P－59	X45、Y190	22	21	18	円　形
P－10	X41、Y190	45	42	23	円　形	P－60	X45、Y190	37	32	23	楕円形
P－11	X42、Y190	40	35	29	円　形	P－61	X45、Y191	32	28	36	円　形
P－12	X42、Y190・191	44	43	20	円　形	P－62	X45、Y191	32	32	39	円　形
P－13	X42、Y191	35	32	56	円　形	P－63	X45、Y191	31	30	34	円　形
P－14	X42、Y191	43	41	40	円　形	P－64	X45・46、Y192	38	32	63	楕円形
P－15	X43、Y192	34	34	29	円　形	P－65	X46、Y190	28	26	25	円　形
P－16	X44、Y188	33	30	27	円　形	P－66	X46、Y191	36	33	40	円　形
P－17	X44、Y189	31	29	64	円　形	P－67	X46、Y189	28	21	43	楕円形
P－18	X44、Y190	36	31	24	楕円形	P－68	X46、Y189	34	24	38	楕円形
P－19	X44、Y188・189	28	23	51	楕円形	P－69	X46、Y189	33	28	27	楕円形
P－20	X44、Y189	40	30	27	楕円形	P－70	X46、Y189	26	24	24	円　形
P－21	X45、Y189	29	23	23	楕円形	P－71	X46、Y189	29	24	54	楕円形
P－22	X45、Y189	30	26	52	円　形	P－72	X46、Y189	19	17	34	円　形
P－23	X45、Y189・190	24	22	25	円　形	P－73	X46、Y189	41	28	45	楕円形
P－24	X44、Y189	38	28	36	楕円形	P－74	X46、Y189	32	28	24	円　形
P－25	X44、Y189	42	33	52	楕円形	P－75	X47、Y193	26	24	22	円　形
P－26	X44、Y189	33	29	29	円　形	P－76	X48、Y193	57	32	40	楕円形
P－27	X44、Y189	31	25	.59	円　形	P－77	X47、Y194	24	23	37	円　形
P－28	X44、Y190	45	23	42	不整形	P－78	X47、Y194	42	39	49	円　形
P－29	X43・44、Y190	31	17	53	楕円形	P－79	X47Y188	42	34	59	楕円形
P－30	X44、Y190	22	21	48	円　形	P－80	X48、Y188	49	34	50	楕円形
P－31	X44、Y190	23	20	32	円　形	P－81	X48、Y188	42	33	25	楕円形
P－32	X44、Y190	32	29	52	円　形	P－82	X48・49、Y188	30	26	38	円　形
P－33	X44、Y190	35	32	28	円　形	P－83	X48、Y188	28	25	44	楕円形
P－34	X45、Y187	35	32	31	円　形	P－84	X48、Y188	41	30	45	楕円形
P－35	X46、Y187	28	27	30	円　形	P－85	X48、Y189	40	34	51	楕円形
P－36	X46、Y187	29	27	36	円　形	P－86	X47、Y189	29	26	24	円　形
P－37	X46、Y187	25	25	18	円　形	P－87	X47、Y189	55	38	70	楕円形
P－38	X45、Y187	29	27	52	円　形	P－88	X48、Y188・189	40	27	17	楕円形
P－39	X45、Y188	44	40	43	不整形	P－89	X48、Y189	35	30	56	楕円形
P－40	X45、Y188	31	26	43	楕円形	P－90	X48、Y188・189	24	19	46	楕円形
P－41	X45、Y188	28	22	39	楕円形	P－91	X48、Y189	36	25	41	楕円形
P－42	X45、Y188・189	28	22	29	楕円形	P－92	X47、Y189	60	36	31	不整形
P－43	X45、Y189	31	28	52	円　形	P－93	X47、Y190	50	38	61	楕円形
P－44	X45、Y189	26	23	27	円　形	P－94	X48、Y189	40	40	63	円　形
P－45	X45、Y189	16	15	40	円　形	P－95	X48、Y190	26	23	24	円　形
P－46	X45、Y189	32	31	32	円　形	P－96	X48、Y190	34	30	47	円　形
P－47	X45、Y189	46	31	56	楕円形	P－97	X48、Y190	30	20	29	楕円形
P－48	X45・46、Y188	38	33	38	楕円形	P－98	X48、Y190	29	27	31	円　形
P－49	X46、Y188	76	47	35	不整形	P－99	X48、Y190	20	1	47	円　形
P－50	X46、Y188	43	43	56	楕円形	P－100	X48、Y190	34	32	25	円　形

遺構名	位　　置	長軸(cm)	短軸(cm)	深さ(cm)	形　状	遺構名	位　　置	長軸(cm)	短軸(cm)	深さ(cm)	形　状
P－101	X48、Y190	25	20	24	楕円形	P－151	X50、Y188	30	26	25	円　形
P－102	X48、Y190・191	28	26	50	円　形	P－152	X50、Y187・188	35	31	23	円　形
P－103	X48、Y191	24	23	20	円　形	P－153	X50、Y188	38	36	44	円　形
P－104	X48、Y191	25	23	19	円　形	P－154	X51、Y187	50	31	37	不整形
P－105	x48、Y195	40	31	46	楕円形	P－155	X51、Y187	27	26	52	円　形
P－106	X49、Y195	31	29	44	円　形	P－156	X51、Y187	37	32	18	楕円形
P－107	X48、Y186	37	34	32	円　形	P－157	X51、Y187	60	41	23	不整形
P－108	X49、Y186	30	22	22	楕円形	P－158	X51、Y187	53	42	26	楕円形
P－109	X49、Y186	48	41	31	楕円形	P－159	X51、Y187	45	35	39	楕円形
P－110	X49、Y186	41	32	41	楕円形	P－160	X51、Y187・188	34	30	28	円　形
P－111	X48、Y187	34	29	22	楕円形	P－161	X51、Y187	40	35	50	円　形
P－112	X49、Y187	29	28	42	円　形	P－162	X51、Y188	45	34	38	楕円形
P－113	X49、Y187	35	31	34	円　形	P－163	X51、Y188	50	39	46	楕円形
P－114	X49、Y187	42	30	35	楕円形	P－164	X51、Y188	36	32	50	円　形
P－115	X50、Y187	38	26	25	楕円形	P－165	X51、Y188	43	38	30	楕円形
P－116	X49・50、Y187	24	23	22	円　形	P－166	X51、Y188	33	26	24	楕円形
P－117	X50、Y186・187	35	31	31	円　形	P－167	X51、Y189	46	39	44	楕円形
P－118	X50、Y186	35	27	31	楕円形	P－168	X51、Y189	44	36	44	楕円形
P－119	X50、Y187	41	35	27	楕円形	P－169	X51、Y189	63	45	31	不整形
P－120	X50、Y187	42	32	51	楕円形	P－170	X51、Y189	47	47	26	円　形
P－121	X50、Y187	34	29	44	楕円形	P－171	X51、Y188	26	22	18	円　形
P－122	X50、Y187	30	23	38	楕円形	P－172	X51、Y188	26	24	14	円　形
P－123	X50、Y187	38	29	31	楕円形	P－173	X50、Y189	38	38	26	円　形
P－124	X50、Y187・188	35	30	31	楕円形	P－174	X50・51、Y189	28	22	35	楕円形
P－125	X50、Y186	39	25	25	楕円形	P－175	X51、Y190	28	25	19	円　形
P－126	X50、Y187	49	29	20	楕円形	P－176	X51、Y190	25	21	30	円　形
P－127	X50、Y187	30	28	23	円　形	P－177	X50、Y190	38	34	26	円　形
P－128	X50、Y187	46	40	58	楕円形	P－178	X51、Y190	66	44	34	楕円形
P－129	X50、Y186・187	30	30	53	円　形	P－179	X51、Y189	28	23	46	円　形
P－130	X50、Y187	45	35	51	楕円形	P－180	X51、Y189	34	30	47	円　形
P－131	X50、Y187	34	25	30	楕円形	P－181	X51・52、Y189	48	44	54	円　形
P－132	X49、Y190	48	45	27	円　形	P－182	X52、Y189	42	39	71	円　形
P－133	X50、Y190	34	26	22	楕円形	P－183	X52、Y189	41	34	27	楕円形
P－134	X50、Y190	41	30	34	楕円形	P－184	X50、Y191	26	25	29	円　形
P－135	X50、Y195	45	32	30	楕円形	P－185	X51、Y191	42	41	33	円　形
P－136	X50、Y195	42	31	22	楕円形	P－186	X50、Y192	26	22	29	円　形
P－137	X50、Y196	27	22	54	楕円形	P－187	X50・51、Y192	29	26	32	円　形
P－138	X50、Y196	37	33	28	円　形	P－188	X51、Y191	58	30	23	楕円形
P－139	X50、Y196	31	28	53	円　形	P－189	X52、Y191	50	41	30	楕円形
P－140	X50、Y196	40	33	32	楕円形	P－190	X52、Y191	42	33	43	楕円形
P－141	X50、Y196	31	29	24	楕円形	P－191	X52、Y191	50	42	28	楕円形
P－142	X49、Y197	26	23	29	円　形	P－192	X52、Y191	38	36	30	円　形
P－143	X50、Y197	36	29	41	楕円形	P－193	X52、Y191	42	37	34	円　形
P－144	X50、Y186	36	30	31	楕円形	P－194	X53、Y190・191	64	52	69	楕円形
P－145	X50、Y187	30	28	23	円　形	P－195	X53、Y190・191	63	37	65	楕円形
P－146	X50、Y187	50	27	43	楕円形	P－196	X53、Y190	28	23	30	円　形
P－147	X50、Y187	37	30	30	円　形	P－197	X53、Y190・191	25	24	20	円　形
P－148	X50、Y187	38	33	25	円　形	P－198	X53、Y192	50	41	43	楕円形
P－149	X50、Y187	31	26	56	楕円形	P－199	X53、Y192	45	40	54	円　形
P－150	X50、Y188	35	31	34	円　形	P－200	X53、Y192	44	44	58	円　形

遺構名	位　　置	長軸(cm)	短軸(cm)	深さ(cm)	形　状	遺構名	位　　置	長軸(cm)	短軸(cm)	深さ(cm)	形　状
P－201	X53・54、Y191	58	45	44	楕円形	P－251	X54、Y200	40	32	44	楕円形
P－202	X54、Y191	36	35	20	円　形	P－252	X54、Y200	24	24	48	円　形
P－203	X54、Y191	41	31	15	楕円形	P－253	X53、Y202	49	42	48	楕円形
P－204	X54、Y191	33	29	21	円　形	P－254	X54、Y202	51	47	32	円　形
P－205	X54、Y191	37	30	28	楕円形	P－255	X55、Y202	34	32	43	円　形
P－206	X54、Y191	43	32	46	楕円形	P－256	X56、Y193	50	47	34	円　形
P－207	X54、Y191	51	42	23	不整形	P－257	X56、Y193	46	40	54	円　形
P－208	X53・54、Y191・192	41	37	53	円　形	P－258	X56、Y193	28	27	40	円　形
P－209	X54、Y191・192	43	37	32	円　形	P－259	X56、Y193	21	21	38	円　形
P－210	X54、Y192	36	31	65	円　形	P－260	X56、Y194・195	53	38	40	楕円形
P－211	X53、Y192	44	39	34	円　形	P－261	X56、Y194	42	34	27	楕円形
P－212	X54、Y192	60	35	53	楕円形	P－262	X56、Y194	35	23	33	楕円形
P－213	X54、Y192	56	42	31	楕円形	P－263	X56、Y194	40	36	23	円　形
P－214	X54、Y192	35	29	35	楕円形	P－264	X56、Y194・195	48	47	25	円　形
P－215	X53、Y192	72	45	55	楕円形	P－265	X55、Y196	50	32	39	楕円形
P－216	X53、Y192	35	28	35	楕円形	P－266	X55、Y196	30	25	41	円　形
P－217	X53、Y192	50	34	23	楕円形	P－267	X56、Y196	22	19	32	円　形
P－218	X53、Y192	53	38	76	楕円形	P－268	X57、Y196	26	26	24	円　形
P－219	X53、Y192	33	27	35	楕円形	P－269	X57、Y197	23	20	38	円　形
P－220	X53、Y192	45	41	29	円　形	P－270	X57、Y197	21	18	43	円　形
P－221	X53、Y192	60	28	18	楕円形	P－271	X55・56、Y198	34	31	33	円　形
P－222	X53、Y193	41	40	22	円　形	P－272	X56、Y198	26	24	33	円　形
P－223	X53、Y193	50	45	33	円　形	P－273	X56、Y198	42	40	36	円　形
P－224	X53、Y193	52	38	50	楕円形	P－274	X56、Y198	35	35	33	円　形
P－225	X53、Y193	41	39	33	円　形	P－275	X58、Y186	33	30	38	円　形
P－226	X54、Y188	28	26	21	円　形	P－276	X58、Y186	50	36	45	楕円形
P－227	X54・55、Y188	33	31	32	円　形	P－277	X58、Y186・187	28	25	35	円　形
P－228	X55、Y188	43	43	44	円　形	P－278	X58、Y186・187	53	33	18	楕円形
P－229	X54、Y189	39	31	29	楕円形	P－279	X58、Y187	80	52	53	楕円形
P－230	X54、Y189	31	29	20	円　形	P－280	X58、Y186	41	38	32	円　形
P－231	X54、Y188	34	30	27	円　形	P－281	X58、Y186	36	32	36	円　形
P－232	X54、Y189	33	29	21	楕円形	P－282	X57・58、Y191	60	55	35	円　形
P－233	X54、Y189	40	31	30	楕円形	P－283	X58、Y190・191	55	36	35	楕円形
P－234	X55、Y189	47	39	39	楕円形	P－284	X58、Y191	40	36	24	円　形
P－235	X55、Y189	38	38	19	円　形	P－285	X58、Y191	72	50	59	楕円形
P－236	X54、Y199	48	43	32	楕円形	P－286	X58、Y191	31	30	34	円　形
P－237	X54、Y198	90	31	44	楕円形	P－287	X58、Y191	54	40	25	楕円形
P－238	X54、Y198	42	39	49	円　形	P－288	X58、Y191	74	38	25	楕円形
P－239	X54、Y197・198	51	46	36	円　形	P－289	X58、Y191	50	35	24	楕円形
P－240	X54、Y198	37	32	43	円　形	P－290	X58、Y191・192	39	31	30	楕円形
P－241	X54、Y197	39	34	35	円　形	P－291	X56・57、Y192	76	27	45	楕円形
P－242	X54、Y197	48	41	54	円　形	P－292	X57、Y193	52	43	36	楕円形
P－243	X54、Y198	41	36	36	円　形	P－293	X58、Y193	42	33	27	楕円形
P－244	X54、Y197	33	32	61	円　形	P－294	X58、Y193	63	32	38	楕円形
P－245	X55、Y197・198	37	35	48	円　形	P－295	欠　番				
P－246	X54、Y198	34	29	41	円　形	P－296	X57、Y196	36	30	33	円　形
P－247	X53、Y200	37	34	44	円　形	P－297	X57、Y196	44	40	33	円　形
P－248	X54、Y200	36	30	32	楕円形	P－298	X57、Y197	31	27	33	円　形
P－249	X54、Y200	38	35	52	円　形	P－299	X57、Y197・198	38	34	56	円　形
P－250	X54、Y200	42	34	42	楕円形	P－300	X58・59、Y186	42	37	44	円　形

遺構名	位　　置	長軸(cm)	短軸(cm)	深さ(cm)	形　状	遺構名	位　　置	長軸(cm)	短軸(cm)	深さ(cm)	形　状
P－301	X58・59、Y186	43	26	17	楕円形	P－351	X62、Y187	39	35	25	円　形
P－302	X58、Y186・187	39	35	26	円　形	P－352	X61、Y193	27	25	67	円　形
P－303	X58・59、Y187	31	27	52	円　形	P－353	X61、Y193	29	25	35	円　形
P－304	X59、Y186・187	70	45	52	楕円形	P－354	X61・62、Y192	42	29	42	楕円形
P－305	X60、Y186	49	41	40	楕円形	P－355	X62、Y192	30	27	34	円　形
P－306	X59、Y194	28	28	51	円　形	P－356	X62、Y193	30	25	42	円　形
P－307	X58、Y194	40	33	43	楕円形	P－357	X62、Y193	46	2	48	楕円形
P－308	X58、Y194	32	29	33	円　形	P－358	X61、Y194	43	37	28	円　形
P－309	X58、Y195	32	25	43	楕円形	P－359	X62、Y194	64	46	34	楕円形
P－310	X59・60、Y194	57	37	34	楕円形	P－360	X62、Y194	34	25	31	楕円形
P－311	X60、Y194	60	50	40	楕円形	P－361	X62、Y194	29	28	26	円　形
P－312	X60・61、Y194・195	68	58	46	楕円形	P－362	X62、Y194	38	33	20	円　形
P－313	X61、Y195	39	29	20	楕円形	P－363	X61・62、Y195	41	39	36	円　形
P－314	X61、Y194	31	28	25	円　形	P－364	X61、Y195	48	42	72	円　形
P－315	X61、Y195	29	26	21	円　形	P－365	X61、Y195	48	40	69	円　形
P－316	X60、Y194・195	61	49	47	楕円形	P－366	X61、Y195	53	50	30	円　形
P－317	X61、Y195	35	31	21	円　形	P－367	X61、Y195・196	40	32	37	楕円形
P－318	X61、Y195	44	39	72	円　形	P－368	X61、Y195	40	35	26	円　形
P－319	X60・61、Y195	100	52	46	楕円形	P－369	X61、Y196	31	28	37	円　形
P－320	X61、Y195	43	37	22	楕円形	P－370	X61、Y196	51	43	39	円　形
P－321	X61、Y195	68	56	65	楕円形	P－371	X62、Y195	32	28	31	円　形
P－322	X60、Y195	38	28	39	楕円形	P－372	X62、Y195	61	48	57	楕円形
P－323	X60、Y195	49	29	31	楕円形	P－373	X62、Y196	42	37	30	楕円形
P－324	X59、Y194	62	48	31	楕円形	P－374	X62、Y196	68	63	52	円　形
P－325	X59、Y197	23	21	35	円　形	P－375	X62、Y196	53	50	53	円　形
P－326	X60、Y197	37	32	44	円　形	P－376	X62、Y196	62	47	51	楕円形
P－327	X60、Y197	47	44	62	円　形	P－377	X61・62、Y197	47	38	60	楕円形
P－328	X60、Y197	36	30	42	円　形	P－378	X61、Y197	43	37	57	楕円形
P－329	X60、Y197	39	37	37	円　形	P－379	X61、Y197	56	45	37	楕円形
P－330	X59、Y197	33	32	29	円　形	P－380	X61、Y197	40	30	50	楕円形
P－331	X60、Y197	33	29	27	円　形	P－381	X62、Y196	47	35	41	楕円形
P－332	X60、Y198	47	44	21	円　形	P－382	X62、Y188	34	27	54	楕円形
P－333	X60、Y198	35	32	35	円　形	P－383	X62、Y188	36	26	19	楕円形
P－334	X59、Y198	35	28	48	楕円形	P－384	X62、Y188	26	21	20	楕円形
P－335	X59、Y198	35	30	55	楕円形	P－385	X62、Y188	35	30	29	楕円形
P－336	X59・60、Y198	42	31	31	楕円形	P－386	X62、Y188	33	29	20	円　形
P－337	X60、Y198	27	26	33	円　形	P－387	X63、Y188	32	28	22	円　形
P－338	X60、Y199	35	33	36	円　形	P－388	X63、Y188	40	35	28	円　形
P－339	X60、Y186・187	53	51	62	円　形	P－389	X62、Y189	37	28	48	楕円形
P－340	X60、Y187・188	41	32	46	楕円形	P－390	X62、Y189	30	28	22	円　形
P－341	X60、Y187・188	36	26	25	楕円形	P－391	X62、Y189	42	36	21	円　形
P－342	X60、Y188	32	30	32	円　形	P－392	X63、Y189	38	34	25	円　形
P－343	X61、Y187	32	31	29	円　形	P－393	X63、Y189	41	35	51	円　形
P－344	X61、Y187	29	28	31	円　形	P－394	X62、Y189・190	32	28	30	円　形
P－345	X61・62、Y188	37	34	22	円　形	P－395	X62、Y190	34	30	33	円　形
P－346	X62、Y188	39	31	53	楕円形	P－396	X64、Y193	83	78	40	楕円形
P－347	X62、Y188	30	27	19	円　形	P－397	X63、Y193	32	28	43	円　形
P－348	X61、Y187	30	30	34	円　形	P－398	X63、Y195	64	44	57	楕円形
P－349	X61・62、Y187	31	30	22	円　形	P－399	X40、Y196	34	32	23	円　形
P－350	X61、Y188	35	28	29	楕円形	P－400	X40、Y196	35	33	17	円　形

遺構名	位　置	長軸(cm)	短軸(cm)	深さ(cm)	形　状	遺構名	位　置	長軸(cm)	短軸(cm)	深さ(cm)	形　状
P－401	X43、Y197	25	18	32	楕円形	P－451	X61、Y192	48	42	62	楕円形
P－402	X48、Y199	31	27	49	楕円形	P－452	X60・61、Y192	98	85	28	不整形
P－403	X49、Y198・199	30	25	28	楕円形	P－453	X60、Y192	38	37	37	円　形
P－404	X49、Y198・199	35	27	40	楕円形	P－454	X60、Y192	32	30	22	円　形
P－405	X49、Y199	25	24	34	円　形	P－455	X61、Y192	32	27	62	楕円形
P－406	X49、Y199	32	28	41	円　形	P－456	X61、Y192	40	30	50	不整形
P－407	X49、Y199	29	22	30	楕円形	P－457	X61、Y192・193	56	46	52	楕円形
P－408	X49、Y199	48	29	61	楕円形	P－458	X60、Y191	23	19	29	楕円形
P－409	X50、Y199	49	33	61	楕円形	P－459	X60、Y191	23	17	25	楕円形
P－410	X50、Y199	24	21	42	円　形	P－460	X60、Y191	38	35	32	円　形
P－411	X50、Y199	49	38	63	楕円形	P－461	X60、Y191	32	29	32	円　形
P－412	X50・51、Y199	43	40	64	円　形	P－462	X60、Y192	27	19	32	楕円形
P－413	X51、Y199	38	32	39	円　形	P－463	X60、Y192	29	28	17	円　形
P－414	X50、Y200	29	26	30	円　形	P－464	X61、Y192	58	51	67	楕円形
P－415	X52、Y199	41	29	30	楕円形	P－465	X60、Y192	47	35	77	楕円形
P－416	X52、Y199	70	37	34	不整形	P－466	X60、Y192	33	25	61	楕円形
P－417	X53、Y199	34	29	43	円　形	P－467	X61、Y192	29	24	41	楕円形
P－418	X53、Y199	32	30	45	円　形	P－468	X60・61、Y192	34	26	52	楕円形
P－419	X53、Y199・200	36	28	34	楕円形	P－469	X60、Y192	36	34	45	円　形
P－420	X53、Y198	60	28	36	楕円形	P－470	X60、Y192	27	24	26	円　形
P－421	X53、Y199	55	41	48	楕円形	P－471	X60、Y192	36	32	28	円　形
P－422	X53、Y199	40	34	48	円　形	P－472	X60、Y192	35	28	23	楕円形
P－423	X53、Y199	42	34	37	楕円形	P－473	X60、Y192	30	27	56	楕円形
P－424	X53、Y199	37	35	32	円　形	P－474	X59、Y190	24	21	28	円　形
P－425	X53、Y199	31	25	39	楕円形	P－475	X59、Y191	20	18	15	円　形
P－426	X53、Y200	32	31	47	円　形	P－476	X59、Y191	23	22	17	円　形
P－427	X53・54、Y199	28	24	27	円　形	P－477	X59、Y191	30	27	24	円　形
P－428	X54、Y199	43	36	38	楕円形	P－478	X59、Y192	31	25	17	楕円形
P－429	X54、Y199・200	35	33	47	円　形	P－479	X59、Y192	38	27	18	楕円形
P－430	X54、Y199	42	34	50	楕円形	P－480	X59、Y192	32	28	29	円　形
P－431	X65、Y189	42	36	40	楕円形	P－481	X60、Y190	23	19	34	円　形
P－432	X62、Y190	30	26	27	楕円形	P－482	X65、Y189	33	30	26	円　形
P－433	X62、Y190	35	30	47	楕円形	P－483	X65、Y189	48	35	33	楕円形
P－434	X63、Y191	36	27	29	楕円形	P－484	X64、Y190	33	29	27	楕円形
P－435	X62、Y192	39	33	56	楕円形	P－485	X63、Y192	38	28	42	楕円形
P－436	欠　番					P－486	X63、Y192	54	48	68	楕円形
P－437	X63、Y191	26	23	20	円　形	P－487	X62、Y192	31	31	43	円　形
P－438	X62、Y191	25	16	11	楕円形	P－488	X62、Y192	42	39	57	円　形
P－439	X62、Y191・192	32	26	27	楕円形	P－489	X63、Y191・192	36	35	47	円　形
P－440	X63、Y191	31	29	30	円　形	P－490	X63、Y192	50	40	65	不整形
P－441	X63、Y191	31	26	48	円　形	P－491	X62、Y192	35	30	44	楕円形
P－442	X62、Y191	25	25	19	円　形	P－492	X62、Y192	25	23	31	円　形
P－443	X63、Y190	19	18	15	円　形						
P－445	X65、Y189	35	25	25	楕円形						
P－447	X64・65、Y190	33	27	41	円　形						
P－449	X60、Y192	39	38	63	円　形						
P－450	X59、Y192・193	59	45	34	不整形						

Tab. 5　古墳時代～奈良時代出土遺物観察表

番号	遺構番号/層位	器　種	①口径②器高	①胎土②焼成③色調④遺存度	器種の特徴・整形・調整技術	備　考
1	H－1－1 床直	坏 土師器	①　12.7 ②　4.2	①細粒②良好 ③橙色④完形	口縁部：緩やかに膨らみを持ちながら外傾、横撫で。交換点に稜有。 底部：浅い丸底、外面篦削り。内面撫で。	
2	H－1－2 床直	坏 土師器	①［12.6］ ②（4.0）	①細粒②良好 ③褐灰色④1/4	口縁部：外傾で立ち上がり端部で短く彎曲、横撫で。交換点に稜有。 底部：浅い丸底、外面篦削り。内面撫で。	
3	H－1－3 竈内、床直	長胴甕 土師器	①　23.0 ②　41.5	①中粒②良好 ③にぶい橙色④口縁部1/2欠損	口縁部：器最大径、外反、横撫で。頸部に明確なくびれ無。胴部：ふくらみが弱く直線的、外面上位・中位縦篦削り、下位斜め篦削り。内面撫で、上位篦撫で痕有。底部：平底。	
4	H－1－4 竈内、床直	長胴甕 土師器	①（20.5） ②（16.6）	①細粒②良好 ③橙色④1/2強	口縁部：外反、横撫で。頸部に明確なくびれ無。胴部：外面縦・斜め篦削り。中・下位欠損。内面撫で、篦撫で痕有。底部：欠損。	
5	H－1－5 埋土	坏 土師器	①［12.4］ ②（4.2）	①細粒②良好 ③黒色④1/4強	口縁部：内傾気味に立ち上がり、横撫で。交換点に稜有。底部：浅い丸底と推測、ほぼ欠損。外面横篦削り。内面撫で。	
6	H－1－6 埋土	坏 土師器	①［12.8］ ②（4.2）	①細粒②良好 ③にぶい赤褐色④1/5	口縁部：短く直立、横撫で。交換点に稜有。底部：浅い丸底と推定、ほぼ欠損。外面篦削り。内面撫で、指圧痕有。	
7	H－2－1 床直	坏 土師器	①　13.4 ②　4.8	①細粒②良好 ③灰褐色④ほぼ完形	口縁部：外傾、外面中央部に凸が巡る横撫で。端部に凹み有。交換点に弱い稜有。底部：丸底、外面篦削り。内面撫で。	煤付着。
8	H－2－2 床直	坏 土師器	①　15.0 ②　5.6	①細粒②良好 ③橙色④ほぼ完形	口縁部：やや外傾、横撫で。交換点に稜有。底部：深い平底、外面篦削り後に磨き、指圧痕有。内面撫で。	底部に葉の跡。
9	H－2－3 床直	坏 土師器	①　12.2 ②　4.6	①細粒②良好 ③黒褐色④3/4強	口縁部：やや内傾気味に直立、横撫で。交換点に稜有。底部：丸底、外面篦削り。内面撫で。	煤付着。
10	H－2－4 埋土	坏 土師器	①（12.4） ②　4.1	①細粒②良好 ③橙色④1/2強	口縁部：直立で立ち上がり外傾、横撫で。交換点に稜有。底部：丸底、外面篦削り。内面撫で。	
11	H－2－5 床直	甑 土師器	①　15.9 ②　10.0	①細粒②良好 ③灰黄色④ほぼ完形	体部：外反から外傾で口縁部に至り、丸みを持つ。外面篦削り、輪積み痕有、指圧痕有。底部中央に穿孔有。内面篦調整、輪積み痕有。	雑な作り
12	H－2－6 床直	壺 土師器	①［12.4］ ②　16.0	①中粒②良好③浅黄色④頸部～底部のみ	口縁部：直立から外反、横撫で。体部：中位器最大径、外面篦削り、篦撫で、輪積み痕有。内面撫で、篦削り痕有。底部：丸底。	
13	H－2－7 床直	甑 土師器	①［18.6］ ②　14.7	①細粒、粗粒少々②良好③にぶい褐色④口縁2/3欠損	口縁部：外反、横撫で。体部：外面縦篦削り。内面撫で、僅かに輪積み痕有、篦押さえ痕有、篦撫で痕有。底部中央に2～2.5㎜大の穿孔有。	煤付着。
14	H－2－8 竈内、床直	長胴甕 土師器	①　17.6 ②　34.8	①中粒②良好③にぶい橙色④胴中位～下半部1/4欠損	口縁部：器最大径、外反、横撫で。頸部に明確なくびれ無。胴部：中央部やや下半に胴部最大径を持つ、外面上半縦・下半斜め篦削り。内面撫で、篦撫で痕有、輪積み痕有。底部：平底。	
15	H－2－9 床直	長胴甕 土師器	①　16.3 ②　27.0	①細粒、粗粒少々②良好③明黄褐色④ほぼ完形	口縁部：短く外反、横撫で、器肉は厚い。頸部に明確なくびれ無。胴部：中位にややふくらみを持ち、外面斜め篦削り。内面撫で、篦撫で痕有、篦押さえ痕有、輪積み痕僅かに有。底部：丸底。	口縁部、体部に歪み有。
16	H－2－10 床直	壺 土師器	①（23.2） ②　30.0	①中粒、粗粒②良好③明黄褐色④体部中位～底部	口縁部：欠損。胴部：中位器最大径、外面篦削り後篦撫で、その後弱い篦磨き、輪積み痕と思われる凹凸が器面全体に残る。内面篦撫で、輪積み痕上の押さえ有。底部：平底。	
17	H－2－11 床直	甕 土師器	①　14.6 ②（13.8）	①細粒②良好③明褐色④口縁～体部上半	口縁部：外反、やや歪む。横撫で。胴部：上半に器最大径、外面上位縦篦削り、上位縦方向の撫で、内面撫で、輪積み痕有。中・下位欠損。	器肉は均一でない
18	H－2－12 竈内、床直	長胴甕 土師器	①［20.0］ ②［38.0］	①中粒②良好③にぶい赤褐色④1/3	口縁部：器最大径、外反、横撫で。頸部にくびれ無。胴部：膨らみが弱く直線的、外面縦、下位斜め篦削り。内面撫で。底部：平底。	
19	H－2－13 竈内、床直	長胴甕 土師器	①［20.0］ ②（14.3）	①細粒②良好③赤褐色④口縁部～底部下半1/2	口縁部：器最大径、外反、横撫で。頸部に明確なくびれ無。胴部：膨らみが弱く直線的、外面縦方向篦削りの後斜め方向の撫で有、外面やや摩耗。内面削りの後斜方向の撫で。底部：欠損。	内面一部僅かに煤付着。
20	H－3－1 埋土	坏 土師器	①［12.2］ ②　3.4	①細粒②良好③にぶい赤褐色④1/4強	口縁部：外傾で立ち上がり端部で短く内彎、横撫で。底部：浅い平底気味、外面篦削り、指圧痕有。内面撫で。	
21	H－3－2 埋土	蓋 須恵器	①［17.0］ ②（3.3）	①細粒②良好 ③灰白色④1/4	轆轤整形。天井部から僅かな膨らみを持ちながら傾斜、かえりが端部にきている。外面全体に轆轤撫で。つまみ部欠損。	
22	H－4－1 床直	坏 土師器	①　12.8 ②　3.6	①細粒②良好③にぶい赤褐色④口縁部1/4欠損	口縁部：短くほぼ直立、横撫で。底部：浅い平底気味、外面篦削り。内面撫で、下位に指圧痕有。	内面に煤付着。
23	H－4－2 埋土	坏 土師器	①［13.2］ ②　3.3	①細粒②良好 ③明赤褐色④1/2弱	口縁部：短くほぼ直立、横撫で。底部：平底気味、外面篦削り、指圧痕有。内面撫で。	口縁部歪み有り。
24	H－4－3 埋土	坏 土師器	①［12.8］ ②（2.7）	①細粒②良好 ③にぶい橙色④1/5	口縁部：短くほぼ直立、横撫で。底部：浅い丸底と推定、外面篦削り。内面撫で、油煙が一部残る。	
25	H－5－1 床直	坏 土師器	①　11.7 ②　4.8	①細粒②良好③橙色④口縁一部欠損	口縁部：外傾、横撫で。交換点に弱い稜有。底部：浅い丸底、外面篦削り。内面撫で。	全体的に歪む。
26	H－5－2 床直	坏 土師器	①［11.7］ ②（3.6）	①細粒②良好 ③橙色④1/4	口縁部：外傾、横撫で。交換点に稜有。底部：浅い丸底と推定、外面篦削り。内面撫で。	

番号	遺構番号/層位	器　種	①口径②器高	①胎土②焼成③色調④遺存度	器種の特徴・整形・調整技術	備　考
27	H－5－3 床直	坏 土師器	① [10.8] ② 3.1	①細粒②良好 ③橙色④1/2強	口縁部：外傾、横撫で。交換点に稜有。底部：浅い丸底、外面不定方向の篦削り。内面撫で。	
28	H－5－4 埋土	坏 土師器	① [10.8] ② (3.8)	①細粒②良好③橙色 ④口縁～体部1/2弱	口縁部：外傾、横撫で。底部：丸底と推定、外面篦削り。内面撫で。	煤付着。
29	H－5－5 床直	蓋 灰釉陶器	① 14.8 ② 3.2	①細粒②良好 ③灰白色④3/5	轆轤整形。平坦な天井部中央につまみが貼付。天井部から緩やかに膨らみを持ちながら傾斜、かえりが端部にくる、轆轤撫で、口縁部灰釉。内面灰釉。	
30	H－6－1 竈内、床直	坏 土師器	① 12.1 ② 3.7	①細粒②良好 ③明赤褐色④2/3	口縁部：外傾で立ち上がり端部で短く内彎、横撫で。底部：浅い丸底、外面篦削り。内面撫で、指圧痕有。	煤付着。
31	H－7－1 床直	坏 土師器	① 12.6 ② 3.2	①細粒②良好 ③にぶい赤褐色④口縁一部欠損	底部からそのまま彎曲して口縁部に至り端部で内彎。口縁部は横撫で。底部は平底気味、外面篦削り。内面撫で、指圧痕有。	
32	H－7－2 床直	坏 土師器	① (12.5) ② 3.0	①細粒、粗粒少々 ②良好③明赤褐色 ④口縁2/3欠損	底部からそのまま湾曲して口縁部に至り端部で内彎。口縁部は横撫で。底部は浅い平底、外面篦削り。内面撫で。	
33	H－7－3 床直	坏 須恵器	① 14.4 ② 4.6	①細粒②良好 ③灰白色④完形	轆轤整形。口縁部：やや内彎気味に立ち上がる、轆轤撫で。底部：糸切り後周辺部篦削り、篦調整。わずかに上げ底。	
34	H－7－4 床直	坏 灰釉陶器	① 13.1 ② 3.4	①細粒②良好 ③灰白色④完形	轆轤整形。口縁部：直線的に外傾、轆轤撫で。底部：回転糸切り後、周辺部手持ち篦削り。外面灰釉。	
35	H－7－5 床直	埦 須恵器	① 11.2 ② 4.7	①細粒②良好 ③灰色④ほぼ完形	轆轤整形。体部：内彎。轆轤撫で。底部：糸切り後轆轤撫で、付高台。	
36	H－7－6 床直	高　盤 須恵器	① [17.6] ② (3.3)	①細粒②良好 ③褐灰色④坏部1/2 高台部欠損	轆轤整形。坏部：外傾、やや歪む。中央に4㎜大の穿孔。内面、口縁部から台部のやや半分の位置に2㎜強の突き出し部が一周。台部に4カ所の透かし有。坏部と台部の接合点に透かし痕と思われる調整痕有。	
37	H－8－1 床直	坏 土師器	① 12.8 ② 4.4	①細粒②良好 ③橙色④2/3	口縁部：やや外傾気味に直立し、端部で内彎、横撫で。交換点に稜有。底部：丸底、外面篦削り。内面撫で。	煤付着。
38	H－8－2 床直	坏 土師器	① 10.6 ② 4.7	①中粒②良好 ③灰白色④完形	口縁部：外傾で立ち上がり中位に段を持ち、端部で弱く内彎、横撫で。交換点に弱い稜有。底部：深い丸底、外面篦削り。内面撫で。	
39	H－8－3 埋土	坏 土師器	① 11.0 ② 4.7	①中粒②良好 ③にぶい橙色④3/4	口縁部：外傾で立ち上がり中位に段を持ち、端部で弱く内彎、横撫で。交換点に弱い稜有。底部：深い丸底、外面篦削り。内面撫で。	
40	H－8－4 床直	坏 土師器	① 11.2 ② 4.8	①中粒②良好 ③にぶい橙色④3/4	口縁部：外傾で立ち上がり中位に段を持ち、端部で弱く内彎、横撫で。交換点に弱い稜有。底部：深い丸底、外面篦削り。内面撫で。	
41	H－8－5 埋土	坏 土師器	① [10.7] ② (5.2)	①細粒②良好 ③にぶい黄橙色④1/3	口縁部：外傾で立ち上がり中位に段を持ち、端部で弱く内彎、横撫で。交換点に稜有。底部：深い丸底、外面篦削り、指圧痕有。内面撫で。	器形やや歪む。
42	H－8－6 埋土	坏 土師器	① [11.4] ② (4.3)	①中粒②良好 ③明褐灰色④1/3	口縁部：外傾で立ち上がり中位に段を持ち、端部で弱く内彎、横撫で。交換点に弱い稜有。底部：深い丸底、外面篦削り。内面撫で。	
43	H－8－7 埋土	坏 土師器	① [11.6] ② (4.1)	①細粒②良好 ③にぶい橙色④1/4	口縁部：外傾で立ち上がり中位に段を持ち、端部で弱く内彎、横撫で。交換点に稜有。底部：丸底と推定、外面篦削り。内面撫で。	
44	H－8－8 埋土	甑 土師器	① [19.0] ② (16.0)	①細粒②良好 ③にぶい黄褐色④1/2	口縁部：外反、横撫で。体部：外面篦削り。内面撫で、篦押さえ痕有。底部中央に穿孔有。	
45	H－8－9 床直	甕 土師器	① [20.8] ② (9.4)	①中粒②良好 ③橙色④口縁部～胴上部1/2	口縁部：外反、横撫で。頸部に明確なくびれ無。胴部：外面篦削り。内面撫で。胴部下部欠損。底部：欠損。	
46	H－8－10 床直	壺 土師器	① (22.7) ② 18.4	①中粒②良好 ③暗赤褐色④口縁部～体部上半2/3	口縁部：外反、横撫で。頸部に明確なくびれ有、輪積み痕有。胴部：外面篦削り。内面撫で、輪積み痕有。体部下半欠損。底部：欠損。	
47	H－10－1 床直	坏 土師器	① [13.0] ② 4.1	①細粒②良好 ③にぶい橙色④2/5	口縁部：直立気味に立ち上がり、端部で弱く内彎、やや歪む、横撫で。交換点に稜有。底部：平底気味、外面篦削り。内面撫で。	厚い器肉
48	H－10－2 埋土	坏 土師器	① (13.0) ② (4.6)	①中粒②良好 ③灰橙色④2/3	口縁部：直立し、端部で僅かに内彎、横撫で。交換点に稜有。底部：丸底、外面篦削り。内面撫で。	煤付着。
49	H－10－3 埋土	坏 土師器	① [12.8] ② (4.5)	①細粒②良好 ③橙色④1/4	口縁部：外傾で立ち上がり、端部で外反、横撫で。交換点に稜有。底部：丸底、外面横篦削り。内面撫で。	
50	H－10－4 床直	壺 土師器	① 19.3 ② 31.9	①中粒②良好③橙色 ④体部、口縁部一部欠損	口縁部：やや直立気味に立ち上がり外反、一部に輪積み痕有。頸部に明確なくびれ有。肩部に指圧痕有。胴部：中位に丸みを帯び、器の最大径を持つ、外面篦削り、底部付近に削り後撫で痕有。内面篦撫で、輪積み痕有。	煤付着。
51	H－10－5 床直	甑 土師器	① (13.8) ② 10.3	①細粒②良好③にぶい黄橙色④口縁部2/4欠損	口縁部：外傾、横撫で。体部：外面篦削り、輪積み痕有、指圧痕有。内面篦削り、上位に輪積み痕有。底部中央付近に8個穿孔有。	

番号	遺構番号/層位	器　種	①口径②器高	①胎土②焼成③色調④遺存度	器種の特徴・整形・調整技術	備　考
52	H－10－6 竈内、床直	平　瓶 須恵器	①（11.0） ②（ 1.3）	①細粒②良好 ③灰色④底部のみ	轆轤整形。口縁部：欠損。胴部：欠損。	
53	H－11－1 竈内、床直	坏 土師器	① 13.1 ② 4.1	①細粒②良好 ③橙色④完形	口縁部：やや外傾気味に直立し、横撫で。交換点に稜有。底部：平底気味。外面篦削り。内面撫で。	煤付着。
54	H－11－2 床直	坏 土師器	① 13.2 ② 4.2	①細粒②良好 ③橙色④ほぼ完形	口縁部：僅かに外傾気味に直立、横撫で。交換点に強い稜有。底部：平底気味。外面篦削り。内面撫で。	
55	H－11－3 床直	坏 土師器	① 13.2 ② 4.9	①細粒②良好 ③にぶい黄橙色 ④口縁部一部欠損	口縁部：やや外傾気味に直立し、端部短く内彎、横撫で。交換点に稜有。底部：丸底。外面篦削り。内面撫で、篦押さえ痕有。	
56	H－11－4 床直	坏 土師器	① 11.6 ② 4.1	①細粒②良好 ③橙色④完形	口縁部：外傾で立ち上がり端部で内傾、横撫で。交換点に弱い稜有。底部：平底気味、器肉が均一でない。外面篦削り、口縁部に篦押さえ痕有。底部外面やや摩耗。内面撫で。	全体に歪み有り。
57	H－11－5 床直	坏 土師器	① 15.1 ② 5.4	①中粒②良好 ③黒色④3/4	口縁部：やや外傾気味に直立し、端部で僅かに内彎、横撫で。交換点に稜有。底部：丸底、外面篦削り。内面撫で、篦押さえ痕有。	煤付着。
58	H－11－6 床直	小型壺 土師器	①［10.2］ ② 10.5	①細粒②良好 ③赤色④2/3 弱	口縁部：やや直立から外反、端部短く内彎、横撫で。胴部：中位器最大径、外面篦削り後撫で、その後篦磨き。内面篦撫で、口縁部一部篦磨き痕有。底部：平底気味。	煤付着。
59	H－11－7 床直	甑 土師器	① 18.8 ②（12.2）	①中粒②良好③浅黄橙色④ほぼ完形	口縁部：外反、横撫で。体部：丸みを帯び、外面篦削り。内面撫で、横撫で時の押さえ痕有。底部：穿孔部辺欠損。	
60	H－11－8 床直	甑 土師器	① 19.1 ② 10.2	①細粒②良好 ③暗赤色④完形	口縁部：体部から外反しながら口縁部に移行、横撫で。体部：外面篦削り後研磨。内面撫で、底部付近僅かに研磨を施す。底部：尖底、10個の穿孔有。	底部内面に煤付着
61	H－11－9 竈内、床直	長胴甕 土師器	① 18.6 ② 36.6	①中粒②良好③明赤褐色④ほぼ完形	口縁部：外反、横撫で。頸部に明確なくびれ無。胴部：上位にややふくらみを持ち、外面上半縦・下半斜め篦削り。内面撫で、横篦撫で痕有、輪積み痕有。底部：平底。	
62	H－11－10 竈内、床直	長胴甕 土師器	① 10.0 ② 41.8	①中粒②良好③にぶい赤褐色④ほぼ完形	口縁部：外反、横撫で。頸部に明確なくびれ無。胴部：中位にややふくらみを持ち、外面上半縦・下半斜め篦削り。内面撫で、上位横篦撫で痕有。底部：平底。	
63	H－11－11 竈内、床直	長胴甕 土師器	① 19.5 ②（27.8）	①中粒②良好 ③赤橙色④胴下部～底部欠損	口縁部：外反、横撫で。頸部に明確なくびれ無。胴部：上位にややふくらみを持ち、外面篦削りの後撫で。内面撫で、上位に篦撫で痕有、輪積み痕有。底部：欠損。	全体的に歪んでいる。
64	H－11－12 床直	壺 土師器	①［22.2］ ② 33.5	①中粒②良好 ③黄灰色④1/3	口縁部：外反、横撫で。胴部：中位器最大径、外面篦削り。内面撫で、篦撫で痕有。底部：平底気味。	
65	H－11－13 床直	長胴甕 土師器	① 23.2 ②（17.8）	①細粒②良好 ③にぶい黄褐色④口縁～体部上半	口縁部：器最大径、外反、横撫で。頸部に指圧痕有、明確なくびれ無。胴部：外面縦・斜め方向の削り。内面撫で、篦押さえ痕有。底部：欠損。	全体的に歪んでいる。
66	H－12－1 埋土	坏 土師器	①［12.4］ ②（ 3.6）	①細粒②良好 ③明赤褐色④1/2	口縁部：外傾気味に立ち上がり、端部で直立、横撫で。口唇は丸みを帯びる。交換点に稜有。底部：丸底、外面篦削り。内面撫で。	全体に歪み有り。
67	H－12－2 床直	坏 土師器	① 12.3 ② 4.9	①細粒②良好 ③橙色④3/4	口縁部：外反気味から外傾、横撫で。体部：摩耗。交換点に稜有。底部：丸底、外面削り。内面撫で。	
68	H－12－3 埋土	坩 土師器	①［11.0］ ② 8.3	①細粒②良好 ③にぶい褐色④1/2	口縁部：ほぼ直立に立ち上がり、横撫で。胴部：上位器最大径、外面篦削り、底部に磨き痕有。内面撫で、輪積み痕有。底部：平底気味。	
69	H－13－1 床直	坏 須恵器	① 12.5 ② 3.4	①細粒②良好 ③灰白色④完形	轆轤整形。口縁部：外傾から外反、轆轤撫で。底部：回転糸切り。内外両面に油煙が残る。	
70	H－13－2 床直	坏 須恵器	①（12.8） ②（ 3.1）	①細粒②良好 ③黄灰色④2/3	轆轤整形。口縁部：外傾から外反、轆轤撫で。底部：回転糸切り痕右回り。	
71	H－13－3 床直	坏 須恵器	①（13.5） ②（ 3.3）	①中粒②良好③黒褐色④口縁と底部欠損	轆轤整形。口縁部：外傾から外反、轆轤撫で。底部：回転糸切り痕右回り。	煤付着。
72	H－13－4 竈内、埋土	坏 土師器	①［12.8］ ② 3.6	①細粒②良好 ③にぶい赤褐色④1/2	口縁部：外傾で立ち上がり、端部で内彎、横撫で。底部：平底、外面削り、指圧痕有。内面撫で。	
73	H－13－5 床直	椀 須恵器	①［17.6］ ②（ 6.5）	①細粒②良好 ③にぶい橙色④1/8	轆轤整形。体部：底部から内彎気味に立ち上がり、口縁部は僅かに外反する。轆轤撫で。底部：糸切り後篦撫で、付高台。	
74	H－16－1 床直	坩 土師器	① ― ②（10.8）	①細粒②良好 ③にぶい黄橙色④ほぼ完形 口縁部欠損	口縁部：外傾、横撫で。胴部：中位器最大径、外面篦削り。内面撫で、篦撫で痕有。底部：平底。	煤付着。
75	H－16－2 床直	甕 土師器	①［15.8］ ②（13.8）	①細粒②良好 ③黒褐色④1/4	口縁部：外反、横撫で、輪積み痕有。胴部：中位器最大径、外面篦削り。内面撫で、篦撫で痕有、輪積み痕有。底部：欠損。	雑な調整
76	H－16－3 床直	高　坏 土師器	①［21.2］ ②（ 7.0）	①細粒②良好 ③にぶい橙色④1/4	坏部：底部から外反、外面横撫での体部と口縁部、輪積み痕有。体部：縦方向の磨き有。脚部：欠損。内面撫で、指圧痕有。	

番号	遺構番号/層位	器　種	①口径②器高	①胎土②焼成③色調④遺存度	器種の特徴・整形・調整技術	備　考
77	H－17－1 床直	坏 土師器	①　12.2 ②　4.5	①細粒②良好 ③にぶい橙色④完形	口縁部：外傾、端部僅かに内彎、横撫で。交換点に弱い稜有。底部：丸底、外面削り。内面撫で、篦押さえ痕有。	煤付着。
78	H－17－2 床直	坏 土師器	①［13.2］ ②　4.8	①細粒②良好 ③にぶい赤褐色④1/2	口縁部：外傾気味、端部僅かに内彎、横撫で。交換点に稜有。底部：丸底、外面削り。内面撫で。	煤付着。
79	H－17－3 床直	甕 土師器	①［18.4］ ②　12.8	①中粒②良好 ③にぶい橙色④口縁～胴上部1/5	口縁部：器最大径、大きく外反、横撫で。頸部に明確なくびれ無。胴部：篦削り。胴下部欠損。底部：欠損。	
80	H－18－1 床直	坏 土師器	①　11.3 ②　4.7	①細粒②良好 ③橙色④完形	口縁部：外傾、端部で外反、横撫で。交換点に緩やかな稜有。底部：丸底、外面篦削り。内面撫で、篦押さえ痕有。	
81	H－18－2 床直	坏 土師器	①　12.0 ②　4.3	①細粒②良好 ③橙色④完形	口縁部：外傾、横撫で。交換点に稜有。底部：丸底、外面横篦削り。内面撫で。	歪んだ楕円形
82	H－18－3 床直	坏 土師器	①　12.4 ②　3.8	①細粒②良好 ③明赤褐色④1/2	口縁部：外傾、端部でやや膨らみを持つ、横撫で。交換点に弱い稜有。底部：丸底、外面横篦削り。内面撫で。	
83	H－18－4 埋土	坏 土師器	①［11.3］ ②（3.7）	①細粒②良好 ③黒色④1/3	口縁部：直立、横撫で。交換点に稜有。底部：丸底と推定、外面篦削り。内面撫で。	煤付着。
84	T－1－1 床直	坏 土師器	①　11.4 ②　4.5	①細粒②良好 ③橙色④2/3	口縁部：外傾、横撫で。交換点に弱い稜有。底部：丸底、外面篦削り。内面撫で。	煤付着。
85	T－1－2 埋土	坏 土師器	①　12.2 ②　4.0	①細粒②良好 ③橙色④2/3	口縁部：外傾、横撫で。交換点に稜有。底部：丸底、外面削り。面撫で。	
86	T－1－3 床直	壺 土師器	①［14.0］ ②　16.6	①中粒②良好 ③灰赤色④口縁2/3欠損、体部一部欠損	口縁部：外反、横撫で。胴部：中位器最大径、外面篦削り、一部篦削り後磨き有。内面撫で。底部：平底。	煤付着。
87	T－1－4 埋土	甕 土師器	①［16.0］ ②（14.2）	①細粒②良好 ③褐色④1/3弱	口縁部：外反、刷毛目後横撫で。頸部に明確なくびれ有。胴部：外面刷毛目。内面刷毛目。胴下部欠損。底部：欠損。	
88	W－1－1 埋土	坏 土師器	①　12.4 ②　3.7	①細粒②良好 ③明赤褐色④1/3	口縁部：外傾、横撫で。体部：外面撫で、指圧痕有。底部：平底気味、外面篦削り。内面撫で。	底部に墨書有り。
89	D－1－1 床直	坏 土師器	①［12.8］ ②　4.8	①中粒②良好 ③橙色④1/3強	口縁部：外反から外傾、横撫で。交換点に弱い稜有。底部：丸底、外面篦削り。	

注）①層位は、「床直」：床面より10cm以内の層位からの検出、「埋土」：床面より11cm以上の層位からの検出の２段階に分けた。竈内の検出については「竈内」と記載した。
②口径、器高の単位はcmであり、重さの単位はｇである。現存値を（　）、復元値を［　］で示した。
③胎土は、細粒（0.9mm以下）、中粒（1.0～1.9mm以下）、粗粒（2.0mm以上）とし、特徴的な鉱物が入る場合に鉱物名等を記載した。
④焼成は、極良・良好・不良の三段階とした。
⑤色調は土器外面で観察し、色名は新版標準土色帳（小山・竹原1976）によった。

Tab. 6　石製品観察表

番号	出土位置	器種	大　き　さ	重さ	石材	備　　考
1	X48 Y188	開元通寶	①径2.5　②孔径0.7　③厚さ0.1	3.0	銅	背文なし。鋳造年号（西暦）621年
2	H－1	白玉	①径1.4　②孔径0.3　③厚さ0.6	1.8	滑石	側面が平らな作り。一部欠損。
3	H－6	白玉	①径1.5　②孔径0.3　③厚さ0.3	1.3	滑石	側面が平らな作り。
4	J－2	白玉	①径1.2　②孔径0.3　③厚さ0.4	1.0	滑石	側面が平らな作り。一部欠損。
5	H－1	紡錘車	①上径2.3　②下径4.2　③孔径0.6　④厚さ2.0	43.2	滑石	截頭円錐形。上径～側面一部欠損。上・側面に加工痕有。
6	H－1	紡錘車	①上径4.2　②下径4.2　③孔径0.6　④厚さ0.7	18.4	滑石	上面は滑らかでよく研磨されている。片面が剥離している。丁寧な作り。
7	H－2	紡錘車	①上径2.0　②下径3.9　③孔径0.8　④厚さ2.0	38.4	滑石	截頭円錐形。上・下径・側面に鋸歯状の線刻で、一つ置きに網目を充填している。上径一部欠損。研磨されている。
8	H－14	紡錘車	①上径1.9　②下径3.7　③孔径0.9　④厚さ1.7	32.2	滑石	截頭円錐形 。上径の縁に放射状の刻み目有。下径・側面に加工痕有。

注）径、厚さの単位はcmであり、重さの単位はｇである。現存値を（　）、復元値を［　］で示した。

Tab. 7　縄文時代出土遺物観察表

番号	出土位置	器形	①胎土　②焼成　③色調　④残存　⑤大きさ	文様・整形方法	備考
1	J－3	深鉢	①細粒　②良好　③灰黄褐色　④口縁～胴部 ⑤口径44.2、高さ（30.5）	縄文ＬＲ。口縁は平縁。口縁部に隆帯による区画、隆帯渦巻文。区画内にＬＲ縄文。区画・渦巻文は７単位か。胴部に１条の沈線による蛇行懸垂文が５本、４条あるいは２条の並行沈線による懸垂文が６列交互に施文される。	加曽利ＥⅡ Fig. 6 遺物１
2	J－3	深鉢	①細粒　②良好　③黒褐色　④口縁～胴部 ⑤口径33.4、高さ（17.0）	縄文ＬＲ。口縁部に渦巻状の突起。口縁部に隆帯による区画、隆帯渦巻文。胴のくびれた部分に３条の並行沈線が横走。そこから３条の並行沈線が垂下。	加曽利Ｅ Fig. 6 遺物２
3	J－3	深鉢	①細粒　②良好　③橙色　④胴部	縄文ＬＲ。３条の沈線による渦巻文。	加曽利Ｅ
4	J－3	深鉢	①細粒　②良好　③灰黄褐色　④頸～胴部	縄文ＬＲ。頸部に３条の並行沈線が横走。３条の沈線による連弧文。	加曽利Ｅ
5	J－3	深鉢	①細粒　②良好　③灰褐色　④口縁	口縁部に隆帯による区画。隆帯上に刺突。こぶ状の隆帯に沈線による渦巻文。区画内に縦方向の沈線。	加曽利Ｅ
6	J－3	深鉢	①細粒　②良好　③にぶい赤褐色　④頸～胴部	羽状縄文、一部擦り消し。頸部に２条の隆線が横走。	加曽利Ｅ
7	J－3	深鉢	①細粒　②良好　③にぶい褐色　④口縁	縄文ＬＲ。口縁部に３条の沈線を廻らし、上２条の沈線上に上下交互に刺突。胴部に２条の沈線による連弧文。	加曽利Ｅ
8	J－3	深鉢	①細粒　②良好　③にぶい黄橙色　④口縁	縄文ＬＲ。口縁部に３条を廻らし、上２条の沈線上に上下交互に刺突。胴部に３条の沈線による連弧文。	加曽利Ｅ
9	J－3	深鉢	①細粒　②良好　③褐灰色　④口縁	口縁部に隆帯による区画、隆帯渦巻文。区画内にＬＲ縄文。	加曽利Ｅ
10	J－3	深鉢	①細粒　②良好　③黄橙色　④口縁	縄文ＲＬ。３条の沈線による連弧文？	加曽利Ｅ
11	J－3	深鉢	①細粒　②良好　③にぶい黄褐色　④胴部	櫛歯状工具による条線文。１条の沈線が横走。	曽利？
12	J－3	深鉢	①細粒　②良好　③にぶい黄橙色　④胴部	櫛歯状工具による条線文。２条の沈線が横走。	曽利？
13	J－3	深鉢	①細粒　②良好　③にぶい黄橙色　④頸～胴部	条線文。頸部に２条の沈線が横走。胴部に３条の沈線による波状文。	曽利？
14	J－3	深鉢	①細粒　②良好　③にぶい黄橙色　④頸～胴部	縄文ＬＲ。頸部に１条の隆線、その下に２条の沈線が横走。胴部に２条の沈線による連弧文？	
15	J－3	深鉢	①細粒　②良好　③橙色　④胴部	縄文ＬＲ。１条の隆線。	
16	J－3	深鉢	①細粒　②良好　③褐灰色　④口縁	沈線による綾杉文。	
17	J－4	深鉢	①細粒　②良好　③明黄褐色　④底部	縄文ＬＲ、一部擦り消し。２条１組の沈線による懸垂文？	
18	J－3	深鉢	①細粒　②良好　③にぶい黄橙色　④口縁	無文。	
19	J－4	深鉢	①細粒　②良好　③にぶい黄橙色　④口縁～胴部 ⑤口径49.5、高さ（30.5）	口縁はほぼ全周し、平縁。口縁部に綾杉状の山形沈線が７単位。頸部に３条の並行沈線が横走。胴部に縦方向の条線文が施され、３条の沈線による横位のＳ字状文が４単位施文される。	曽利
20	J－4	深鉢	①細粒　②良好　③にぶい橙色　④口縁～胴部 ⑤口径42.9、高さ（43.0）	縄文ＬＲ。口縁はほぼ全周し、４単位の波状口縁。口縁部下に２条の沈線による連弧文が８単位、その下に宝珠状沈線が９個、双渦巻文が９個。口縁の突起の直下に沈線による渦巻文が４個。頸部に４条の沈線を廻らし、中２条の沈線に上下交互に刺突。胴部に３条の沈線による横位の波状文が５単位（７単位か）。	加曽利Ｅ
21	J－4	深鉢	①細粒　②良好　③にぶい黄橙色　④口縁～胴部 ⑤口径43.0、高さ（39.8）	櫛歯状工具による条線文。口縁部は約２分の１残存し、平縁。口辺部に３条の並行沈線を廻らし、渦巻文が３個施文（本来は５個か）。その下に２条の沈線による連弧文。頸部に４条の並行沈線が横走。４条の沈線が垂下。	曽利？
22	J－4	深鉢	①細粒　②良好　③にぶい黄橙色　④口縁～底部 ⑤胴径［21.5］高さ30.5、底径8.8	条線文。口縁部は約３分の１残存し、波状口縁。	
23	J－4	深鉢	①細粒　②良好　③にぶい黄橙色　④頸～胴部 ⑤胴径（20.0）、高さ（15.0）	縄文ＬＲ。頸部に３条の沈線を廻らし、上２条の沈線上に上下交互に刺突。胴部に３条の沈線による横位のＳ字状文が３単位？	
24	J－4	深鉢	①細粒　②良好　③にぶい橙色　④胴～底部 ⑤胴径（11.5）、高さ（14.0）、底径7.5	縄文ＬＲ。３条１組の沈線による懸垂文が３単位。	
25	J－4	深鉢	①細粒　②良好　③明黄褐色　④口縁	縄文ＬＲ。口縁部に２条の沈線による連弧文が３単位、その下に宝珠状沈線が３個、双渦巻文が３個。	加曽利Ｅ
26	J－4	深鉢	①細粒　②良好　③にぶい黄橙色　④口縁	口縁部に渦巻状の突起。口縁部に隆帯による区画。区画内に綾杉文・渦巻文。	加曽利Ｅ
27	J－4	深鉢	①細粒　②良好　③浅黄橙色　④口縁	縄文ＬＲ。口縁部に隆帯による区画。区画内に縄文・渦巻文。頸部は無文。	加曽利Ｅ

番号	出土位置	器形	①胎土　②焼成　③色調　④残存　⑤大きさ	文様・整形方法	備考
28	J－4	深鉢	①細粒　②良好　③にぶい黄橙色　④口縁	縄文ＬＲ。口縁部に隆帯による区画、隆帯渦巻文。区画内に綾杉文。	加曽利Ｅ
29	J－4	深鉢	①細粒　②良好　③にぶい橙色　④口縁	口縁部に隆帯による区画、隆帯渦巻文。区画内に綾杉文。	加曽利Ｅ
30	J－4	深鉢	①細粒　②良好　③にぶい黄橙色　④口縁	口縁部に渦巻状の突起。口縁部に隆帯による区画、隆帯渦巻文。区画内に綾杉文。	加曽利Ｅ
31	J－4	深鉢	①細粒　②良好　③にぶい黄橙色　④口縁	口縁部に隆帯による区画。区画内に綾杉文。頸部に２条の隆線が横走。	加曽利Ｅ
32	J－4	深鉢	①細粒　②良好　③にぶい黄橙色　④口縁	縄文ＬＲ。口縁部に隆帯による区画、隆帯渦巻文。区画内に綾杉文。	加曽利Ｅ
33	J－4	深鉢	①細粒　②良好　③明黄橙色　④口縁	口縁部に渦巻状の突起。口縁部に隆帯による区画。区画内に沈線文・渦巻文。	加曽利Ｅ
34	J－4	深鉢	①細粒　②良好　③黒褐色　④口縁	沈線による綾杉文。	
35	J－4	深鉢	①細粒　②良好　③にぶい橙色　④口縁	無文。	
36	J－4	深鉢	①細粒　②良好　③にぶい黄橙色　④胴部	縦方向の条線文。	曽利？
37	J－4	深鉢	①細粒　②良好　③にぶい橙色　④胴部	縦方向の条線文。	曽利？
38	J－4	深鉢	①細粒　②良好　③褐灰色　④口縁	縄文ＬＲ。口縁部が強く内湾。口縁・頸部に２条の沈線を廻らし上下沈線上に上下交互に刺突。口縁部と頸部の間に２条の沈線による連弧文、その下に宝珠状沈線。	加曽利Ｅ
39	J－4	深鉢	①細粒　②良好　③明黄褐色　④口縁	縄文ＬＲ。口縁部に３条の沈線を廻らし上２条の沈線上に上下交互に刺突。胴部に３条の沈線による連弧文・渦巻文。	加曽利Ｅ
40	J－4	深鉢	①細粒　②良好　③灰黄褐色　④口縁	条線文。口縁部に３条の沈線を廻らし上２条の沈線上に上下交互に刺突。胴部に３条の沈線による連弧文。	
41	J－4	深鉢	①細粒　②良好　③灰褐色　④口縁	口縁部に１条の沈線を廻らしその上下に交互に刺突。その下に３条の沈線。胴部に連弧文？	
42	J－4	深鉢	①細粒　②良好　③橙色　④口縁～頸部	縄文ＬＲ。３条の沈線による連弧文。頸部に沈線が横走。	
43	J－4	浅鉢	①細粒　②良好　③黒色　④口縁	口縁部に山形突起。突起から口端に蕨手状の沈線。	
44	J－4	深鉢	①細粒　②良好　③にぶい黄橙色　④口縁	縄文ＬＲ・ＲＬ。口縁部に３条の沈線が横走。	
45	J－4	深鉢	①細粒　②良好　③にぶい黄橙色　④頸～胴部	隆帯による円形区画内・沈線による区画内にＬＲ縄文。胴部に条線文。	加曽利Ｅ
46	J－4	深鉢	①細粒　②良好　③にぶい黄橙色　④口縁	口縁部に渦巻状突起。口縁部に隆帯による区画。区画内に綾杉文。	加曽利Ｅ No.30と同一個体か
47	J－4	深鉢	①細粒　②良好　③にぶい黄橙色　④頸部	口端は失われているが、口縁部に隆帯による区画、隆帯渦巻文。区画内にＬＲ縄文。	加曽利Ｅ
48	J－4	深鉢	①細粒　②良好　③にぶい黄橙色　④頸部	口端は失われているが、口縁部に隆帯による区画、隆帯渦巻文。区画内に綾杉文。	加曽利Ｅ
49	J－4	両耳壺	①細粒　②良好　③浅黄橙色　④胴部～把手	胴部に沈線による区画。区画内に縄文ＲＬ・ＬＲ。橋状の把手が付く。	
50	J－4	深鉢	①細粒　②良好　③明赤褐色　④胴部	縄文ＬＲ。口縁部に２条の沈線を廻らしその沈線上に上下交互に刺突。胴部に沈線による渦巻文。	
51	J－4	深鉢	①細粒　②良好　③にぶい黄橙色　④口縁	縄文ＬＲ。口縁部に１条の沈線が横走。胴部に逆Ｕ字形の沈線。	
52	J－4	深鉢	①細粒　②良好　③橙色　④口縁	縄文ＬＲ。口縁部に３条の沈線を廻らし上２条の沈線上に上下交互に刺突。	
53	J－4	深鉢	①細粒　②良好　③赤褐色　④口縁	縄文ＬＲ・ＲＬ。口縁部に２条の沈線を廻らしその沈線上に上下交互に刺突。胴部に３条の沈線による連弧文。	加曽利Ｅ
54	J－4	深鉢	①細粒　②良好　③にぶい黄橙色　④頸～胴部	縄文ＬＲ。頸部に沈線が横走。胴部に３条の沈線による半円文？	
55	J－3	深鉢	①細粒　②良好　③にぶい黄橙色　④胴部	縄文ＬＲ。沈線による蕨手状渦巻文。	
56	J－4	浅鉢	①細粒　②良好　③にぶい黄橙色　④口縁	口唇部肥厚。口唇部に２条の沈線が横走。沈線は最後に連結。	
57	J－4	浅鉢	①細粒　②良好　③褐灰色　④口縁	波状口縁か？口唇部肥厚。口唇部に沈線による渦巻文・刺突文。	
58	J－4	浅鉢？	①細粒　②良好　③灰褐色　④口縁	無文。	
59	J－4	深鉢	①細粒　②良好　③橙色　④胴部	縄文ＬＲ。沈線による懸垂文、内部磨り消し。	

番号	出土位置	器形	①胎土　②焼成　③色調　④残存　⑤大きさ	文様・整形方法	備考
60	J－4	土製円盤	①細粒　②良好　③にぶい黄橙色　④ほぼ完形	縄文。	
61	J－4	土製円盤	①細粒　②良好　③にぶい黄褐色　④ほぼ完形	縄文。	
62	J－4	土製円盤	①細粒　②良好　③にぶい橙色　④ほぼ完形	縄文。	
63	J－4	土製円盤	①細粒　②良好　③橙色　④ほぼ完形	縄文。	
64	J－4	台付鉢？	①細粒　②良好　③浅黄橙色　④脚	2条の併走する隆帯が弧状に付く。	
65	J－4	深鉢	①細粒　②良好　③褐灰色　④口縁	口縁部に沈線による区画。区画内に縄文ＲＬ。	加曽利E
66	J－4	深鉢	①細粒　②良好　③橙色　④頸～胴部 ⑤胴径（17.5）、高さ（12.0）	縄文ＬＲ。頸部に3条の沈線が横走。胴部に1条の沈線による蛇行懸垂文が5単位。	Fig. 8 遺物
67	J－6	深鉢	①細粒　②良好　③明黄褐色　④頸～胴部 ⑤胴径（16.0）、高さ（9.0）	縄文ＬＲ。頸部に3条の並行沈線が横走。胴部に2条の沈線による連弧文。	
68	J－6	浅鉢	①細粒　②良好　③にぶい黄褐色　④口縁～胴部	無文。	
69	J－6	深鉢	①細粒　②良好　③灰黄褐色　④口縁	条線文。口縁部に3条の沈線を廻らし上2条の沈線上に上下交互に刺突。胴部に3条の沈線による連弧文。	
70	J－6	深鉢	①細粒　②良好　③にぶい黄橙色　④口縁	縄文ＬＲ。口縁部に2条の沈線が横走。胴部に2条の沈線による連弧文。	
71	J－6	深鉢	①細粒　②良好　③にぶい黄橙色　④胴部	縄文ＬＲ。くびれ部に2条の沈線が横走。胴部に3条の沈線による連弧文。	
72	J－6	深鉢	①細粒　②良好　③明黄褐色　④口縁～胴部	口縁部に隆帯による長方形の区画。区画内に綾杉文。	
73	J－6	深鉢	①細粒　②良好　③浅黄橙色　④胴部	縄文ＬＲ。くびれ部に3条の沈線が横走。胴部に3条の沈線による連弧文。	
74	J－6	深鉢	①細粒　②良好　③浅黄橙色　④口縁	口縁部に2条の沈線が横走。胴部に沈線。	
75	J－6	深鉢	①細粒　②良好　③にぶい黄橙色　④口縁	縄文ＲＬ。3条の沈線による連弧文。	
76	J－6	深鉢	①細粒　②良好　③にぶい黄橙色　④胴部	縄文ＬＲ。口端部は失われているが、口縁部に隆帯による区画。区画内に縦方向の沈線。頸部に2本の沈線が横走。	
77	J－6	深鉢	①細粒　②良好　③にぶい黄褐色　④口縁	条線文。口縁部に3条の沈線を廻らし上2条の沈線上に上下交互に刺突。	
78	J－7	深鉢	①粗粒（繊維）②良好 ③にぶい赤褐色 ④口縁～胴部 ⑤口径［20.0］、高さ（20.0）	羽状縄文か？	黒浜
79	J－8	深鉢	①細粒　②良好　③橙色　④胴部 ⑤口径［19.5］、高さ（10.5）	縄文ＬＲ。口縁近くに1条の沈線が横走。その下に1条の沈線による蛇行文が横走。	Fig. 9 遺物
80	X50, Y197	器台	①細粒　②良好　③橙色　④ほぼ完形 ⑤上径17.0、下径20.5、高さ9.5	無文。胴部に2つ1組の穴が4単位あく。	
81	X40･41, Y191	深鉢	①細粒　②良好　③赤褐色　④胴部 ⑤胴径（41.0）、高さ（22.0）	縄文ＬＲ。3条の並行沈線が垂下。沈線による渦巻文。全体に文様が摩滅。	
82	表　採	深鉢	①細粒　②良好　③にぶい赤褐色　④胴部	隆線による渦巻文。	焼町
83	J－4	深鉢	①細粒　②良好　③にぶい黄橙色　④口縁	補修孔あり。	諸磯b
84	J－4	深鉢	①細粒　②良好　③にぶい黄橙色　④胴部	半裁竹管による連続爪形文。	諸磯b
85	J－4	深鉢	①細粒　②良好　③橙色　④胴部	沈線による山形文。	諸磯b
86	表　採	深鉢	①細粒　②良好　③にぶい黄橙色　④胴部	条線文。円形貼付文。	諸磯c
87	J－4	深鉢	①細粒　②良好　③にぶい赤褐色　④口縁	条線文。貼付文。	諸磯c

注）①口径・胴径・底径・高さの単位はcmである。現存値を（　）、復元値を［　］で示した。
②胎土は、細粒（0.9㎜以下）、中粒（1.0～1.9㎜以下）、粗粒（2.0㎜以上）とし、特徴的な混入物がある場合それを記載した。
③焼成は、極良・良好・不良の三段階とした。
④色調は土器外面で観察し、色名は新版標準土色帳（小山・竹原1976）によった。

Tab. 8　石器観察表

番号	出土位置	器種	長さ	幅	厚さ	重さ	石材	備　考
1	J－1	削器	9.1	7.1	2.6	160	黒色頁岩	大形。刃部両面調整。裏面に一部自然面を残す。
2	J－2	石皿	(18.1)	18.7	4.5	1920	粗粒安山岩	楕円形、一部欠損。裏面凹痕。
3	J－3	石鏃	2.5	1.4	0.4	0.9	頁岩	凹基無茎鏃。
4	J－3	石鏃	2.4	1.6	0.4	0.9	黒色安山岩	凹基無茎鏃。
5	J－3	石鏃	4.0	1.8	0.4	1.6	黒色安山岩	凹基無茎鏃。
6	J－3	ハンマーストーン	13.2	2.3	1.0	64.5	結晶片岩	先端側面に敲打痕。一部欠損。
7	J－3	磨り石	13.0	11.0	3.7	740	細粒安山岩	扁平状。側面敲打痕。裏面僅かに凹痕。一部欠損。
8	J－3	磨り石	12.3	9.1	4.4	765	細粒安山岩	扁平状。表裏両面に磨り痕と凹痕。側面に凹痕。
9	J－4	石鏃	1.5	1.4	0.4	0.4	黒曜石	平基無茎鏃。
10	J－4	石匙	2.5	(1.7)	0.5	1.5	チャート	刃部・つまみ部一部欠損。刃部に細かい調整。
11	J－4	打製石斧	13.8	4.8	2.1	150	黒色頁岩	短冊形。両縁側から刃部にかけて細かい調整。
12	J－4	削器	5.7	2.6	0.9	11.2	頁岩	横形。両側縁に細かい調整。
13	J－4	打製石斧	11.2	4.0	1.4	72	細粒安山岩	短冊形。両縁側から刃部にかけて細かい調整。
14	J－4	打製石斧	10.2	4.0	1.1	45.6	頁岩	撥形。両縁側から刃部にかけて細かい調整。裏面に自然面。
15	J－4	打製石斧	11.9	5.1	1.6	105	黒色安山岩	短冊形。両縁側から刃部にかけて細かい調整。
16	J－4	石槍	8.1	3.0	0.9	19.4	黒色頁岩	先端部にかけて細かい調整。
17	J－4	打製石斧	11.1	6.9	2.1	175	黒色頁岩	分銅形。両縁側から刃部にかけて細かい調整。裏面自然面。
18	J－4	打製石斧	9.5	4.1	1.0	40	黒色頁岩	撥形。両縁側から刃部にかけて細かい調整。裏面自然面。
19	J－4	磨り石	8.1	7.7	3.9	365	細粒安山岩	円状。表裏両面に磨り痕と凹痕。側面に凹痕。
20	J－6	磨り石	11.9	8.0	4.7	660	細粒安山岩	扁平状。表裏両面に凹痕。側面敲打痕。
21	J－8	石鏃	1.8	1.5	0.4	0.6	黒曜石	凹基無茎鏃。基部先端部欠損。
22	J－8	打製石斧	10.0	3.6	1.2	39.4	黒色頁岩	短冊形。両側縁に細かい調整。
23	H－1	打製石斧	8.3	5.7	1.1	52	黒色頁岩	撥形。両縁側から刃部にかけて細かい調整。裏面に自然面。
24	H－14	石鏃	(2.0)	(1.4)	0.4	0.8	黒曜石	凹基無茎鏃。基部先端部欠損。
25	W－3	石鏃	(2.1)	(0.9)	0.4	0.6	黒曜石	凹基無茎鏃。基部先端部欠損。
26	D－1	打製石斧	8.9	3.9	1.7	71.5	黒色頁岩	短冊形。両縁側から刃部にかけて細かい調整。裏面自然面。
27	D－1	石皿	20.5	17.6	4.4	2380	粗粒安山岩	楕円形、皿部に出し部有り。表裏両面凹痕。
28	D－32	石皿	31.4	24.6	11.7	10000	粗粒安山岩	裏は多孔石。一部欠損。
29	X41Y184	石鏃	1.8	1.8	0.4	0.9	チャート	凹基無茎鏃。
30	表採	石鏃	1.6	1.1	0.4	0.3	頁岩	凹基無茎鏃。
31	表採	打製石斧	10.4	4.2	1.5	70.5	黒色頁岩	撥形。両縁側から刃部にかけて細かい調整。裏面に自然面。
32	表採	打製石斧	12.0	4.9	1.6	110	黒色頁岩	撥形。両側縁に細かい調整。裏面一部に自然面を残す。
33	表採	打製石斧	11.0	4.7	1.8	110	粗粒安山岩	短冊形。両縁側から刃部にかけて細かい調整。裏面自然面。
34	表採	打製石斧	6.2	6.1	1.3	54	黒色頁岩	撥形。両縁側から刃部にかけて細かい調整。裏面に自然面。
35	表採	打製石斧	9.4	5.5	2.0	110	黒色頁岩	撥形。両側縁に細かい調整。裏面一部に自然面を残す。
36	表採	打製石斧	11.2	7.1	2.2	165	黒色頁岩	撥形。両縁側から刃部にかけて細かい調整。裏面に自然面。
37	表採	打製石斧	12.4	4.6	1.3	73	黒色頁岩	短冊形。両縁側から刃部にかけて細かい調整。裏面自然面。
38	表採	削器	5.7	2.1	0.8	10.8	頁岩	横形。両縁側から刃部にかけて細かい調整。
39	表採	削器	3.5	4.7	0.7	8.0	頁岩	刃部に細かい調整。
40	表採	打製石斧	11.6	4.4	1.6	89.5	黒色頁岩	短冊形。両縁側から刃部にかけて細かい調整。裏面自然面。
41	表採	打製石斧	9.0	3.8	1.1	47.6	頁岩	短冊形。両側縁に細かい調整。裏面一部に自然面を残す。
42	表採	打製石斧	10.1	4.4	1.3	73	黒色頁岩	短冊形。両縁側から刃部にかけて細かい調整。裏面自然面。
43	表採	打製石斧	12.6	5.2	2.4	180	黒色頁岩	短冊形。両縁側から刃部にかけて細かい調整。
44	表採	削器	3.7	8.3	1.1	26.6	黒色頁岩	刃部に細かい調整。
45	表採	打製石斧	9.2	4.3	1.3	62.5	頁岩	撥形。両縁側から刃部にかけて細かい調整。
46	表採	打製石斧	11.2	4.4	1.9	110	細粒安山岩	短冊形。両縁側から刃部にかけて細かい調整。裏面自然面。
47	表採	打製石斧	6.2	6.2	1.6	60.5	黒色頁岩	撥形。両縁側から刃部にかけて細かい調整。裏面自然面。
48	表採	打製石斧	12.3	4.0	1.5	105	黒色頁岩	短冊形。両側縁に細かい調整。裏面一部に自然面を残す。
49	表採	打製石斧	11.4	4.1	1.5	100	黒色頁岩	短冊形。両側縁に細かい調整。裏面一部に自然面を残す。
50	表採	打製石斧	11.6	4.3	1.5	115	黒色頁岩	短冊形。両側縁に細かい調整。裏面一部に自然面を残す。
51	表採	打製石斧	13.0	5.2	1.9	185	細粒安山岩	短冊形。両側縁に細かい調整。裏面一部に自然面を残す。
52	表採	削器	5.2	5.1	1.3	33.8	黒色頁岩	横形。刃部に細かい調整。
53	表採	削器	6.7	9.1	1.6	81	黒色頁岩	刃部に細かい調整。
54	表採	尖頭器	10.7	2.0	1.0	18.6	黒色頁岩	両面に丹念な調整を施す。先端部一部欠損。

注）大きさの単位はcmであり、重さの単位はgである。現存値を（　）で示した。

Ⅵ 考　　察

今年度で２年目を迎えた五代南部工業団地及び住宅団地造成に伴う埋蔵文化財発掘調査では、現耕作土より約35cmの厚さで表土を除去したところで、遺構面を確認した。調査の結果、竪穴住居跡24軒、掘立柱建物跡３軒、竪穴状遺構２軒、溝跡４条、土坑33基、柱穴490基を検出することができた。しかし、昭和30年から40年代にかけての土地改良事業により、台地の最も標高が高い部分であった調査区中央が削り取られていた。そのため中央部では遺構が検出されなかったが、幸いその周辺部では遺構を検出することができた。出土遺物からみると、加曽利Ｅ式を中心とする縄文時代中期の土器片や石器から古墳時代・奈良時代の土器片に至るまでの広い時期に渡っている。中でも縄文時代中期の遺物が8416点出土している。ここでは今回の調査によって明らかになった遺構・遺物について主に縄文時代中期、古墳時代、奈良・平安時代、近世の４つの時代に分け、特徴的なことを中心に考察していきたい。また、今後今回の調査結果を周辺遺跡の調査事例と合わせ、より詳細な芳賀地区の歴史解明に寄与したい。

１．縄文時代中期

本遺跡では、今回の調査で７軒の縄文時代の竪穴式住居が検出された。出土した遺物は、ほとんどが縄文時代中期後半の加曽利Ｅ式期のものであり、前期の土器は焼町系、諸磯ｂ・ｃ式土器の小破片が数片と、Ｊ－７号住居跡で黒浜式土器が１点確認されたのみである。

特に大量の遺物が出土したのは、Ｊ－３号住居跡とＪ－４号住居跡である。Ｊ－３住居跡は、径約5.5ｍの円形を呈する住居跡で、炉体土器を伴う地床炉が検出された。この住居跡からは加曽利ＥⅡ式の深鉢（縄文時代出土遺物観察表№１、Fig42）をはじめとする土器・石器が978点出土している。確認面から床面までの深さは24cm程であるが、遺物はプラン確認の時点から確認され、床面までほぼまんべんなく分布している。Ｊ－４号住居跡は、径約7.2ｍの円形を呈する住居で、住居のほぼ中心に、径約2.6ｍ、深さ56cmの土器捨て穴があり、そこから大量の遺物が出土した。土器捨て穴からは積み重なるようにして土器片や石器が出土しており、その土器の大半が加曽利Ｅ式期のものである。この住居の土器は土器捨て穴から集中して出土しているが、穴の中から出土したものと、穴の外から出土したものとの間に明確な時期差は見られなかった。また、Ｊ－４号住居跡からは、長さ３～６cm、幅１～２cm程の三波石（結晶片岩）の小石が20点ほど出土している。三波石はこの地域では産出しないことから、他地域から搬入されたものと思われる。

本遺跡の縄文時代中期の土器の特徴は、加曽利Ｅ式土器を中心としながら、曽利式土器の流入も見られることである。縄文時代出土遺物観察表№19のＪ－４号住居跡出土の深鉢は、頸部がくびれ口縁部が大きく外へ開く、地文に沈線による綾杉文を持ち、胴部に横位のＳ字状文を持つなどの特徴があり曽利式と理解される。加曽利Ｅ式土器と曽利式土器の両要素を持つ折衷様式の土器も多く見られる。また、大木式土器の影響がうかがえる資料もある。№21の沈線による方形の区画などは大木８ａ・８ｂ式の影響を受けたものではないか。加曽利Ｅ式土器はＥⅡ式を中心とし、連弧文土器も多く見られる。連弧文土器は№20や№38などに見られるように、交互刺突文を伴うものが多い。土器の器種は深鉢を中心とし、浅鉢・把手付土器・台付土器・器台が今回出土している。また、土製円盤も４点確認されている。これらのことから、この地域に曽利式や大木式の系統をくむ土器を使用する集団との交流や移動を想定することができよう。

また、本遺跡の北東約300ｍのところに位置する五代伊勢宮Ⅳ遺跡では、縄文時代中期の土坑が26基検出された。これらの土坑には集石と土器の出土が伴うものが多数見られ、土坑墓である可能性が高い。五代伊勢宮Ⅳ遺跡では住居は３軒しか確認されておらず、この周辺は墓域として機能していたことが想定される。土器は縄文時

代中期中葉の焼町系のものを中心としており、本遺跡に少し先行している。五代伊勢宮Ⅳ遺跡を墓域ととらえ、その周辺に居住域を想定したとき、より伊勢宮Ⅳ遺跡に近い位置に時期的に並行する居住域が存在し、本遺跡はそこから時代が下るとともに広がってきた居住域の一部である可能性があるのではないか。本遺跡と伊勢宮Ⅳ遺跡の間の部分は来年度以降に調査が行なわれる予定であり、その成果によってこの地域の当該期の集落構成が解明されることが期待される。

本遺跡の立地する赤城南麓には、群馬県の縄文時代中期を代表する三原田遺跡や道訓前遺跡などが存在している。道訓前遺跡などに比べ、本遺跡はより強く曽利式の影響を受けている傾向が見受けられる。本遺跡の資料が当該期の赤城南麓の様相を解明する一資料となりうるものと思われる。

2．古墳時代

古墳時代の遺構として、古墳時代中期の竪穴住居跡１軒、後期の竪穴住居跡９軒、竪穴状遺構２軒を検出することができた。縄文期に人々が暮らしを営んでいたこの地に、５世紀中頃になると再び住居を構えるようになり、６世紀頃には調査区中央部を取り囲むように周辺部で生活する人々が現れる。但し、中央部については、土地改良により削り取られたため遺構を確認することはできなかった。またこの時期の竪穴住居跡の規模をみると、５世紀中頃の住居の面積は約41.90㎡と比較的大きく、６世紀後半の住居の面積は約12.78㎡～51.03㎡と規模に格差が出てくる、７世紀初頭から中頃になると住居の面積は約4.58㎡～11.64㎡と小規模化していく傾向が確認できる。特にＨ－18号住居跡は、ほぼ正方形2.03ｍ×2.26ｍで、県下で最も小さい竪穴住居跡になるであろう。

Ｈ－16号住居跡は、坩、甕、高坏等の出土遺物から５世紀中頃の竈を伴わない住居であることが判明した。中央やや北寄りに焼土が見られ、炉と思われるが、Ｔ－１号竪穴状遺構との重複などから不明瞭である。また、床面の一部に炭化材が検出されており、焼土も確認されることから焼失住居であると考えられる。

Ｈ－１号住居跡は、坏や長胴甕等の出土遺物から６世紀第３四半期の住居であることが判明した。東側の壁や床面より焼土が確認できることから、当初東側に竈が据えられていたのを、何らかの理由で西側に付け替えられたものと考えられる。竈は両袖に川原石を構築し、その上に長胴甕を両側から渡して補強材として用いていた。煙道部の張り出しは確認されているよりも外側まで延びていたと考えられるが、上部の面が削平され、途中までしか確認することができなかった。当初、床面より上で炭化材が確認されたことから、住居廃絶後から上屋が焼失するまで期間があいていたと考えたが、精査により床直で炭化材が出土し、床面も焼けていたことから、住居廃止後からそれほど間を置かず、上屋が焼失したものと考えられる。炭化材の出土状況から、壁際に杭を打ち、杭と壁との間に板を渡してあったと考えられる。また、炭化材の位置などから垂木や棟木と判断できるものも確認された。南壁で一部炭化材が途切れ、壁の上部が削られている部分があり、入口施設に附随するものであるかも知れない。以上のことなどから、住居の上屋構造を知る上で貴重な資料を得ることができた。しかし、東側が一部調査区域外のため、Ｈ－８号住居跡同様、住居の拡張があったのではないかということについての解明には至らなかった。

Ｈ－２号住居跡は、坏、甑、壺、長胴甕等の出土遺物から６世紀第３四半期の住居であることが判明した。精査により竈付近に古い粘土等が堆積しており、一度造り替えた痕跡が窺える。また造り替える際に、袖部に川原石と土器を両側に補強材として用いている。また天井部に補強していたと考えられる土器も検出された。南壁の東寄りにあるＰ－８とＰ－９については、入口施設に附随するピットではないかと考えられる。また、この住居跡からは菰編み石が22個、南側壁中央付近に集中して出土した。菰編み石は植物繊維などを撚った紐で布のようなものを編む際に、その紐を編物具本体から吊り下げておくための重しとして使われたものである。形態は細身の棒状を呈しており、中央部がくびれたもの、中には紐を掛けてできた摩擦痕が見られるものもあった。重さの平均が約640ｇとかなりの重さであることから、吊り下げる紐もある程度太いものであったと思われ、布という

よりはむしろのようなものであったのではないかと想像できる。

Ｈ－８号住居跡は、坏、甑、甕、壺等の出土遺物から６世紀後半の住居であることが判明した。東側の壁面に焼土が確認できることやその竈に伴う貯蔵穴が確認できることから、当初東側に竈が設けられていたのを、西側に付け替えられたものと考えられる。また、西側に竈を付け替える際、南側・東側にそれぞれ約１メートル程住居を拡張したと思われる。その理由として、次の４つが考えられる。

1．東側に竈があった時期の床面には、Ｈｒ－ＦＰ（６世紀中葉・榛名二ツ岳噴出）混じりの黒色土がみられる。拡張部分にはＨｒ－ＦＰが僅かにみられるだけであったことから、Ｈｒ－ＦＰ降下頃住居を拡張したのではないか。

2．西側の竈は拡張の際、住居の壁を削り残して竈の袖の付け根部分にして竈を造っている。住居の壁を造るときに竈をその場所に造ることを意図していることが確認できる。

3．東側の竈の貯蔵穴は、埋土にロームブロックが混じり一気に埋められた形跡があり、意図的に埋められたのではないか。竈を壊した際に一緒に埋めた可能性も考えられるが明確ではない。

4．周溝が東側の竈の跡を切って造られている。

3．奈良・平安時代

奈良時代以降の遺構としては、８世紀代のものと考える竪穴住居跡５軒、掘立柱建物跡３軒を検出することができた。古墳時代の住居跡は調査区中央を取り囲むように位置しているが、奈良時代になると調査区北側に集落が集中している。時期による住居跡の規模をみると、８世紀前半の住居の面積は約16.16㎡、８世紀後半の住居の面積は約8.51㎡～10.85㎡と昨年度の調査事例と同様に竪穴住居の小型化・均一化傾向が確認できる。

居住という用途にのみ使われる住居とは異なり、掘立柱建物の用途は多岐に渡ると言われている。掘立柱建物跡Ｂ－１、Ｂ－２、Ｂ－３の３軒については、出土遺物等検出されず明確な時期を判別できないが、Ｂ－１とＢ－２についてそれぞれの主軸方向がＮ－19°－ＥとＮ－71°－Ｗとなり、直交することから同一規格上に建てられた同時期のものと考えられる。また主軸方向がＨ－７号住居跡とほぼ同一であることや柱穴の平面形状などから８世紀後半頃のものではないかと判断できる。しかし、用途については推定できるような資料を得ることができなかった。方向をややずらしていること、同一の柱穴を重ねて使用していることから、Ｂ－１はＢ－３に建て替えた可能性が考えられる。建て替えに際しては、①妻側の柱間を２間に修正した。②桁行柱筋は以前の穴をそのまま利用している。③桁行柱間の内、中間の狭い柱間を等間に修正している。④最終的には建物裏側（西の部分）で調整している。等のことが考えられる。Ｂ－２に平行して２間×４間の掘立柱建物がＢ－１の北側にあったのではないかと周辺の柱穴群より推測できるが、一部攪乱を受けていることもあり確認できなかった。まとまっていれば、「コ」の字型の構造で、母屋の両側に脇屋を持つ屋敷構えを推測することができる。またこの建物を中心にして、その周辺に竪穴住居で生活する人々が集落を形成していたのではないかと考えられる。しかしこの地区は、土地改良事業により上部を削り取られてしまったため、遺構を確認することができなかった。今回の調査で検出された掘立柱建物跡は３軒だけであるが、調査区内には490基もの柱穴が検出されており、今後周辺の調査によっては掘立柱建物跡としてまとまるものもでてくるのではないかと期待したい。

4．近　世

Ｗ－１号溝跡は当初、昨年度の「五代江戸屋敷遺跡」と同様な方形周溝墓の一部であると考え、範囲を確認するため北方向へ調査区を拡張したが、溝は方形にならず、北東方向に向かって延びていることを確認した。また、「Ｖ」の字型のＷ－１号溝跡と平行して外側にＷ－２号溝跡が走っていることが判明した。精査により、Ｗ－１号溝跡は確認面で上幅75～170㎝、深さ22～97㎝、長さ36.3ｍで、断面形はＵ字状を呈している。Ｗ－２号溝跡

は確認面で上幅55～240cm、深さ11～68cm、長さ54.2mで、断面形はU字状を呈している。W－1号溝跡とW－2号溝跡の間は通路が考えられる。また、W－1号溝跡を挟むように両側に沿ってピットが多数検出し、その内の数個の円形ピットがほぼ一直線上に等間隔に並び、溝に伴って建てられた柵列が考えられる。W－1号溝跡、W－2号溝跡共に途切れる箇所があるが、P－354、P－355、P－356、P－357については、入口施設に附随するピットで、長屋門があった可能性が考えられるが確かではない。また、南西部分の溝については、鬼門封じのために、意図的に溝の形を変えていることも考えられる。W－3号溝跡が「江戸屋敷」という小字名の地区へ南下していることと、この溝がこの台地一体の区画を表しているのではないかという推測を勘案して考えると、「V」の字型のこの溝は、近世の館を取り囲む堀の可能性も想定される。残念ながら今回の発掘調査においては、二重の堀の内部については、大形建物跡、掘立柱建物跡等、館らしい遺構は確認できなかった。次年度以降の広範囲に渡る調査で館に関する多くの資料が得られることに期待したい。

〈引用参考文献〉

神奈川考古同人会編『シンポジウム縄文時代中期後半の諸問題土器資料集成図集』神奈川考古同人会　1980年

末木建「曾利式土器」『縄文文化の研究』第4巻　雄山閣　1981年

桐生直彦「連弧文土器」『縄文文化の研究』第4巻　雄山閣　1981年

佐原真「特論－縄文施文法入門」『縄文土器大成』3　講談社　1981年

中澤充裕・唐澤保之編『芳賀団地遺跡群』第1巻　前橋市教育委員会　1984年

小島敦子・藤巻幸男編『小町田遺跡』㈶群馬県埋蔵文化財調査事業団　1984年

相京建史編『清里・長久保遺跡』㈶群馬県埋蔵文化財調査事業団　1986年

林喜久夫・前原照子・井野誠一編『芳賀団地遺跡群』第2巻　前橋市教育委員会　1988年

谷藤保彦・関根慎二編『縄文中期の諸問題』　群馬県考古学研究所　1989年

前原豊・都所敬尚編『熊野谷遺跡』　前橋市埋蔵文化財発掘調査団　1989年

下城正他編『大平台遺跡』　群馬県教育委員会・㈶群馬県埋蔵文化財調査事業団　1989年

井野誠一編『芳賀団地遺跡群』第3巻　前橋市教育委員会　1990年

群馬県史編さん委員会編『群馬県史』通史編1　群馬県　1990年

群馬県史編さん委員会編『群馬県史』通史編2　群馬県　1991年

井野誠一編『芳賀団地遺跡群』第4巻　前橋市教育委員会　1991年

赤山容造・佐藤明人・小宮俊久編『三原田遺跡』第3巻　群馬県企業局　1992年

井野誠一編『芳賀団地遺跡群』第5巻　前橋市教育委員会　1994年

谷井彪・細田勝「水窪遺跡の研究－加曽利E式土器の編年と曽利式の関係から見た地域性－」『研究紀要』第13号　㈶埼玉県埋蔵文化財調査事業団　1997年

坂口好孝・眞塩明雄編『鳥取福蔵寺遺跡』　前橋市埋蔵文化財発掘調査団　1998年

飯田祐二・佐藤則和編『芳賀東部団地遺跡』　前橋市埋蔵文化財発掘調査団　1998年

林信也・福田貫之編『鳥取福蔵寺遺跡』Ⅱ　前橋市埋蔵文化財発掘調査団　1999年

林信也・平野岳志編『内堀遺跡群』XⅡ　前橋市埋蔵文化財発掘調査団　2000年

齊木一敏・須藤友子編『五代江戸屋敷遺跡』前橋市埋蔵文化財発掘調査団　2001年

長谷川福次編『道訓前遺跡』北橋村教育委員会　2001年

天野賢一他「神奈川における縄文時代文化の変遷Ⅵ」　研究紀要6『かながわの考古学』㈶神奈川考古学財団　2001年

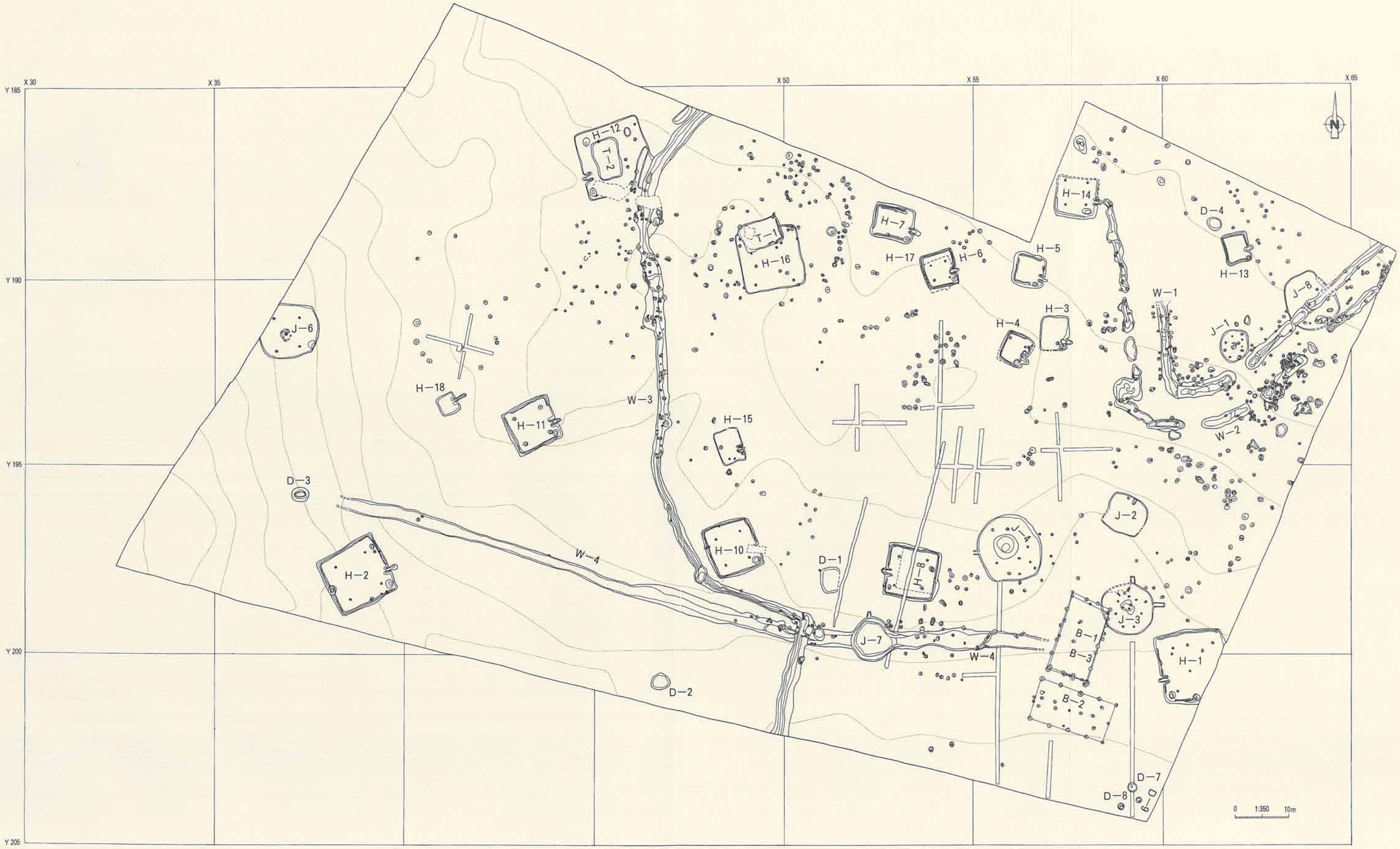
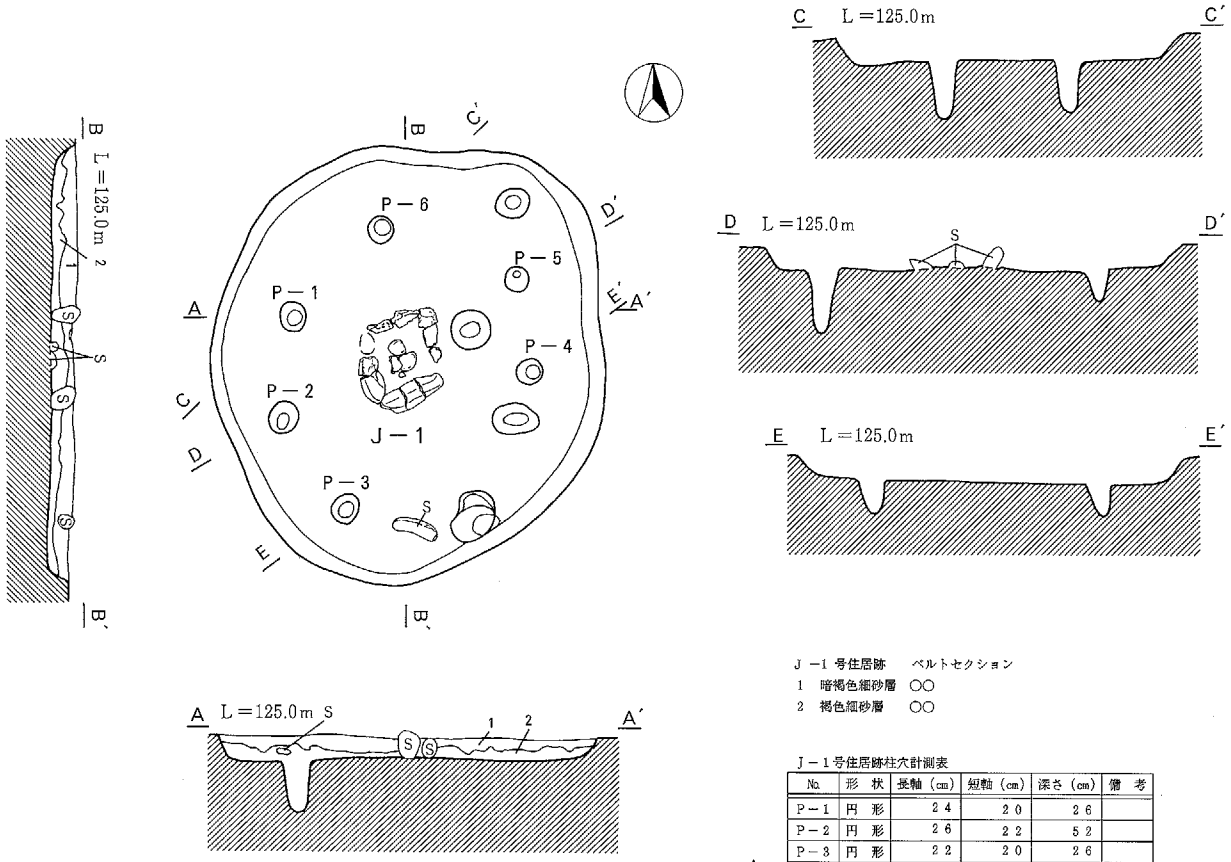

X 30
X 35
X 50
X 55
X 60
X 65
Y 185
Y 190
Y 195
Y 200
Y 205
N
H−12
T−2
T−1
H−16
H−7
H−17
H−6
H−5
H−14
D−4
H−13
W−1
J−8
J−1
H−3
H−4
J−6
H−18
H−11
W−3
H−15
W−2
D−3
J−2
J−4
H−10
D−1
H−8
W−4
H−2
J−3
B−1
B−3
J−7
W−4
H−1
D−2
B−2
D−7
D−8
D−9
0 1:350 10m

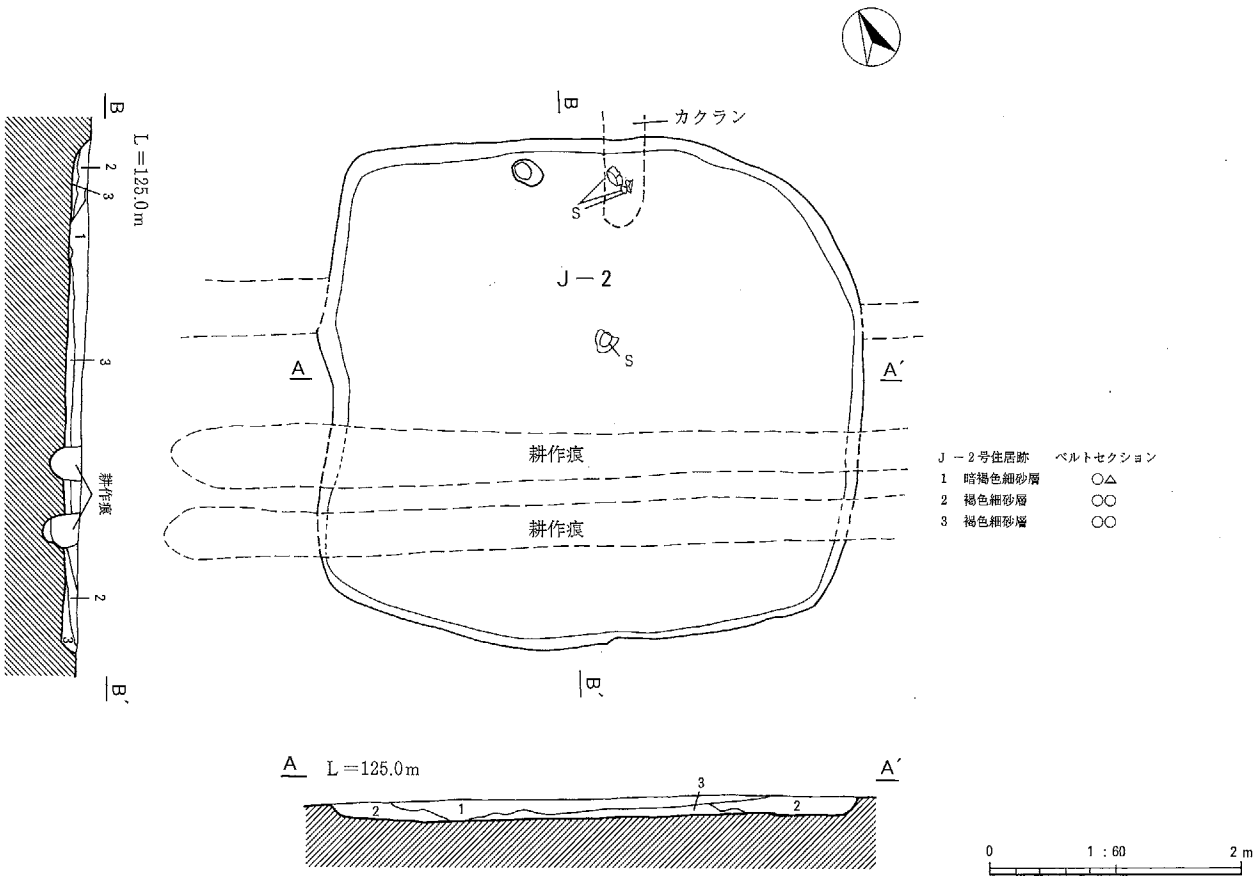
Fig. 4　遺跡全体図



J－1 号住居跡　ベルトセクション
1　暗褐色細砂層　○○
2　褐色細砂層　○○

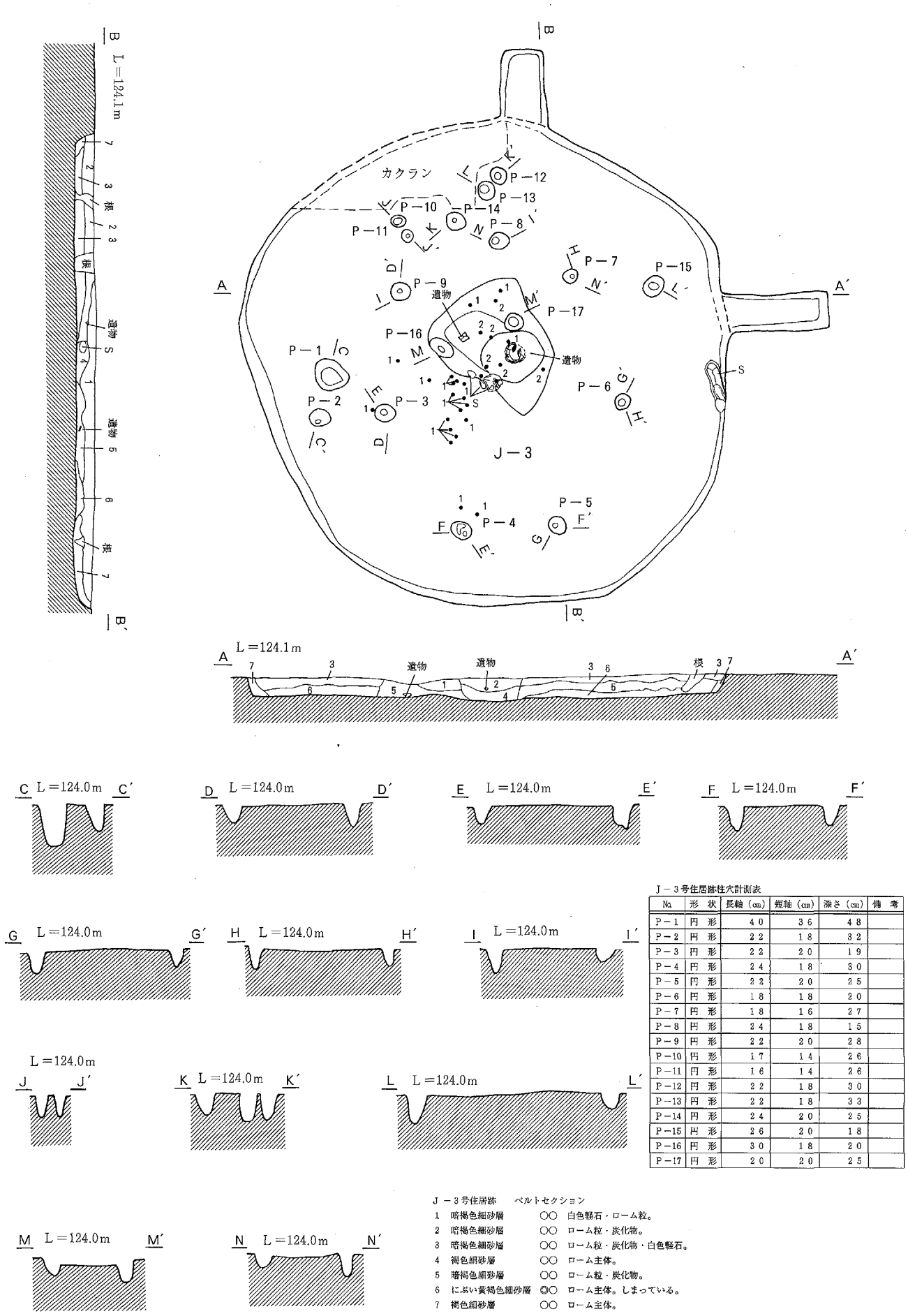
J－1号住居跡柱穴計測表

No.	形　状	長軸（cm）	短軸（cm）	深さ（cm）	備　考
P－1	円　形	24	20	26	
P－2	円　形	26	22	52	
P－3	円　形	22	20	26	
P－4	円　形	22	20	26	
P－5	円　形	20	20	24	
P－6	円　形	22	20	41	



J－2号住居跡　ベルトセクション
1　暗褐色細砂層　○△
2　褐色細砂層　○○
3　褐色細砂層　○○

Fig. 5　J－1・2号住居跡



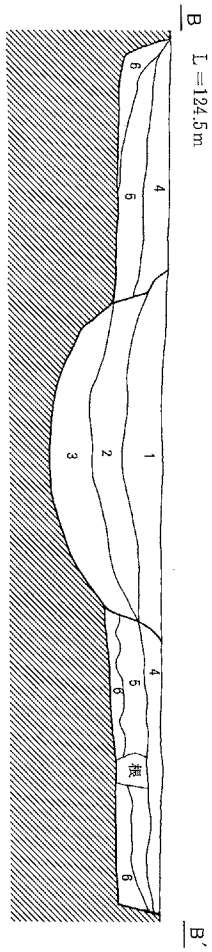
J－3号住居跡柱穴計測表

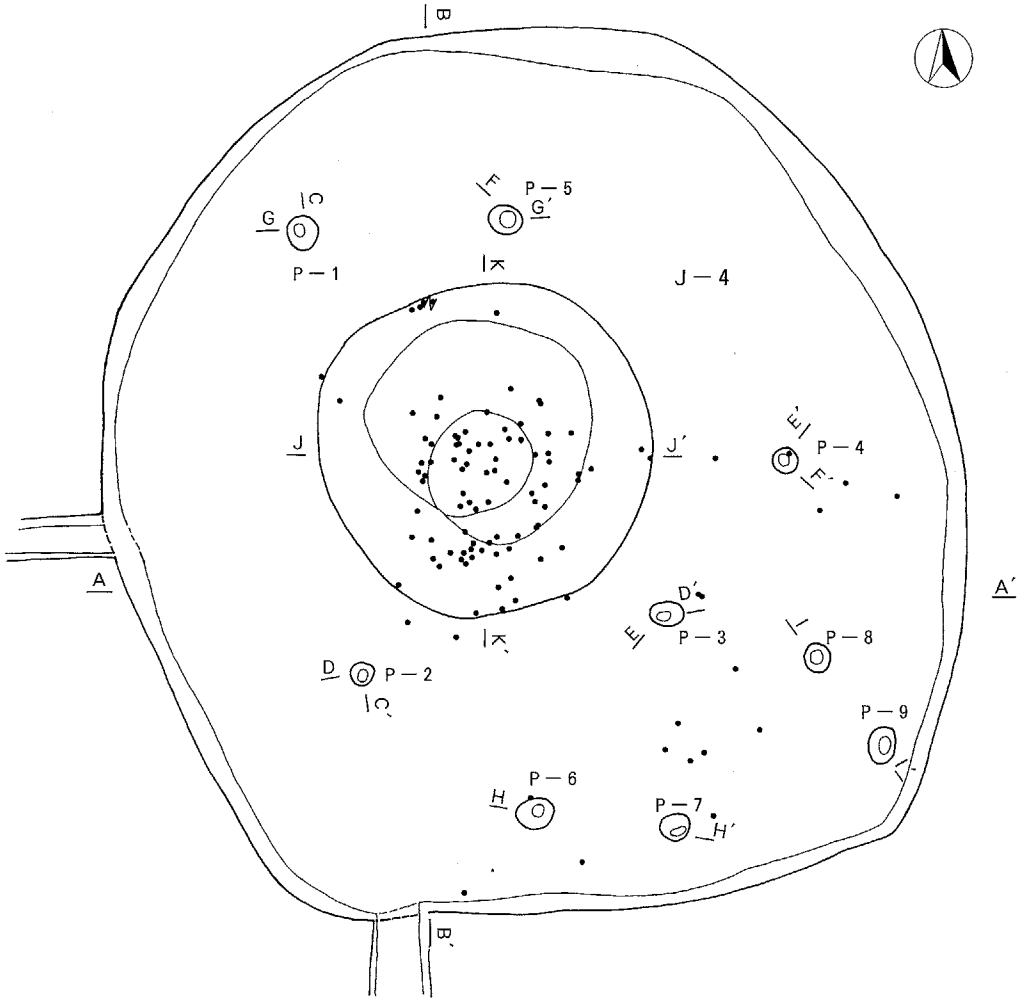
No.	形状	長軸（cm）	短軸（cm）	深さ（cm）	備考
P－1	円形	40	36	48	
P－2	円形	22	18	32	
P－3	円形	22	20	19	
P－4	円形	24	18	30	
P－5	円形	22	20	25	
P－6	円形	18	18	20	
P－7	円形	18	16	27	
P－8	円形	24	18	15	
P－9	円形	22	20	28	
P－10	円形	17	14	26	
P－11	円形	16	14	26	
P－12	円形	22	18	30	
P－13	円形	22	18	33	
P－14	円形	24	20	25	
P－15	円形	26	20	18	
P－16	円形	30	18	20	
P－17	円形	20	20	25	

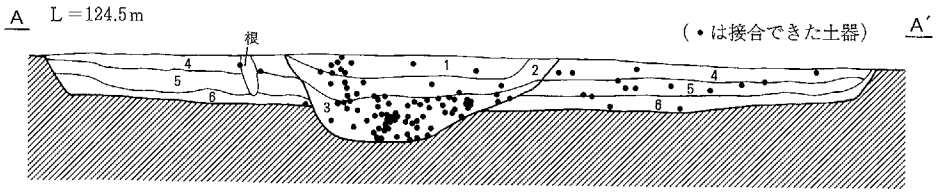
J－3号住居跡　ベルトセクション

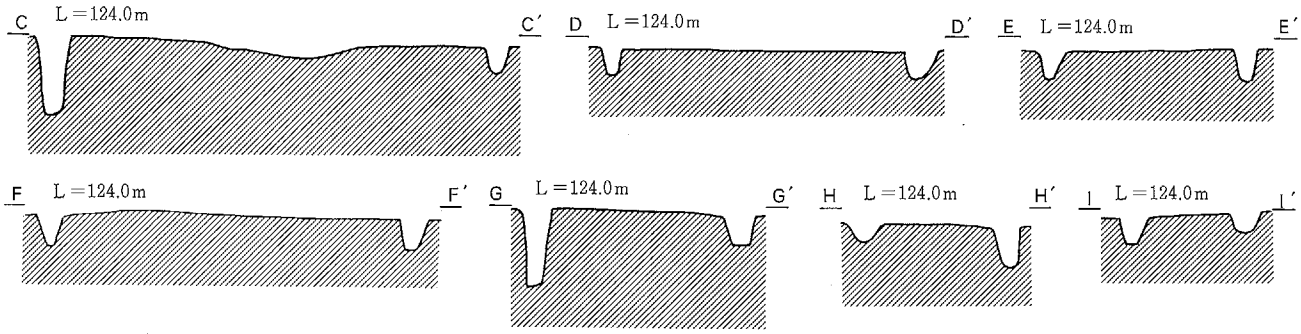
1　暗褐色細砂層　○○　白色軽石・ローム粒。
2　暗褐色細砂層　○○　ローム粒・炭化物。
3　暗褐色細砂層　○○　ローム粒・炭化物・白色軽石。
4　褐色細砂層　○○　ローム主体。
5　暗褐色細砂層　○○　ローム粒・炭化物。
6　にぶい黄褐色細砂層　◎○　ローム主体。しまっている。
7　褐色細砂層　○○　ローム主体。

Fig. 6　J－3号住居跡







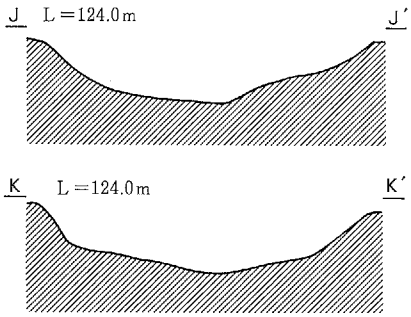


J－4号住居跡柱穴計測表

No.	形状	長軸（cm）	短軸（cm）	深さ（cm）	備考
P－1	円形	28	26	62	
P－2	円形	18	18	22	
P－3	楕円形	28	20	22	
P－4	円形	21	20	25	
P－5	円形	26	24	24	
P－6	楕円形	32	26	15	
P－7	円形	26	22	32	
P－8	円形	24	24	21	
P－9	楕円形	32	23	15	

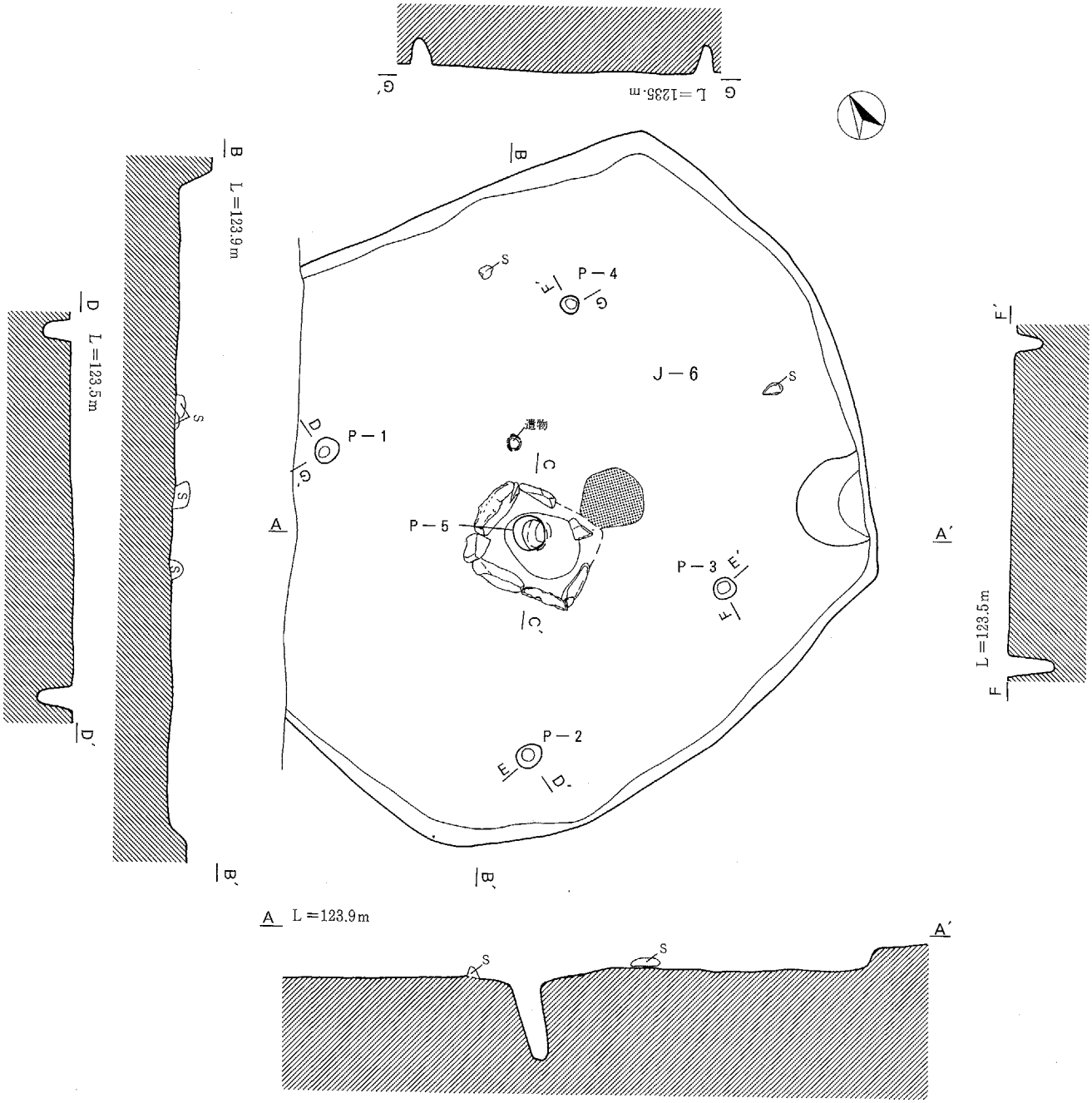
J－4号住居跡　ベルトセクション

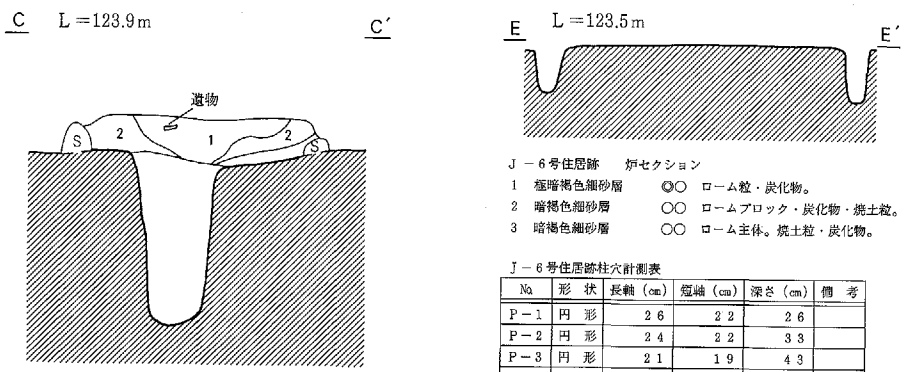
1	暗褐色細砂層	○△	白色軽石。
2	黒褐色細砂層	○○	白色軽石・炭化物・ローム粒。
3	暗褐色細砂層	○◎	ローム主体。白色軽石極少。
4	暗褐色細砂層	○○	白色軽石・ローム粒・炭化物極少。
5	にぶい黄褐色細砂層	○○	白色軽石・ローム粒・炭化物。
6	暗褐色細砂層	○○	ロームブロック・炭化物。



0　1：60　2m

Fig. 7　J－4号住居跡





J－6号住居跡　炉セクション

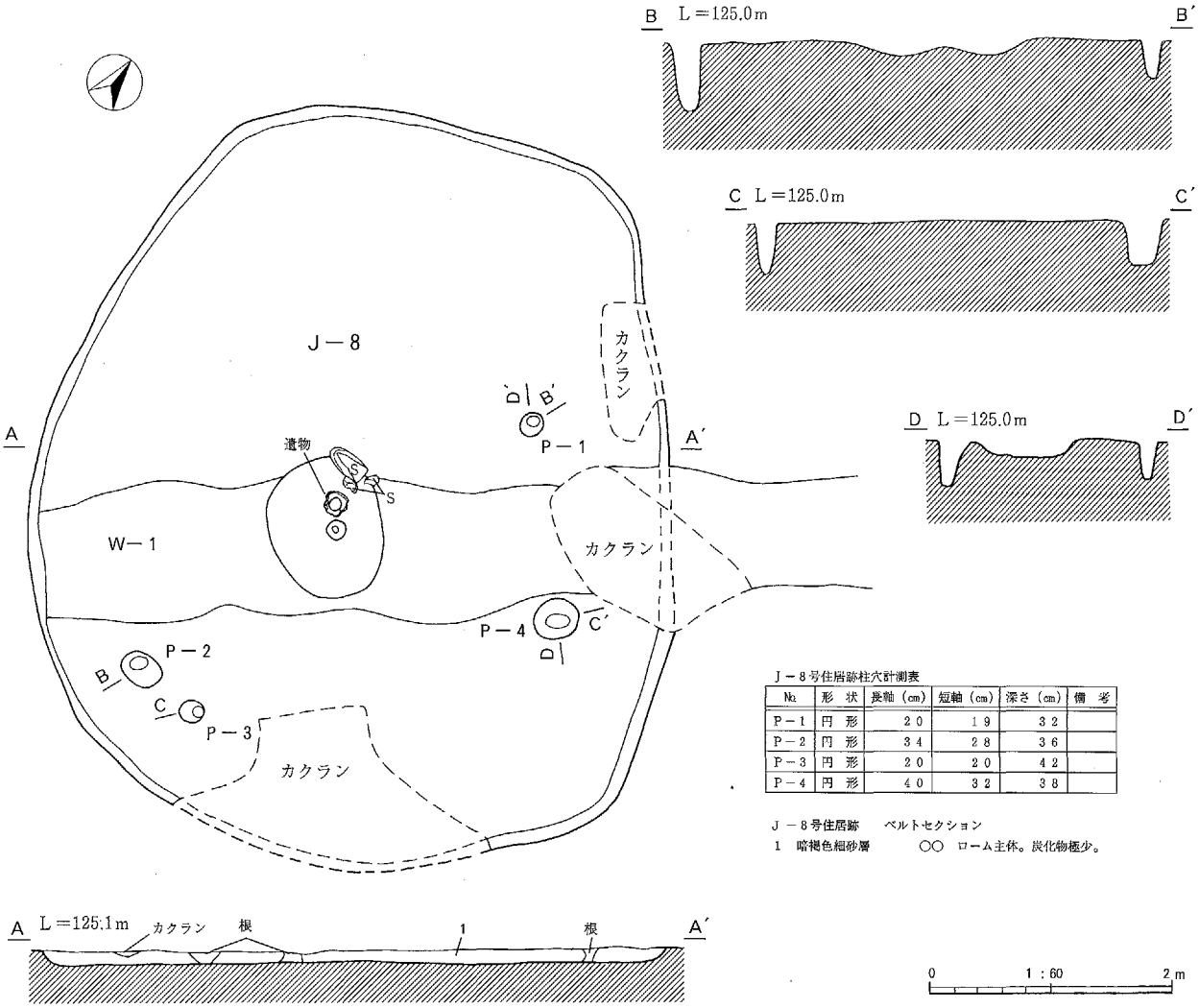
1　極暗褐色細砂層　◎○　ローム粒・炭化物。
2　暗褐色細砂層　○○　ロームブロック・炭化物・焼土粒。
3　暗褐色細砂層　○○　ローム主体。焼土粒・炭化物。

J－6号住居跡柱穴計測表

No.	形状	長軸（cm）	短軸（cm）	深さ（cm）	備考
P－1	円形	26	22	26	
P－2	円形	24	22	33	
P－3	円形	21	19	43	
P－4	円形	18	17	27	
P－5	円形	34	30	66	炉内の穴

0 1:60 2m

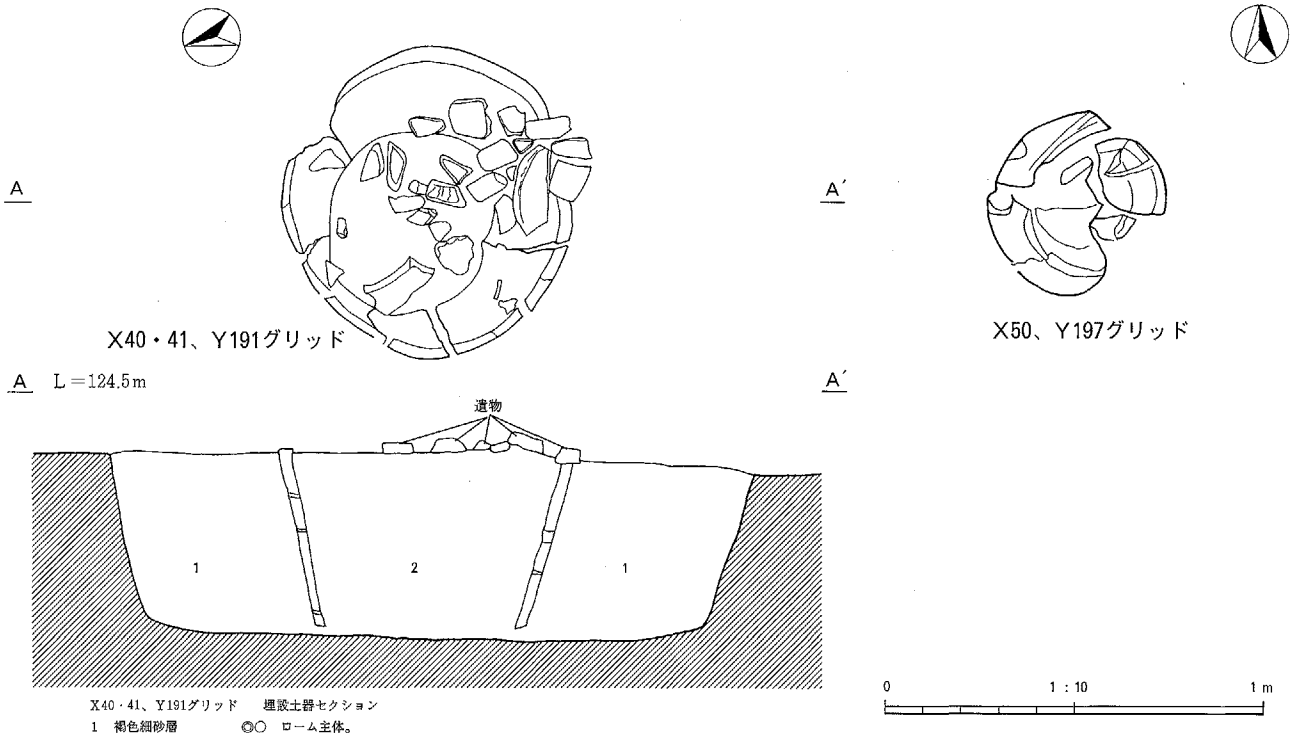
Fig. 8　J－6号住居跡



J－8号住居跡柱穴計測表

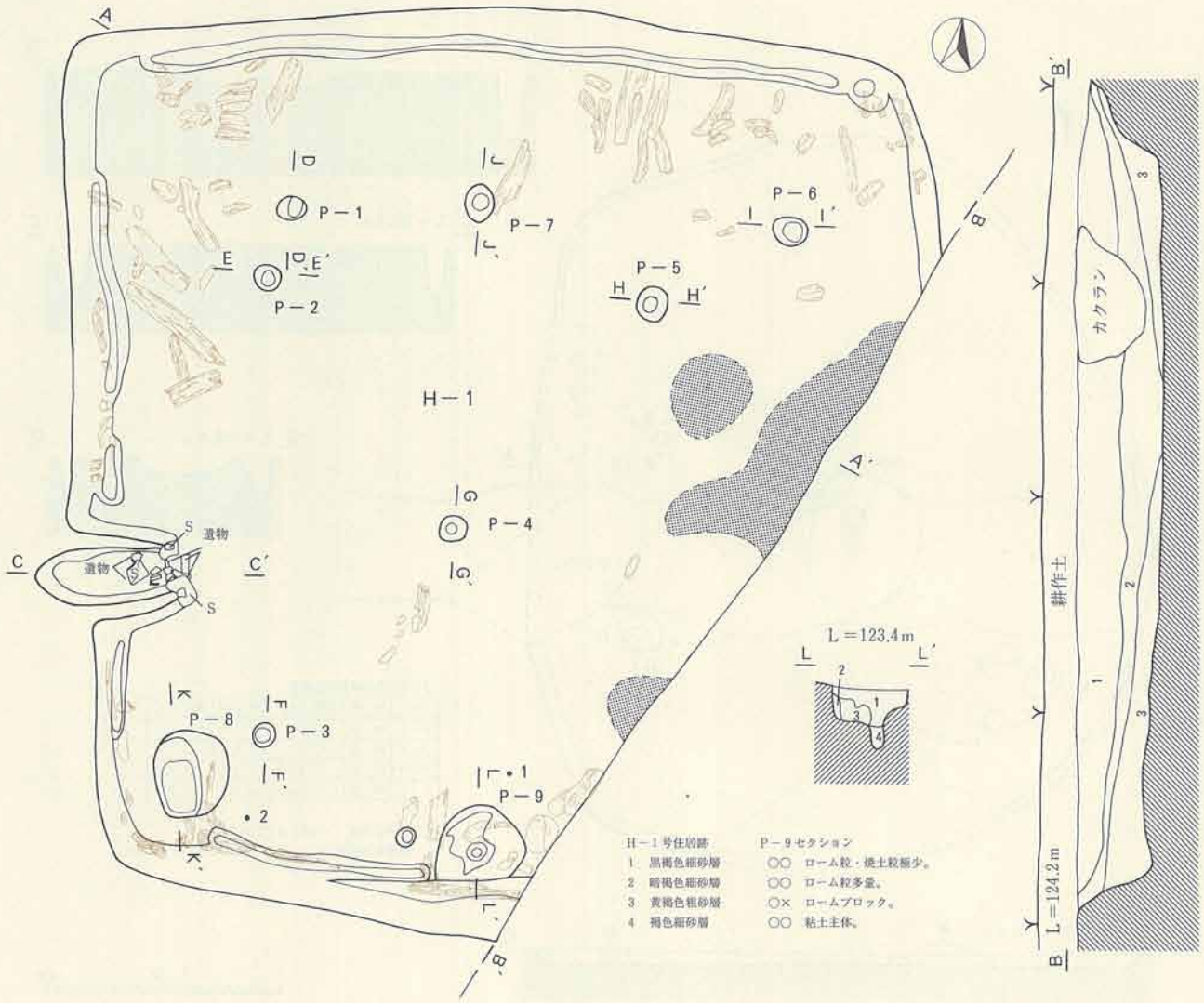
No.	形 状	長軸（cm）	短軸（cm）	深さ（cm）	備 考
P－1	円 形	20	19	32	
P－2	円 形	34	28	36	
P－3	円 形	20	20	42	
P－4	円 形	40	32	38	

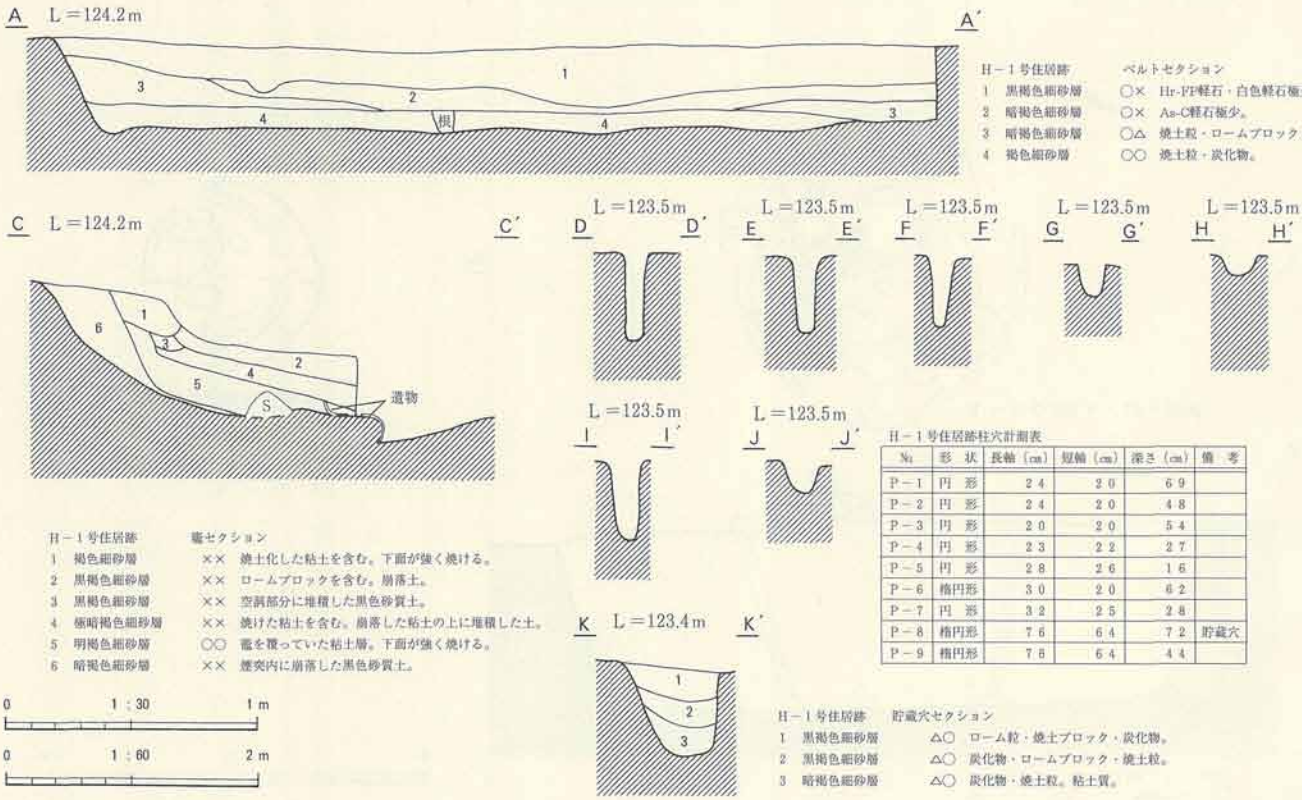
J－8号住居跡　ベルトセクション
1　暗褐色細砂層　　○○　ローム主体。炭化物極少。



X40・41、Y191グリッド　埋設土器セクション
1　褐色細砂層　　◎○　ローム主体。
2　暗褐色細砂層　　◎○　炭化物・焼土粒極少。

Fig. 9　J－8号住居跡・グリッド遺物出土状態

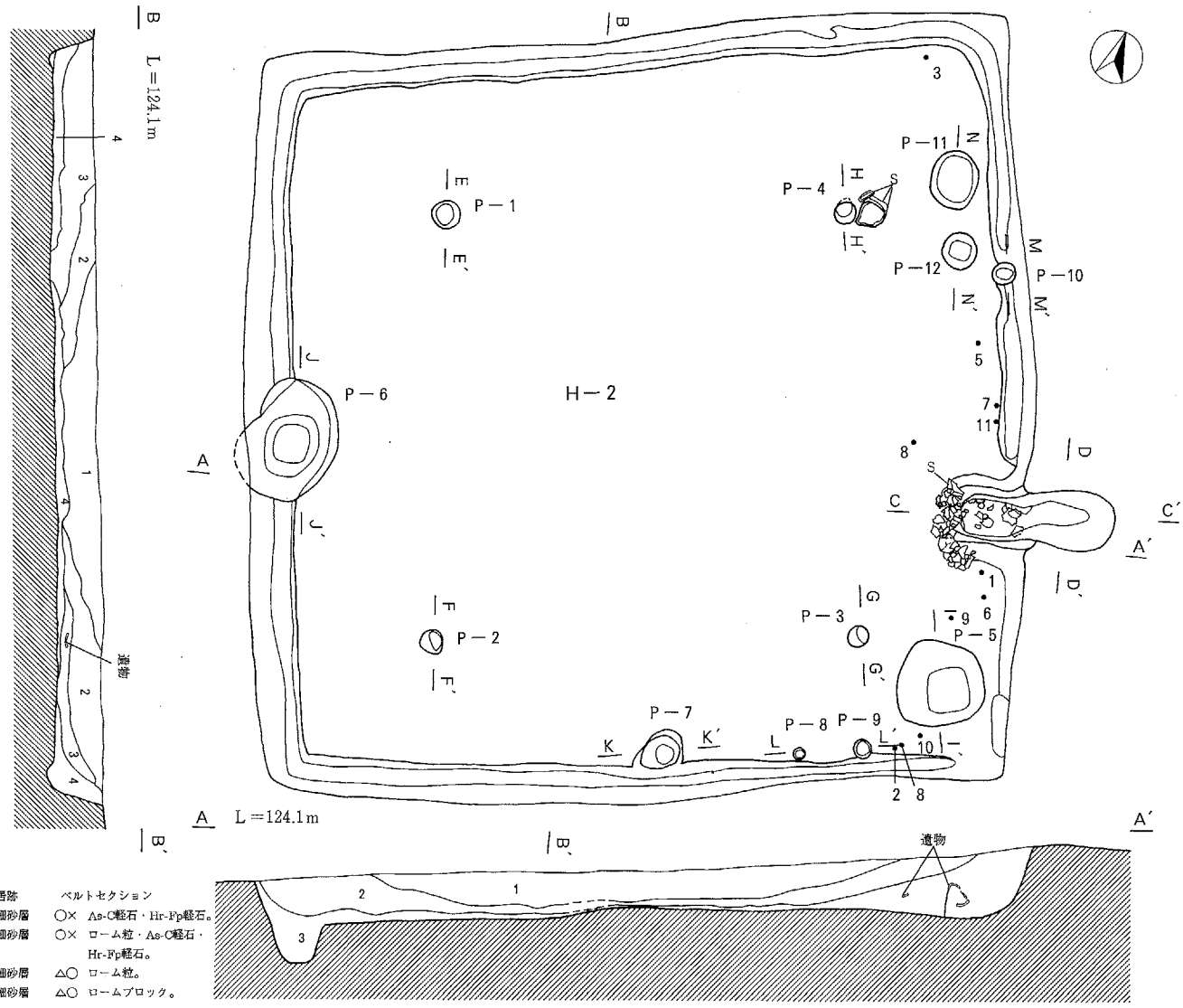




H－1号住居跡柱穴計測表

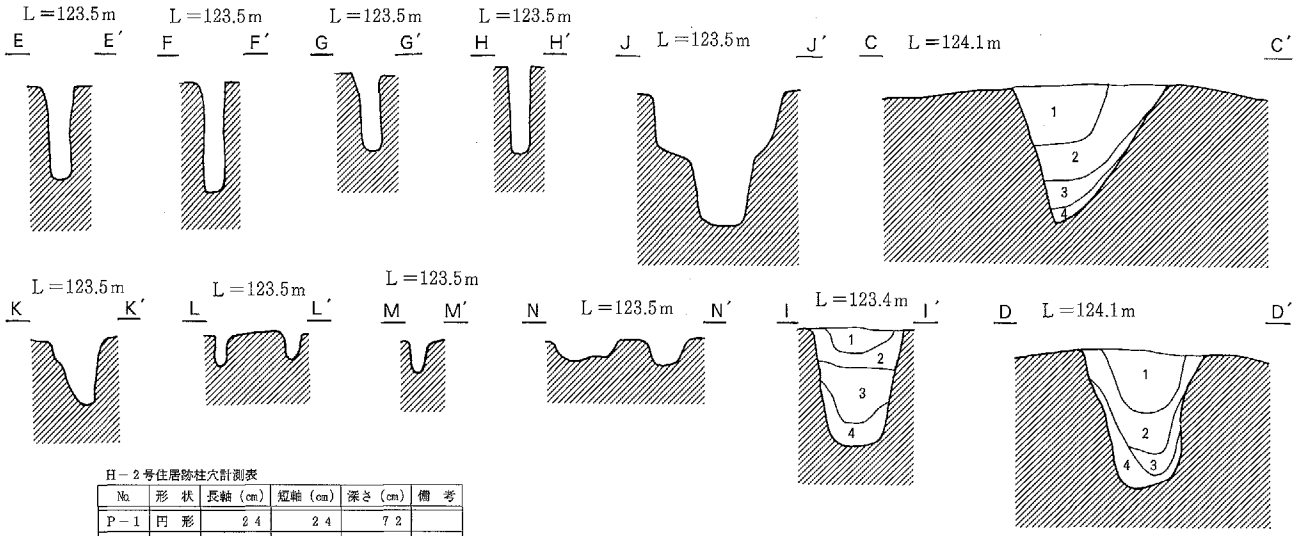
No	形状	長軸（cm）	短軸（cm）	深さ（cm）	備考
P－1	円形	24	20	69	
P－2	円形	24	20	48	
P－3	円形	20	20	54	
P－4	円形	23	22	27	
P－5	円形	28	26	16	
P－6	楕円形	30	20	62	
P－7	円形	32	25	28	
P－8	楕円形	76	64	72	貯蔵穴
P－9	楕円形	78	64	44	

Fig.10 H－1号住居跡



H－2号住居跡

		ベルトセクション	
1	黒褐色細砂層	○×	As-C軽石・Hr-Fp軽石。
2	黒褐色細砂層	○×	ローム粒・As-C軽石・Hr-Fp軽石。
3	暗褐色細砂層	△○	ローム粒。
4	暗褐色細砂層	△○	ロームブロック。



H－2号住居跡柱穴計測表

No.	形　状	長軸（cm）	短軸（cm）	深さ（cm）	備　考
P－1	円　形	24	24	72	
P－2	円　形	22	20	84	
P－3	円　形	20	18	66	
P－4	円　形	19	18	62	
P－5	楕円形	84	74	94	貯蔵穴
P－6	楕円形	106	76	52	
P－7	楕円形	36	26	51	
P－8	円　形	10	10	24	
P－9	円　形	18	16	22	
P－10	円　形	22	20	26	
P－11	円　形	34	30	22	
P－12	楕円形	52	42	18	

H－2号住居跡　貯蔵穴セクション

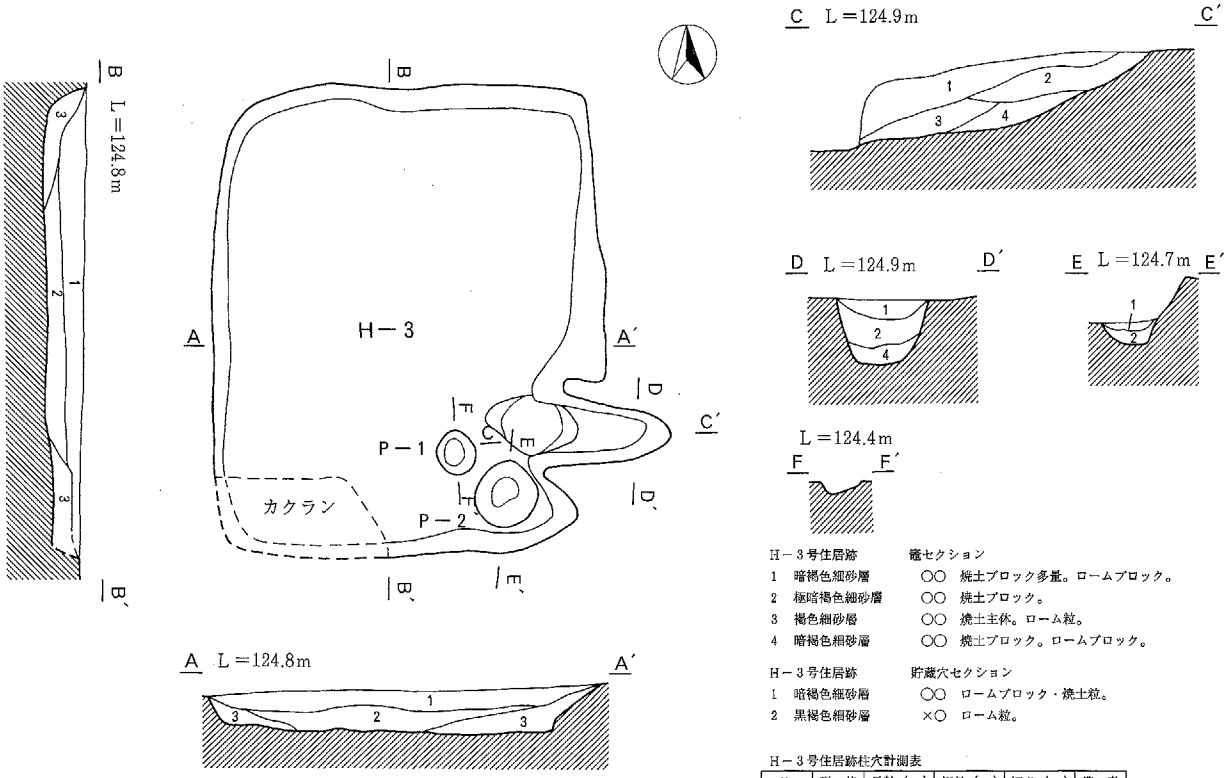
1	暗褐色細砂層	××	ローム粒・軽石。
2	褐色細砂層	×△	ローム粒・軽石。
3	暗褐色細砂層	×○	ローム粒・軽石。
4	褐色細砂層	△○	ローム漸移層。

H－2号住居跡　竈セクション

1	赤褐色細砂層	△△	焼土ブロック・明赤褐色土。
2	暗褐色細砂層	○△	焼土ブロック。粘土質。
3	にぶい赤褐色細砂層	○○	焼土ブロック。
4	にぶい赤褐色細砂層	○○	焼土粒。

0　1：60　2m　　0　1：30　1m

Fig.11　H－2号住居跡



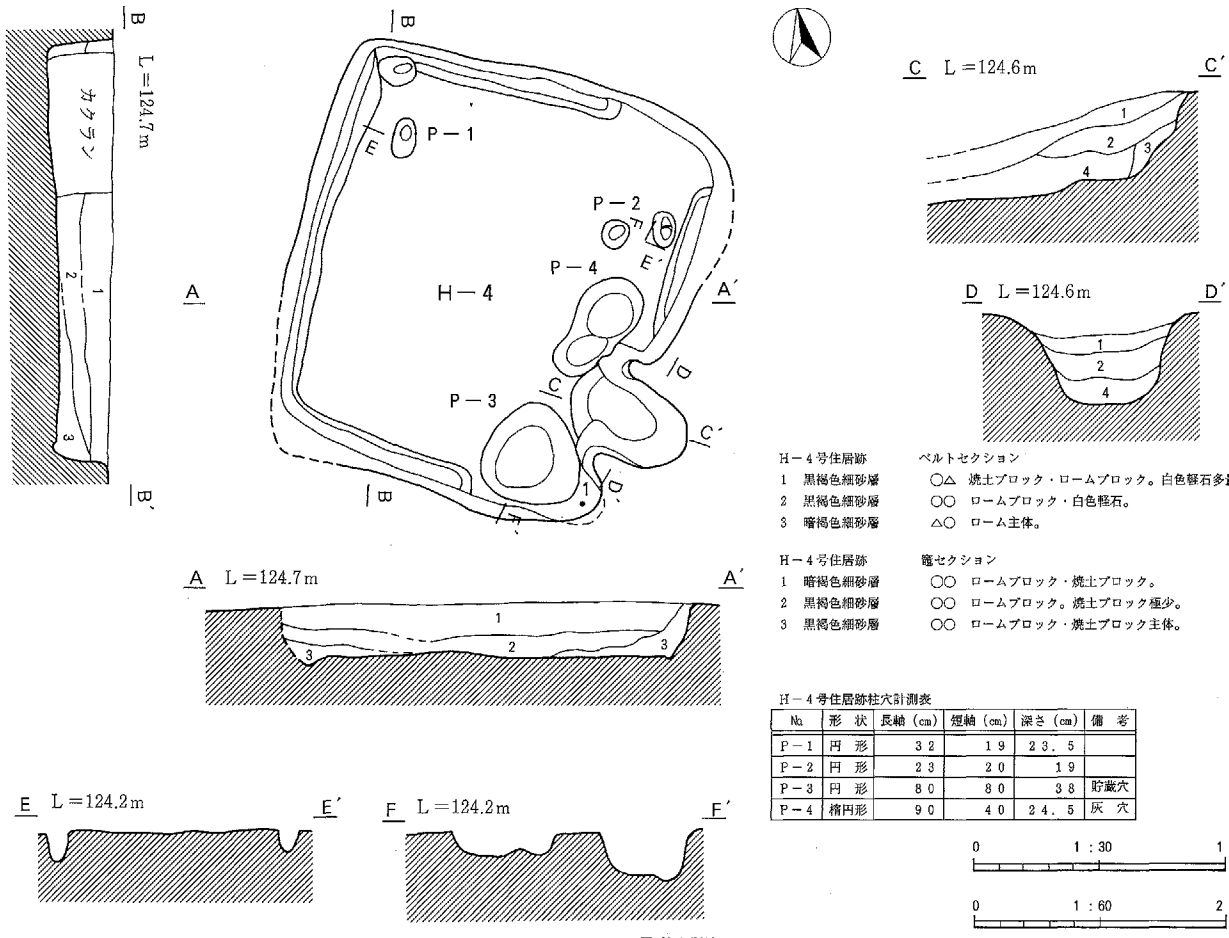
H－3号住居跡　竈セクション
1　暗褐色細砂層　○○　焼土ブロック多量。ロームブロック。
2　極暗褐色細砂層　○○　焼土ブロック。
3　褐色細砂層　○○　焼土主体。ローム粒。
4　暗褐色細砂層　○○　焼土ブロック。ロームブロック。

H－3号住居跡　貯蔵穴セクション
1　暗褐色細砂層　○○　ロームブロック・焼土粒。
2　黒褐色細砂層　×○　ローム粒。

H－3号住居跡　ベルトセクション
1　黒褐色細砂層　○○　白色軽石多量。ロームブロック極少。
2　黒褐色細砂層　○○　白色軽石少量。ロームブロック。
3　暗褐色細砂層　○○　黒褐色土層（ブロック状）。ロームブロック。焼土粒極少。

H－3号住居跡柱穴計測表

No.	形　状	長軸（cm）	短軸（cm）	深さ（cm）	備　考
P－1	円　形	34	32	13	
P－2	円　形	49	48	54	貯蔵穴



H－4号住居跡　ベルトセクション
1　黒褐色細砂層　○△　焼土ブロック・ロームブロック。白色軽石多量。
2　黒褐色細砂層　○○　ロームブロック・白色軽石。
3　暗褐色細砂層　△○　ローム主体。

H－4号住居跡　竈セクション
1　暗褐色細砂層　○○　ロームブロック・焼土ブロック。
2　黒褐色細砂層　○○　ロームブロック。焼土ブロック極少。
3　黒褐色細砂層　○○　ロームブロック・焼土ブロック主体。

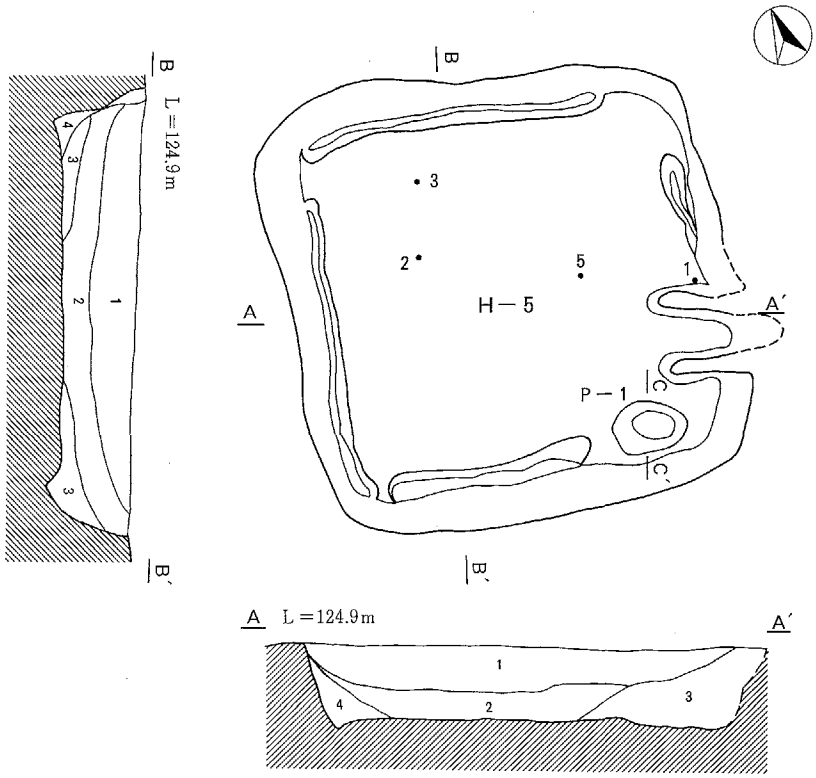
H－4号住居跡柱穴計測表

No.	形　状	長軸（cm）	短軸（cm）	深さ（cm）	備　考
P－1	円　形	32	19	23.5	
P－2	円　形	23	20	19	
P－3	円　形	80	80	38	貯蔵穴
P－4	楕円形	90	40	24.5	灰　穴

0　1：30　1m

0　1：60　2m

Fig.12　H－3・4号住居跡



H－5号住居跡柱穴計測表

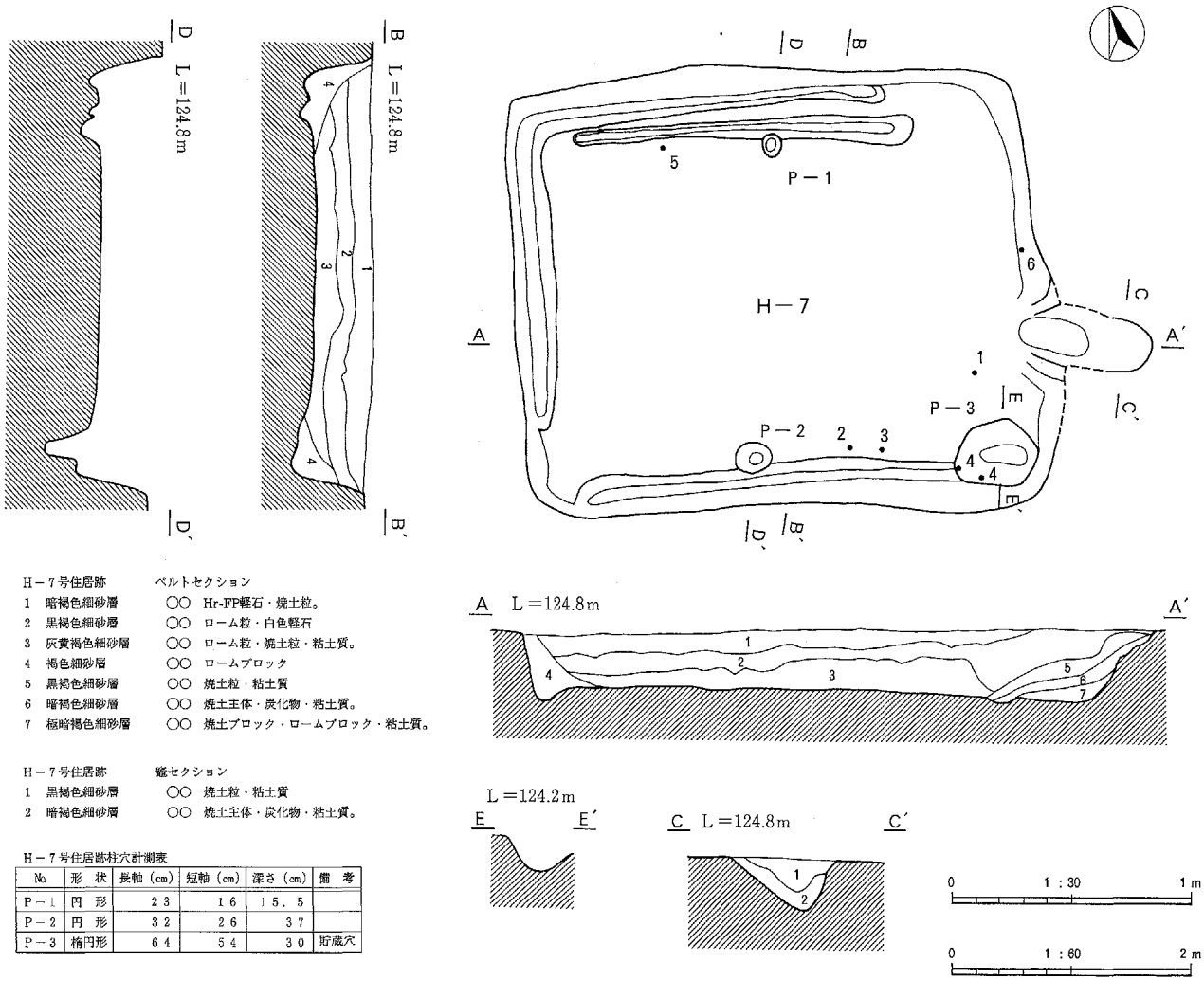
No.	形　状	長軸（cm）	短軸（cm）	深さ（cm）	備　考
P－1	楕円形	58	40	88	貯蔵穴

H－5号住居跡　　ベルトセクション

1　黒褐色細砂層　　○○　Hr-FP軽石多量。ローム粒。
2　黒色細砂層　　○○　ロームブロック、白色軽石少量。
3　暗褐色細砂層　　○○　ローム粒多量。
4　褐色細砂層　　○○　ローム主体。

H－5号住居跡　　貯蔵穴セクション

1　暗褐色細砂層　　×△　ローム粒多量。
2　暗褐色細砂層　　○○　ローム粒。



H－7号住居跡　　ベルトセクション

1　暗褐色細砂層　　○○　Hr-FP軽石・焼土粒。
2　黒褐色細砂層　　○○　ローム粒・白色軽石
3　灰黄褐色細砂層　　○○　ローム粒・焼土粒・粘土質。
4　褐色細砂層　　○○　ロームブロック
5　黒褐色細砂層　　○○　焼土粒・粘土質
6　暗褐色細砂層　　○○　焼土主体・炭化物・粘土質。
7　極暗褐色細砂層　　○○　焼土ブロック・ロームブロック・粘土質。

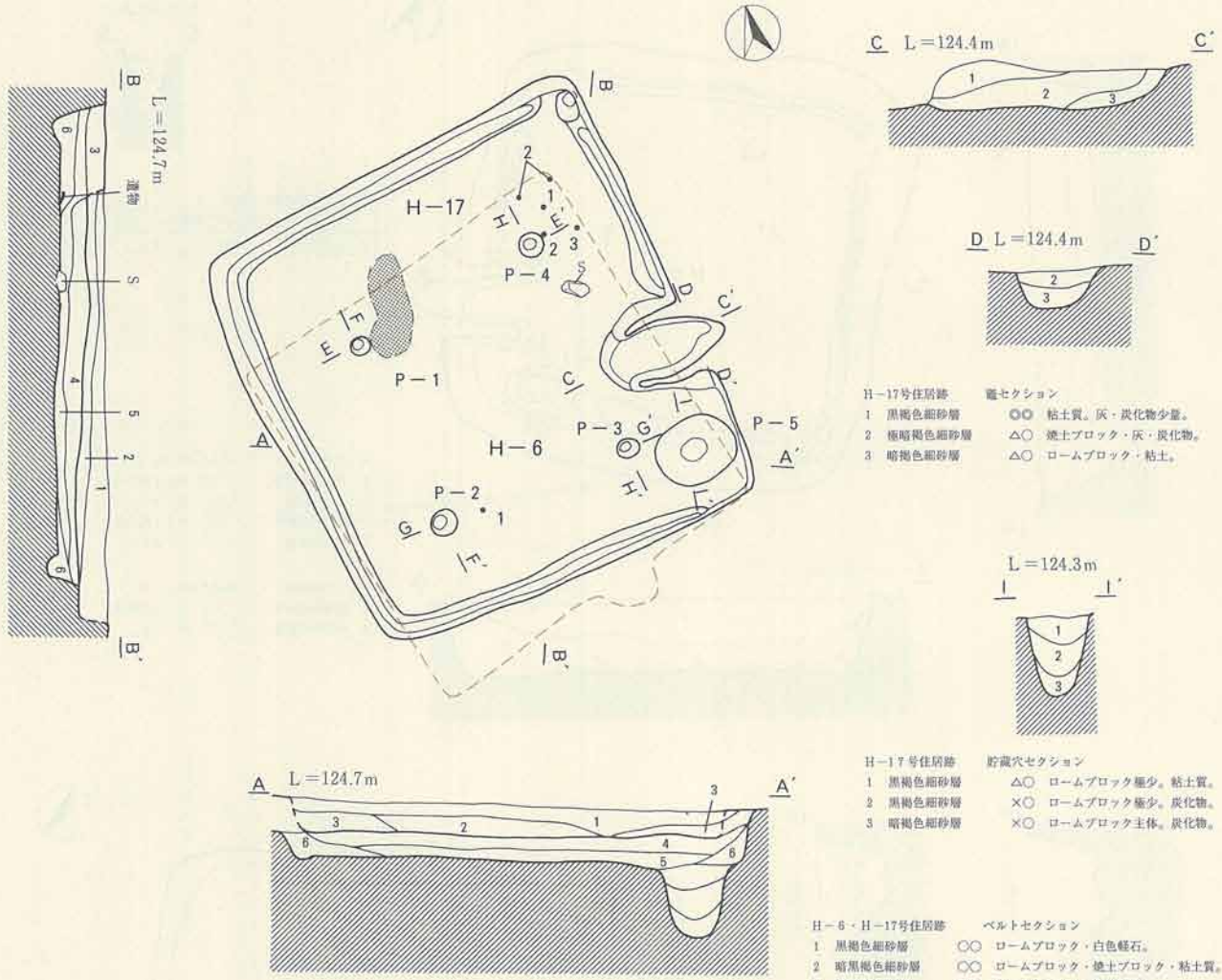
H－7号住居跡　　竈セクション

1　黒褐色細砂層　　○○　焼土粒・粘土質
2　暗褐色細砂層　　○○　焼土主体・炭化物・粘土質。

H－7号住居跡柱穴計測表

No.	形　状	長軸（cm）	短軸（cm）	深さ（cm）	備　考
P－1	円　形	23	16	15．5	
P－2	円　形	32	26	37	
P－3	楕円形	64	54	30	貯蔵穴

Fig.13　H－5・7号住居跡



H－17号住居跡　竈セクション

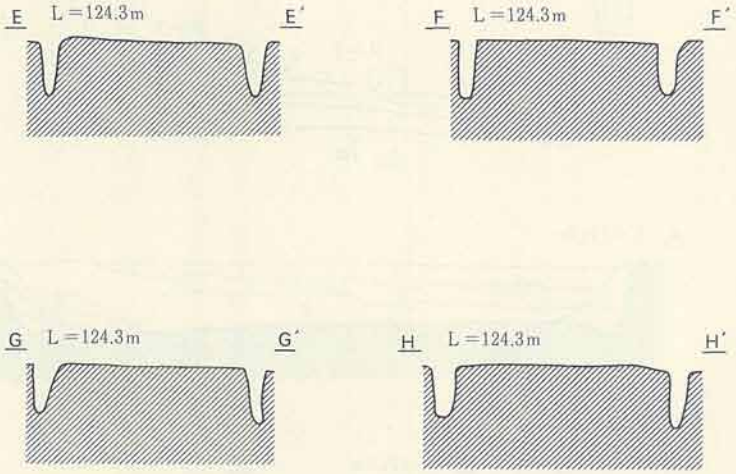
1	黒褐色細砂層	○○	粘土質。灰・炭化物少量。
2	極暗褐色細砂層	△○	焼土ブロック・灰・炭化物。
3	暗褐色細砂層	△○	ロームブロック・粘土。

H－17号住居跡　貯蔵穴セクション

1	黒褐色細砂層	△○	ロームブロック極少。粘土質。
2	黒褐色細砂層	×○	ロームブロック極少。炭化物。
3	暗褐色細砂層	×○	ロームブロック主体。炭化物。

H－6・H－17号住居跡　ベルトセクション

1	黒褐色細砂層	○○	ロームブロック・白色軽石。
2	暗黒褐色細砂層	○○	ロームブロック・焼土ブロック・粘土質。
3	黒褐色細砂層	○○	ロームブロック・白色軽石。
4	灰黄褐色細砂層	○○	粘土多量。白色軽石。
5	黒褐色細砂層	○○	ロームブロック・焼土ブロック・炭化物・粘土質。
6	暗褐色細砂層	○○	ローム粒・炭化物。



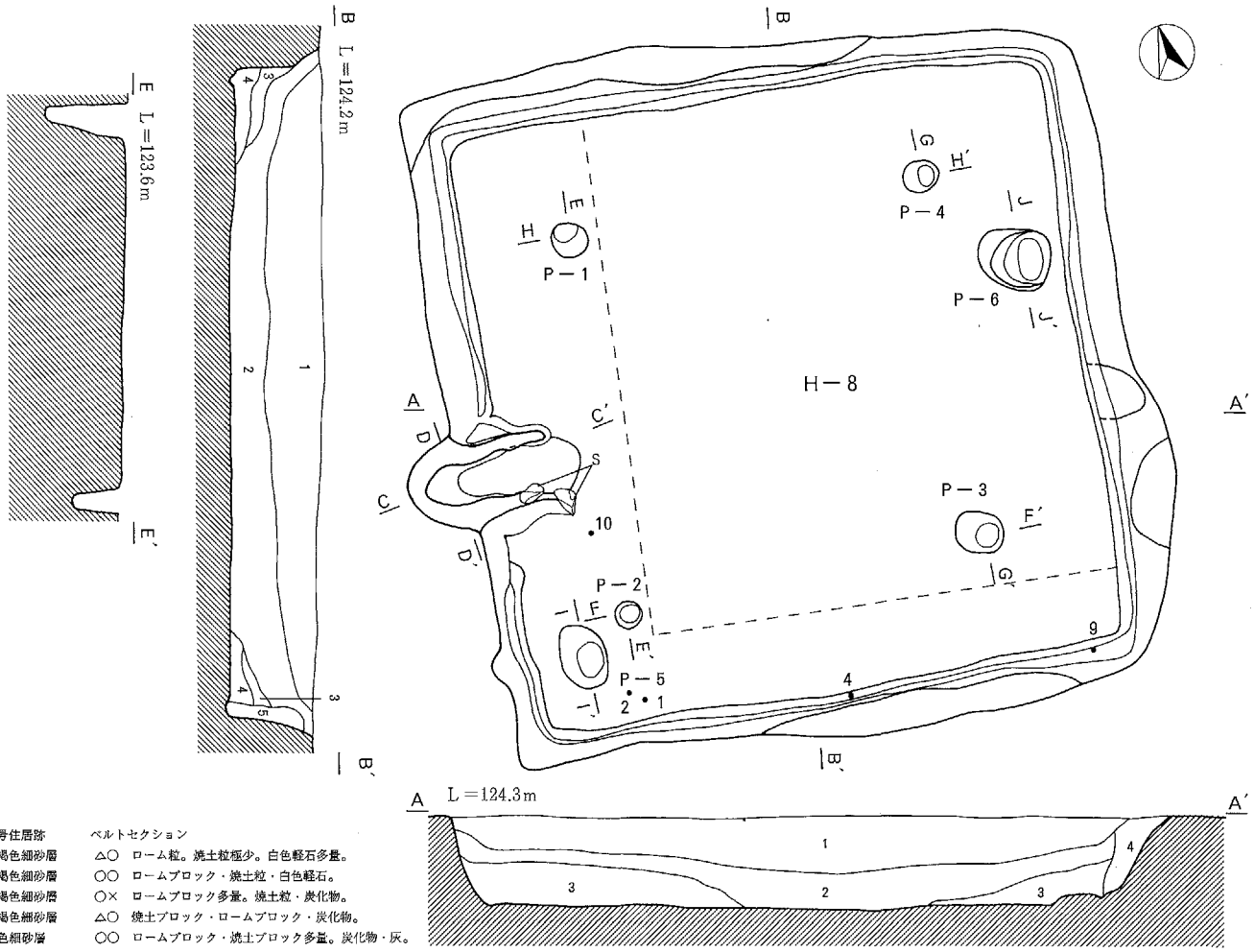
H－17号住居跡柱穴計測表

No.	形状	長軸（cm）	短軸（cm）	深さ（cm）	備考
P－1	円形	16	16	44	
P－2	円形	24	20	42	
P－3	円形	18	16	48	
P－4	円形	20	20	44	
P－5	楕円形	68	53	68	貯蔵穴

0　1：30　1m

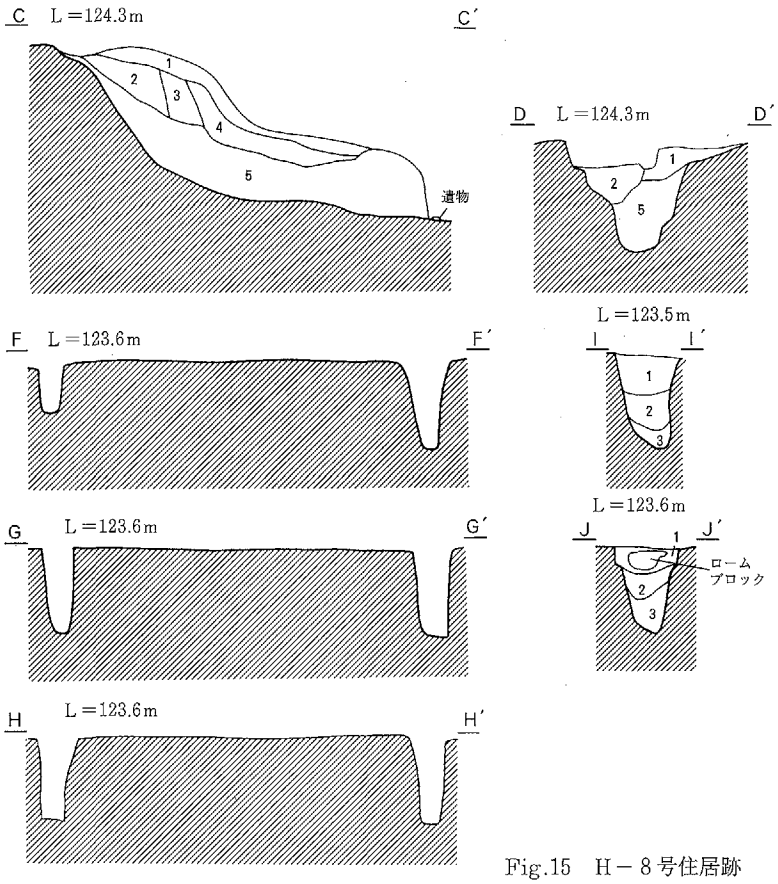
0　1：60　2m

Fig.14　H－6・17号住居跡



H－8号住居跡　ベルトセクション

1	黒褐色細砂層	△○	ローム粒。焼土粒極少。白色軽石多量。
2	黒褐色細砂層	○○	ローム粒・焼土粒・白色軽石。
3	暗褐色細砂層	○×	ローム粒多量。焼土粒・炭化物。
4	暗褐色細砂層	△○	焼土ブロック・ローム粒・炭化物。
5	褐色細砂層	○○	ローム粒・焼土ブロック多量。炭化物・灰。



H－8号住居跡　竈セクション

1	暗褐色細砂層	△○	ローム粒・焼土粒。
2	暗褐色細砂層	△○	焼土ブロック多量。ローム粒。
3	褐色細砂層	×○	ローム粒・焼土粒。
4	極暗褐色細砂層	○○	ローム粒・多量の焼土ブロック。
5	暗褐色細砂層	○○	粘土主体。ローム粒・焼土粒多量。炭化物・灰。

H－8号住居跡　貯蔵穴（P－5）セクション

1	黒褐色細砂層	×○	ローム粒・軽石少量。
2	黒褐色細砂層	×△	ローム粒。
3	黒褐色細砂層	△○	粘土質。ローム粒。

H－8号住居跡　旧貯蔵穴（P－6）セクション

1	黒褐色細砂層	×△	ローム粒。径20cm程度のロームブロック。
2	黒褐色細砂層	×○	ローム粒多量。
3	黒色細砂層	×○	粘土質。ローム粒。

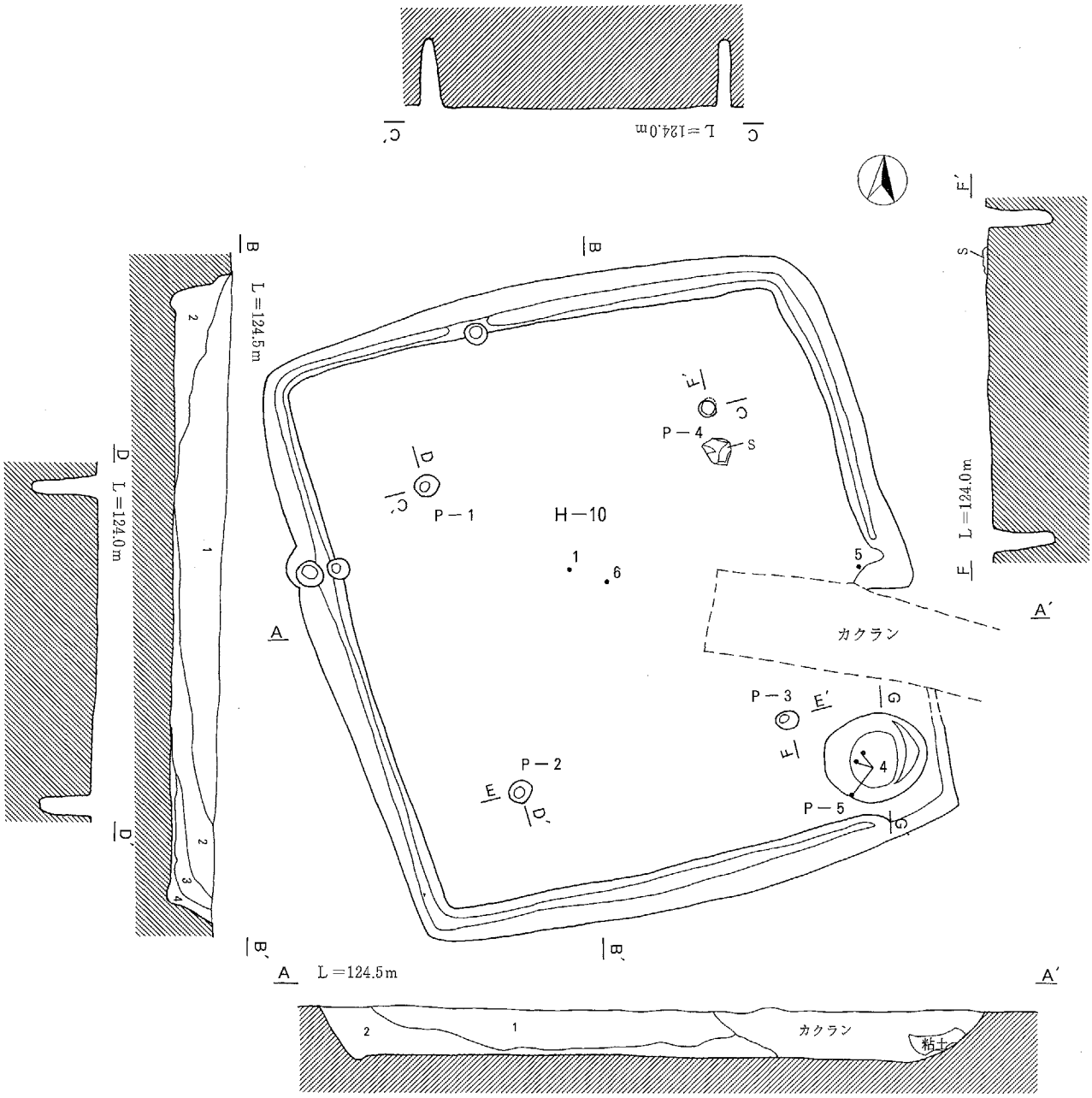
H－8号住居跡柱穴計測表

No.	形状	長軸（cm）	短軸（cm）	深さ（cm）	備考
P－1	円形	30	28	68	
P－2	円形	22	22	42	
P－3	円形	41	34	70	
P－4	円形	30	24	70	
P－5	円形	44	36	77	貯蔵穴
P－6	楕円形	62	50	69	貯蔵穴（旧）

0　1：30　1m

0　1：60　2m

Fig.15　H－8号住居跡

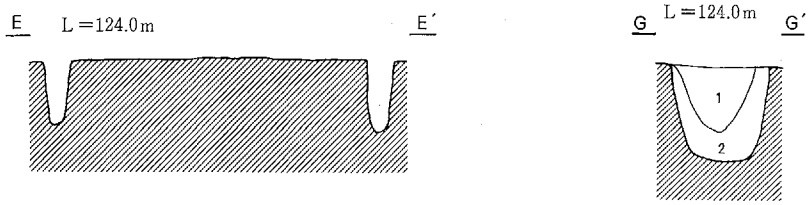


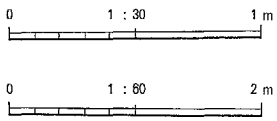
H－10号住居跡

1 黒褐色細砂層
2 黒色細砂層
3 黒褐色細砂層
4 暗褐色細砂層

ベルトセクション

○○ Hr-FP軽石。
○○ ロームブロック・炭化物。
△○ ローム粒。
△○ ロームブロック。





H－10号住居跡柱穴計測表

No.	形状	長軸（cm）	短軸（cm）	深さ（cm）	備考
P－1	円形	22	20	62	
P－2	円形	22	22	28	
P－3	円形	22	18	37	
P－4	円形	16	16	64	
P－5	円形	96	81	76	貯蔵穴

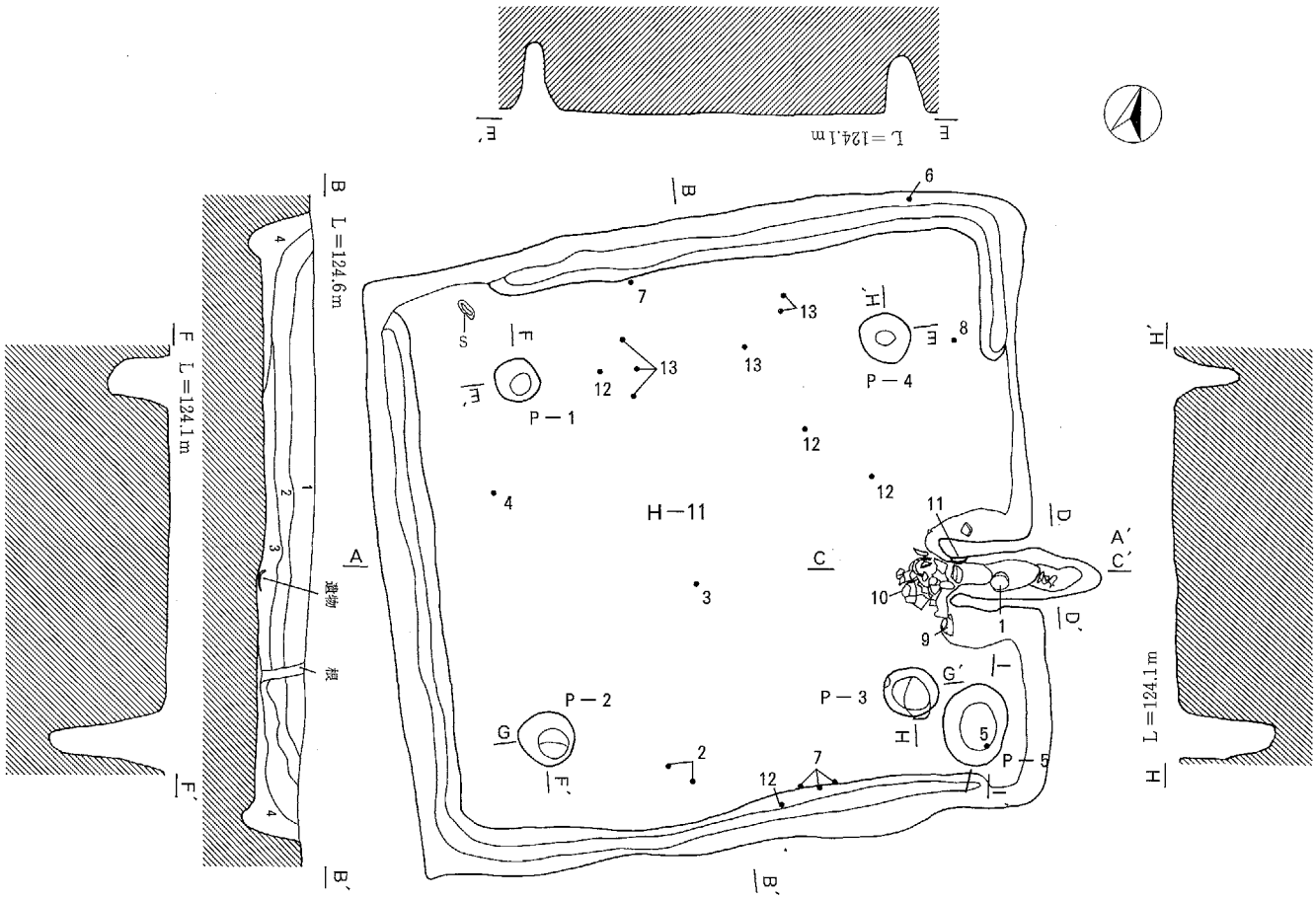
H－10号住居跡

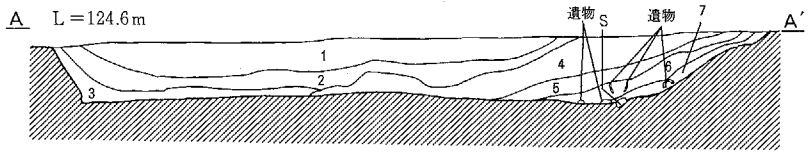
1 暗褐色細砂層
2 黒褐色細砂層

貯蔵穴セクション

×○ 粘土主体。焼土粒・灰。
△○ 粘土質。ロームブロック。

Fig.16 H－10号住居跡





H－11号住居跡　ベルトセクション

1	黒褐色細砂層	×○	Hr-FP軽石多量。ローム粒極少。
2	暗褐色細砂層	×○	Hr-FP軽石・焼土粒・ロームブロック。
3	黒褐色細砂層	△○	ローム主体。
4	にぶい黄褐色細砂層	△○	炭化物・焼土粒・ロームブロック・粘土質混合。
5	灰黄褐色細砂層	○○	焼土粒・白色軽石・粘土質。
6	暗褐色細砂層	○○	焼土主体。
7	褐色細砂層	○○	焼土主体。炭化物。

H－11号住居跡　竈セクション

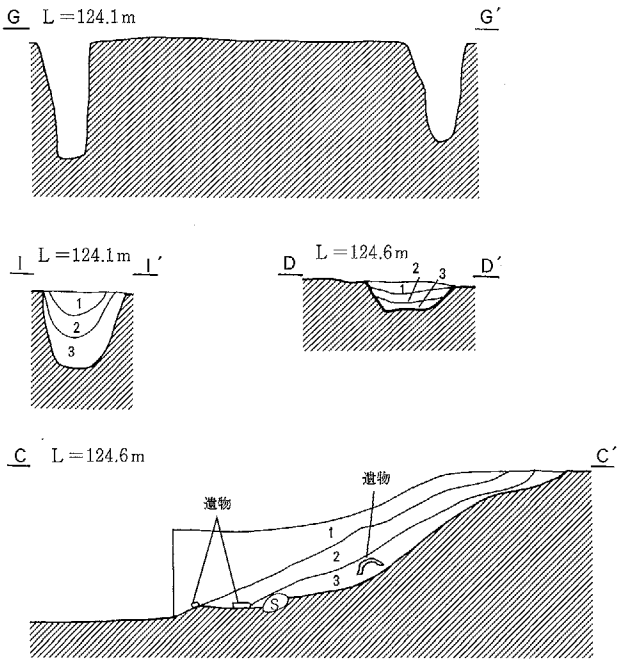
1	灰黄褐色細砂層	○○	焼土粒・白色軽石・粘土質。
2	暗褐色細砂層	○○	焼土主体。
3	褐色細砂層	○○	焼土主体。炭化物。

H－11号住居跡　貯蔵穴セクション

1	暗褐色細砂層	○○	Hr-FP軽石・焼土粒。
2	褐色細砂層	○△	焼土粒。
3	黄褐色細砂層	○○	ローム主体。

H－11号住居跡柱穴計測表

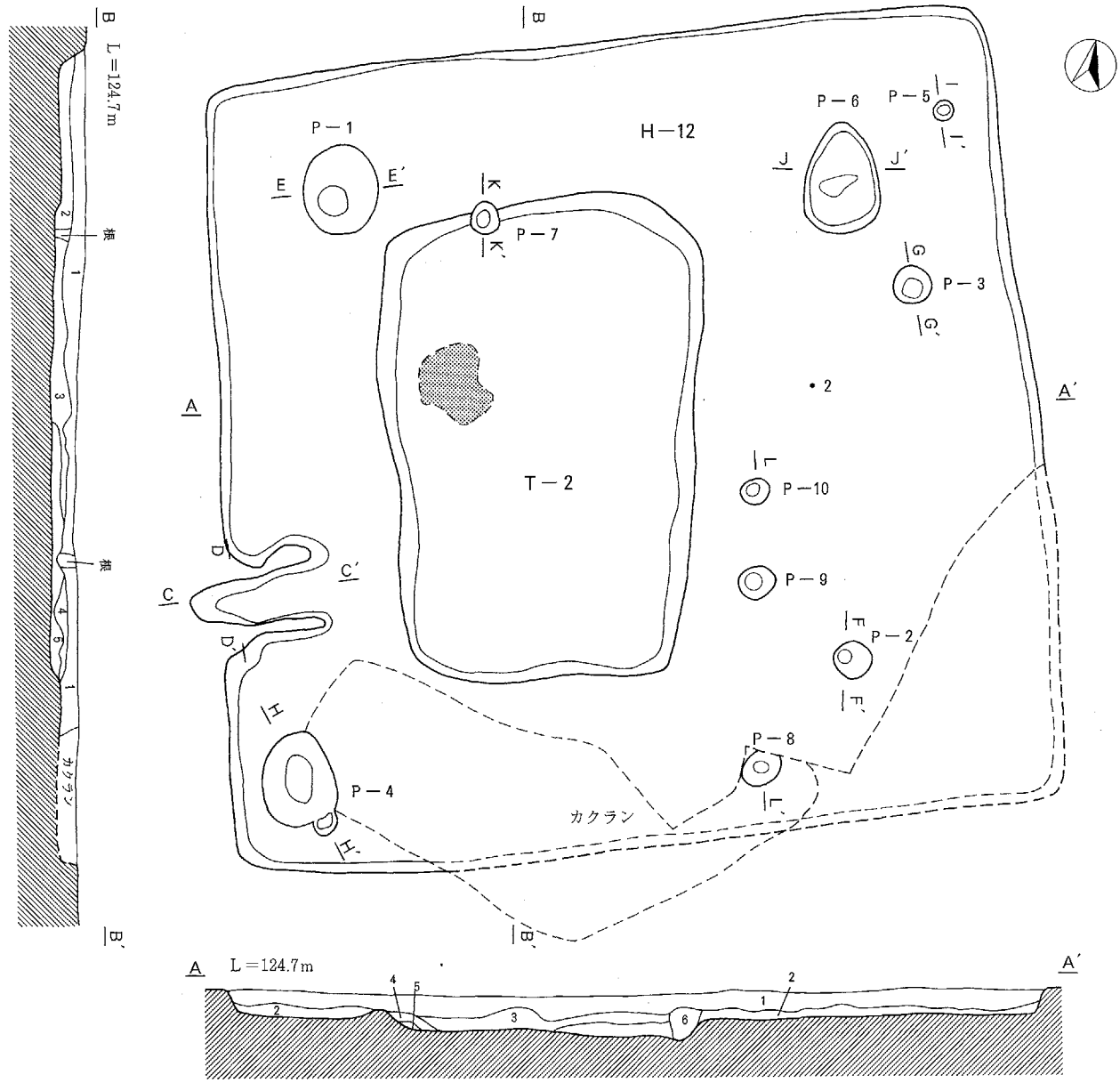
No.	形　状	長軸（cm）	短軸（cm）	深さ（cm）	備　考
P－1	円　形	36	36	48	
P－2	円　形	46	42	92	
P－3	円　形	48	40	78	
P－4	円　形	42	38	52	
P－5	楕円形	68	50	74	貯蔵穴

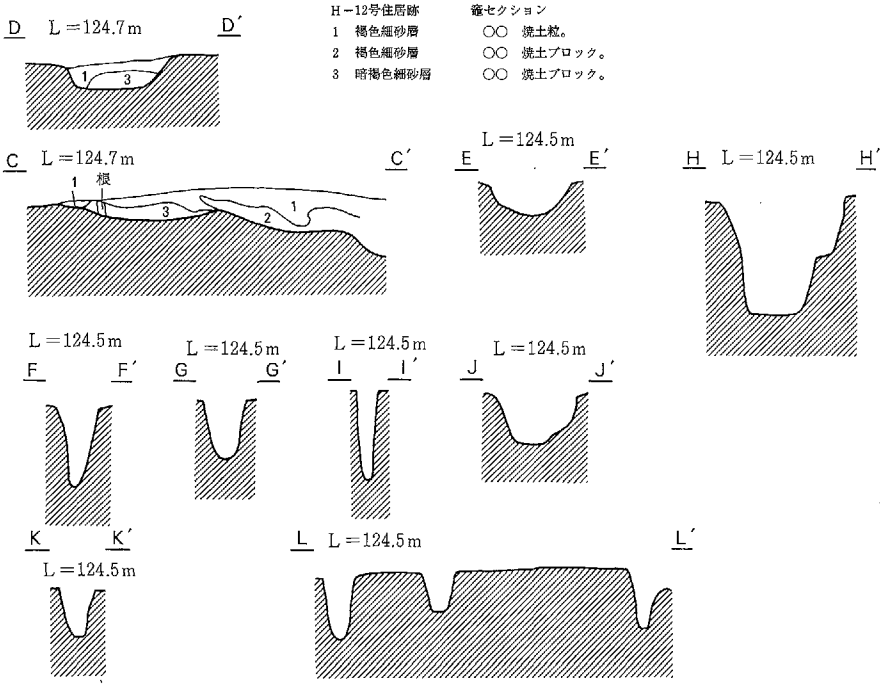


0　1：30　1m

0　1：60　2m

Fig.17　H－11号住居跡





H－12号住居跡　竈セクション

1　褐色細砂層　○○　焼土粒。
2　褐色細砂層　○○　焼土ブロック。
3　暗褐色細砂層　○○　焼土ブロック。

H－12号住居跡・T－2号竪穴状遺構　ベルトセクション

1　暗褐色細砂層　×○　ローム粒。焼土粒・白色軽石極少。
2　褐色細砂層　○○　部分的に焼土主体。ローム粒。
3　褐色細砂層　○○　ロームブロック・焼土粒・白色軽石。
4　黒褐色細砂層　×△　ロームブロック・白色軽石。
5　黄褐色細砂層　○○　ローム。白色粒極少。
6　黒褐色細砂層　××　ロームブロック・白色軽石。

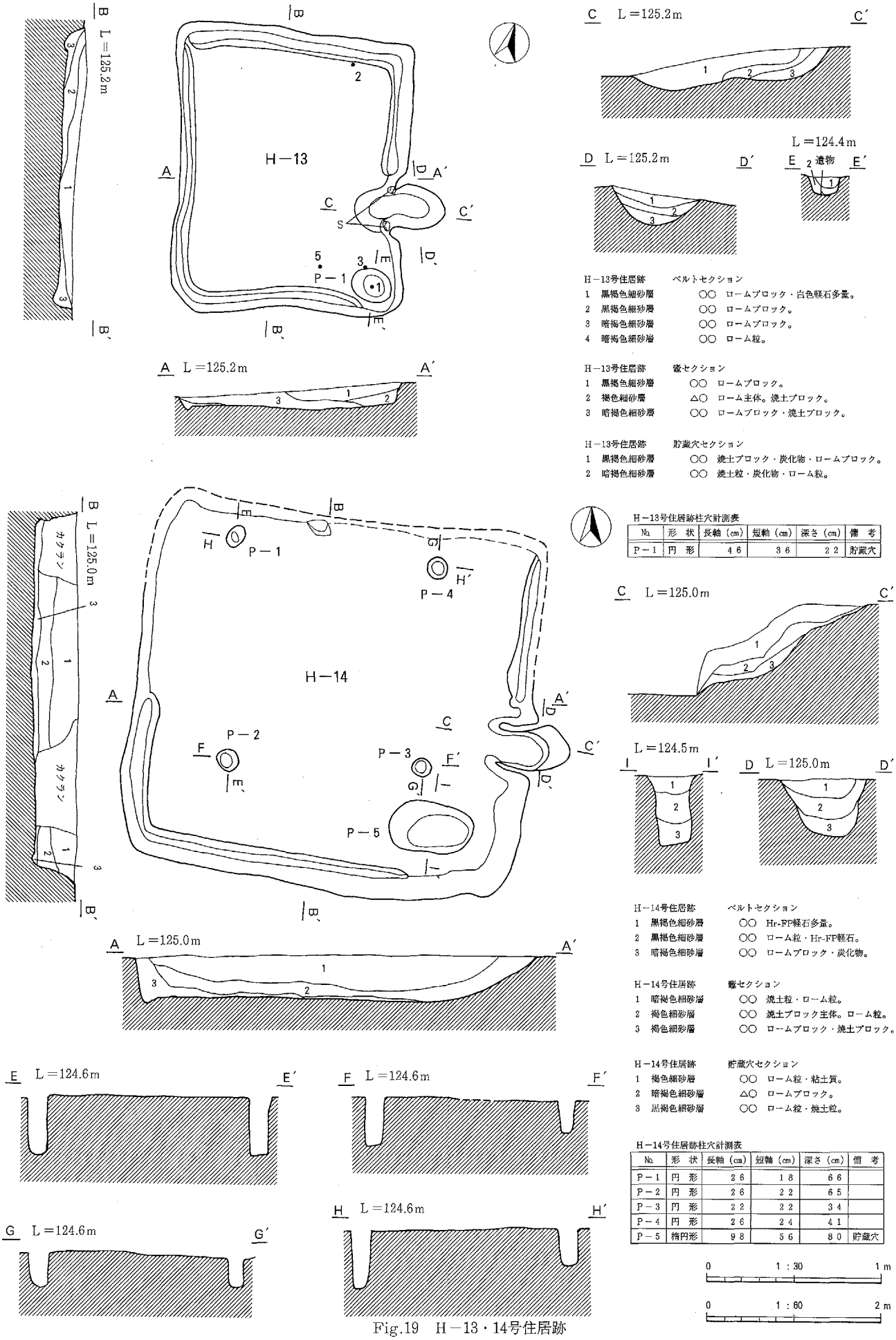
H－12号住居跡柱穴計測表

No.	形　状	長軸（cm）	短軸（cm）	深さ（cm）	備　考
P－1	楕円形	80	68	26	
P－2	円　形	34	32	64	
P－3	円　形	34	34	47	
P－4	楕円形	86	66	96	貯蔵穴
P－5	円　形	18	18	72	
P－6	楕円形	100	64	39	
P－7	円　形	30	26	40	
P－8	円　形	36	31	50	
P－9	円　形	34	30	54	
P－10	円　形	26	22	50	

0　1：30　1m

0　1：60　2m

Fig.18　H－12号住居跡、T－2号竪穴状遺構



H－13号住居跡　ベルトセクション

1	黒褐色細砂層	○○ ロームブロック・白色軽石多量。
2	黒褐色細砂層	○○ ロームブロック。
3	暗褐色細砂層	○○ ロームブロック。
4	暗褐色細砂層	○○ ローム粒。

H－13号住居跡　竈セクション

1	黒褐色細砂層	○○ ロームブロック。
2	褐色細砂層	△○ ローム主体。焼土ブロック。
3	暗褐色細砂層	○○ ロームブロック・焼土ブロック。

H－13号住居跡　貯蔵穴セクション

1	黒褐色細砂層	○○ 焼土ブロック・炭化物・ロームブロック。
2	暗褐色細砂層	○○ 焼土粒・炭化物・ローム粒。

H－13号住居跡柱穴計測表

No.	形状	長軸（cm）	短軸（cm）	深さ（cm）	備考
P－1	円形	46	36	22	貯蔵穴

H－14号住居跡　ベルトセクション

1	黒褐色細砂層	○○ Hr-FP軽石多量。
2	黒褐色細砂層	○○ ローム粒・Hr-FP軽石。
3	暗褐色細砂層	○○ ロームブロック・炭化物。

H－14号住居跡　竈セクション

1	暗褐色細砂層	○○ 焼土粒・ローム粒。
2	褐色細砂層	○○ 焼土ブロック主体。ローム粒。
3	褐色細砂層	○○ ロームブロック・焼土ブロック。

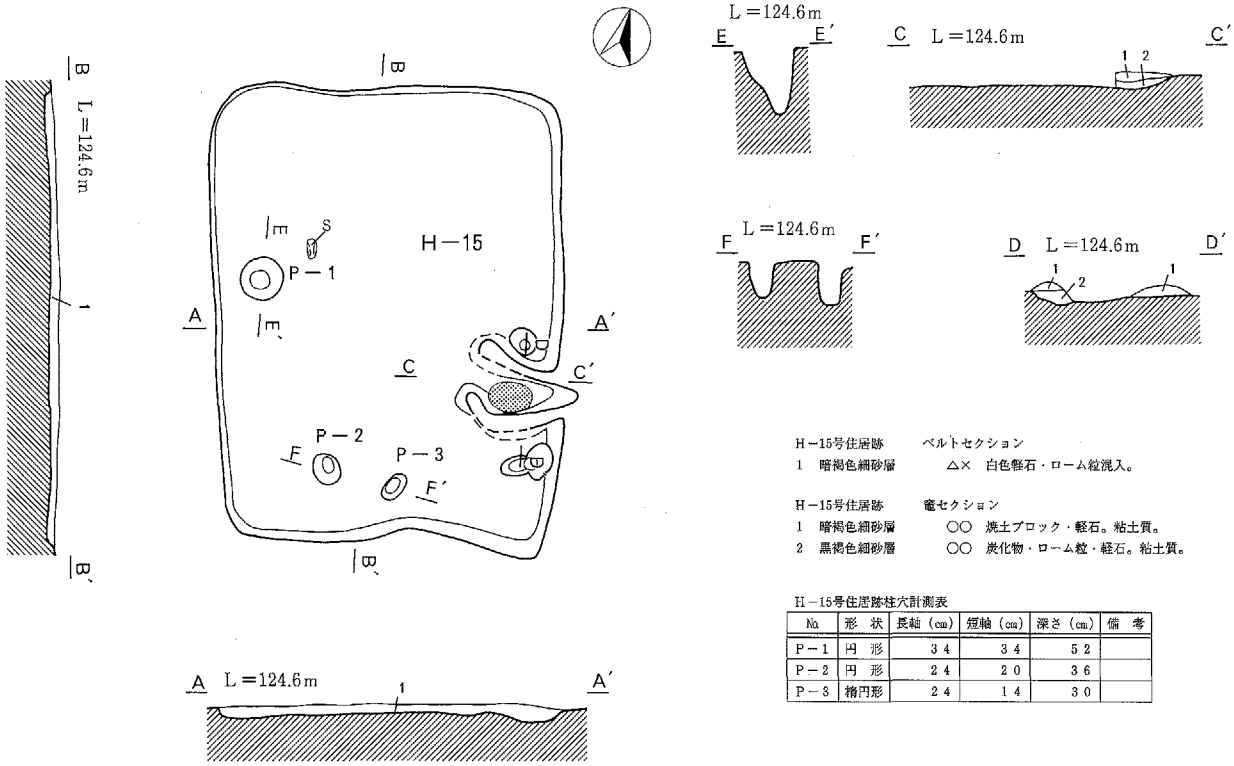
H－14号住居跡　貯蔵穴セクション

1	褐色細砂層	○○ ローム粒・粘土質。
2	暗褐色細砂層	△○ ロームブロック。
3	黒褐色細砂層	○○ ローム粒・焼土粒。

H－14号住居跡柱穴計測表

No.	形状	長軸（cm）	短軸（cm）	深さ（cm）	備考
P－1	円形	26	18	66	
P－2	円形	26	22	65	
P－3	円形	22	22	34	
P－4	円形	26	24	41	
P－5	楕円形	98	56	80	貯蔵穴

Fig.19　H－13・14号住居跡

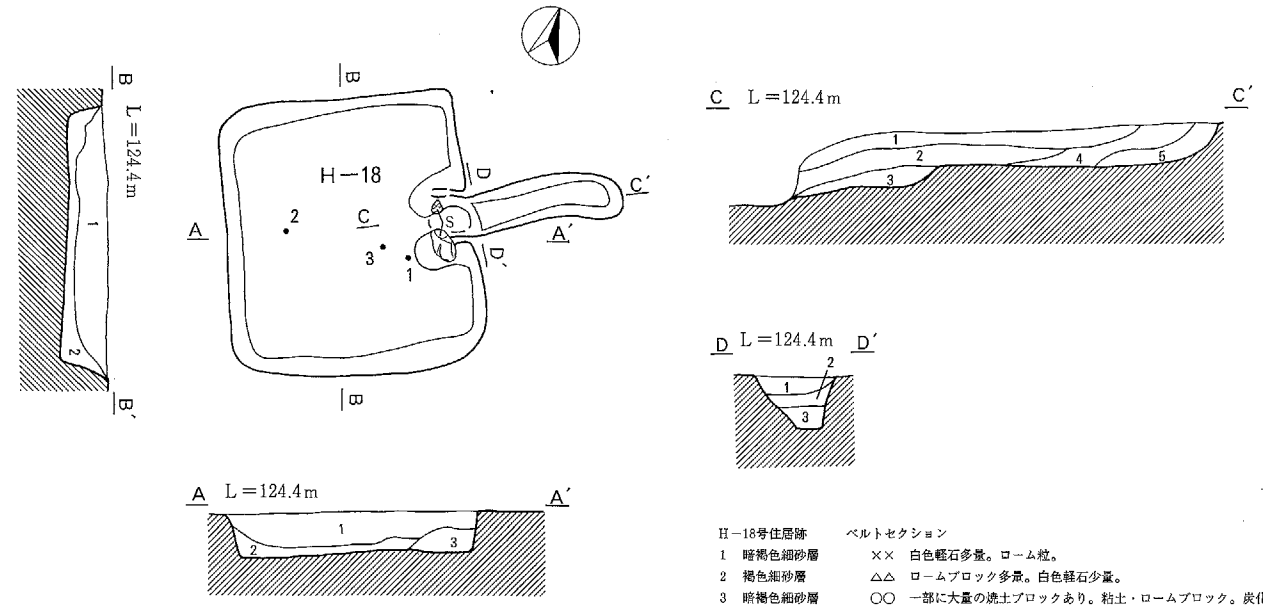


H－15号住居跡　ベルトセクション
1　暗褐色細砂層　△×　白色軽石・ローム粒混入。

H－15号住居跡　竈セクション
1　暗褐色細砂層　○○　焼土ブロック・軽石。粘土質。
2　黒褐色細砂層　○○　炭化物・ローム粒・軽石。粘土質。

H－15号住居跡柱穴計測表

No.	形　状	長軸（cm）	短軸（cm）	深さ（cm）	備　考
P－1	円　形	34	34	52	
P－2	円　形	24	20	36	
P－3	楕円形	24	14	30	



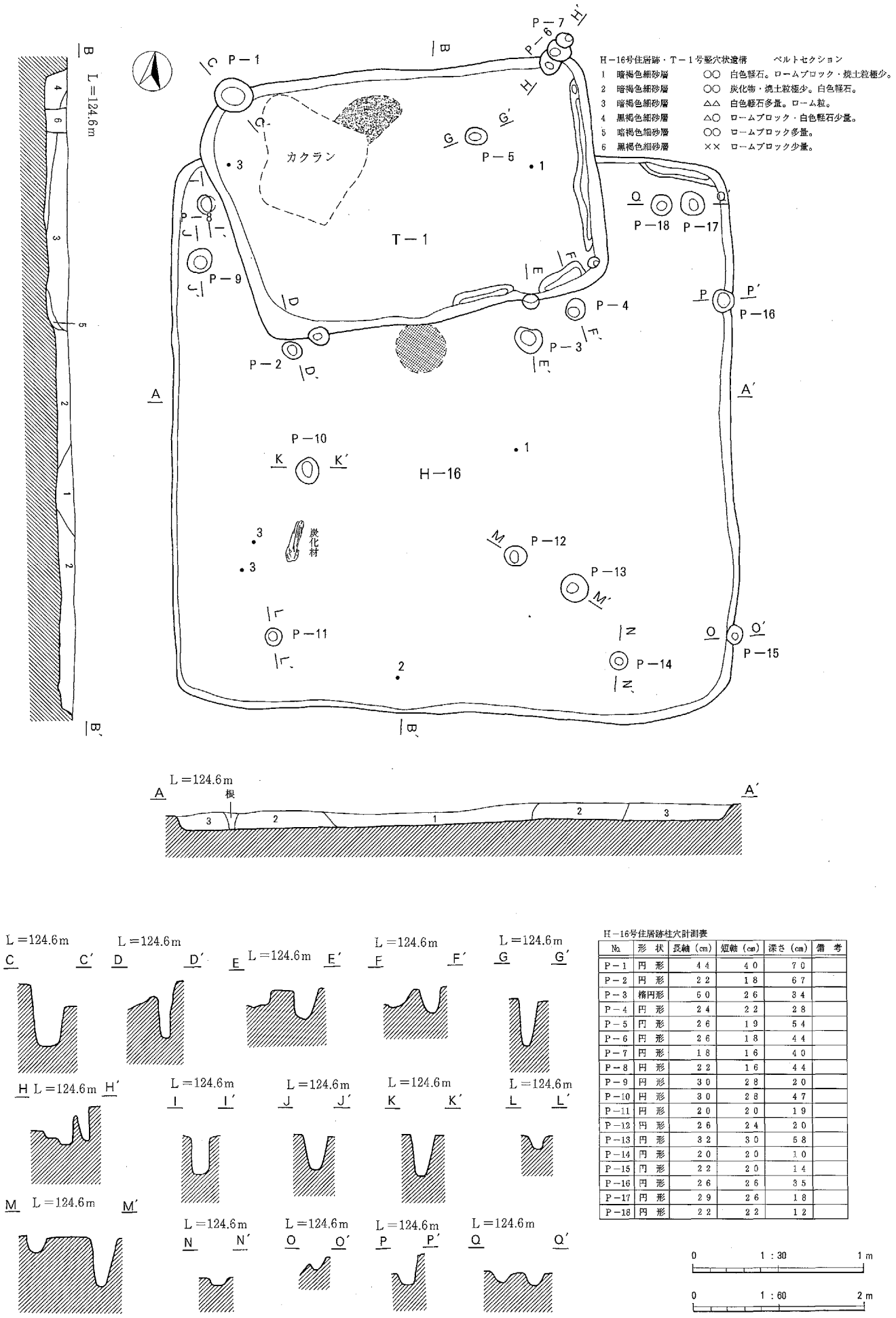
H－18号住居跡　ベルトセクション
1　暗褐色細砂層　××　白色軽石多量。ローム粒。
2　褐色細砂層　△△　ロームブロック多量。白色軽石少量。
3　暗褐色細砂層　○○　一部に大量の焼土ブロックあり。粘土・ロームブロック。炭化物少量。

H－18号住居跡　竈セクション
1　黒褐色細砂層　××　焼土粒・ローム粒。
2　黒褐色細砂層　△×　焼土粒。
3　暗褐色細砂層　○○　焼土ブロック多量。ロームブロック。
4　暗褐色細砂層　△△　焼土ブロック。
5　褐色細砂層　○×　焼土粒・ローム粒。

0　1：30　1m

0　1：60　2m

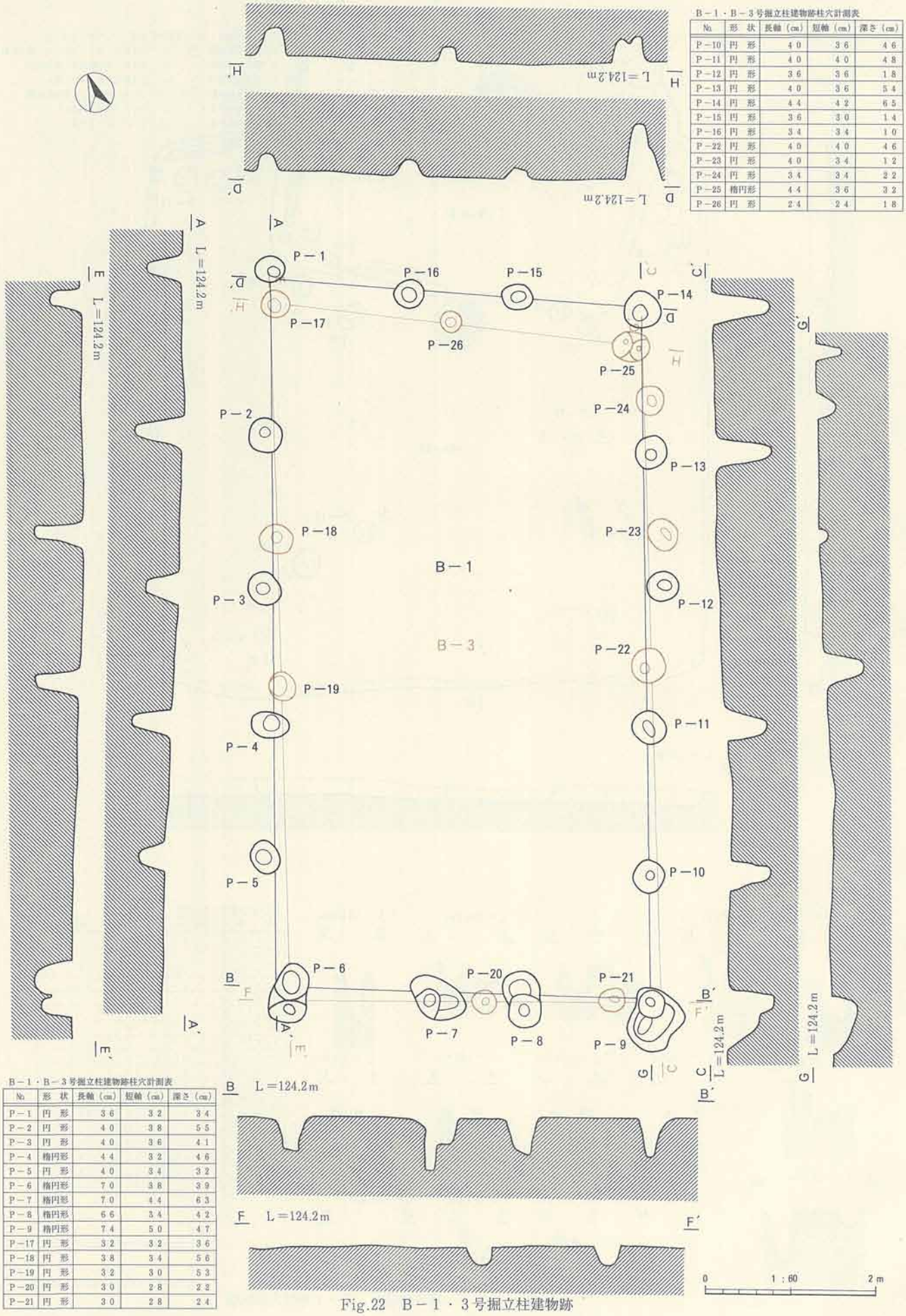
Fig.20　H－15・18号住居跡



H－16号住居跡柱穴計測表

No.	形　状	長軸（cm）	短軸（cm）	深さ（cm）	備　考
P－1	円　形	44	40	70	
P－2	円　形	22	18	67	
P－3	楕円形	50	26	34	
P－4	円　形	24	22	28	
P－5	円　形	26	19	54	
P－6	円　形	26	18	44	
P－7	円　形	18	16	40	
P－8	円　形	22	16	44	
P－9	円　形	30	28	20	
P－10	円　形	30	28	47	
P－11	円　形	20	20	19	
P－12	円　形	26	24	20	
P－13	円　形	32	30	58	
P－14	円　形	20	20	10	
P－15	円　形	22	20	14	
P－16	円　形	26	26	35	
P－17	円　形	29	26	18	
P－18	円　形	22	22	12	

Fig.21　H－16号住居跡、T－1号竪穴状遺構



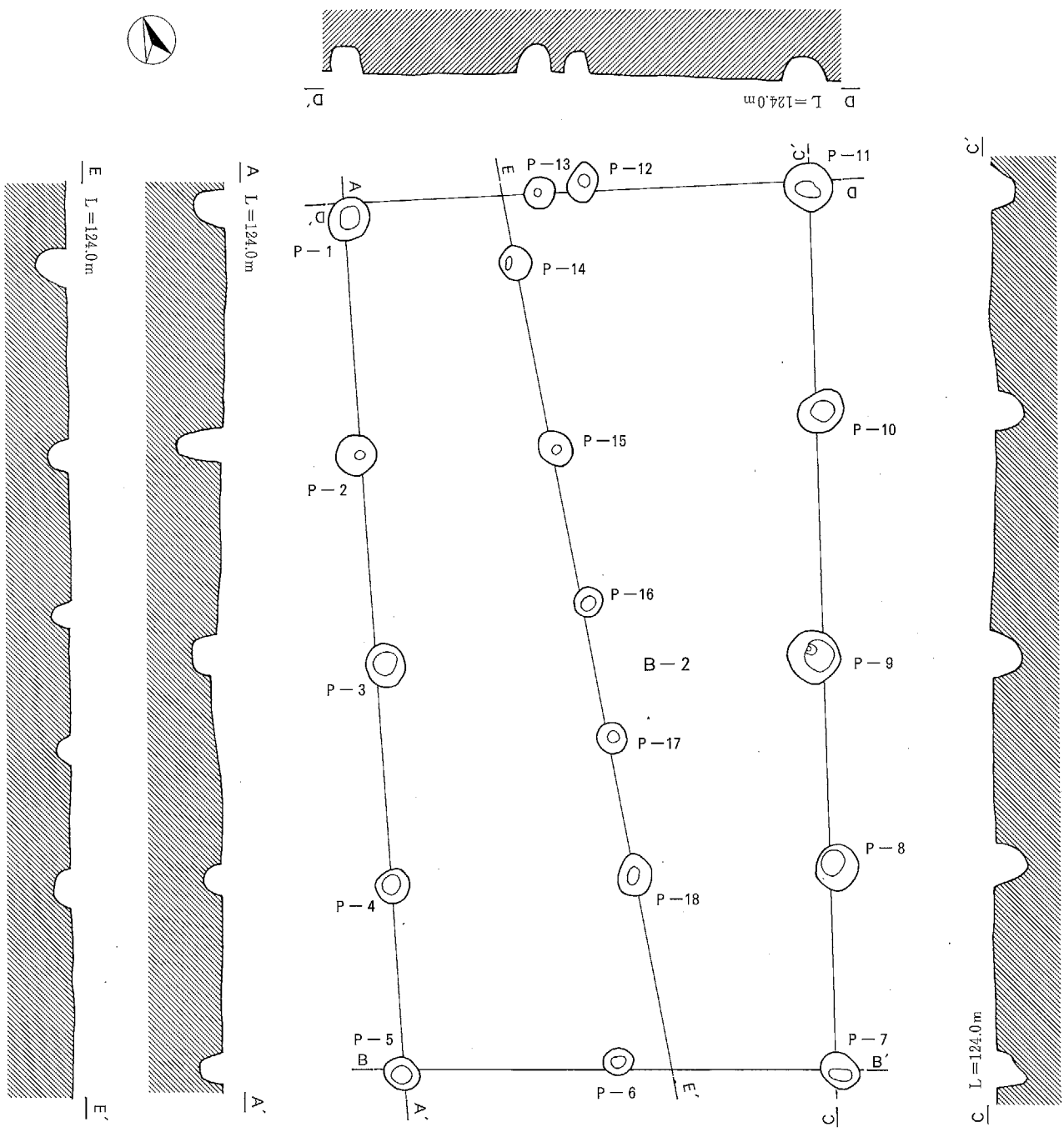
B－1・B－3号掘立柱建物跡柱穴計測表

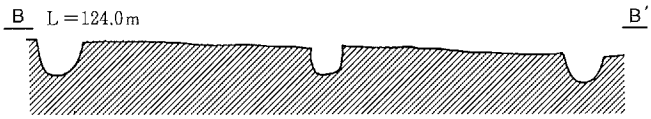
No	形状	長軸（cm）	短軸（cm）	深さ（cm）
P－1	円形	36	32	34
P－2	円形	40	38	55
P－3	円形	40	36	41
P－4	楕円形	44	32	46
P－5	円形	40	34	32
P－6	楕円形	70	38	39
P－7	楕円形	70	44	63
P－8	楕円形	66	34	42
P－9	楕円形	74	50	47
P－17	円形	32	32	36
P－18	円形	38	34	56
P－19	円形	32	30	53
P－20	円形	30	28	23
P－21	円形	30	28	24

B－1・B－3号掘立柱建物跡柱穴計測表

No	形状	長軸（cm）	短軸（cm）	深さ（cm）
P－10	円形	40	36	46
P－11	円形	40	40	48
P－12	円形	36	36	18
P－13	円形	40	36	54
P－14	円形	44	42	65
P－15	円形	36	30	14
P－16	円形	34	34	10
P－22	円形	40	40	46
P－23	円形	40	34	12
P－24	円形	34	34	22
P－25	楕円形	44	36	32
P－26	円形	24	24	18

Fig.22　B－1・3号掘立柱建物跡





B－2号掘立柱建物跡柱穴計測表

No.	形　状	長軸（cm）	短軸（cm）	深さ（cm）
P－1	円　形	42	38	28
P－2	円　形	40	36	44
P－3	円　形	42	36	14
P－4	円　形	34	30	14
P－5	楕円形	36	28	23
P－6	円　形	28	24	20
P－7	円　形	38	32	24
P－8	円　形	40	40	29
P－9	円　形	50	50	26
P－10	楕円形	48	38	27
P－11	円　形	46	44	24
P－12	楕円形	38	26	20
P－13	円　形	32	30	26
P－14	円　形	32	30	43
P－15	円　形	34	32	19
P－16	円　形	30	28	20
P－17	円　形	30	30	17
P－18	円　形	40	32	17

0　1：60　2m

Fig.23　B－2号掘立柱建物跡

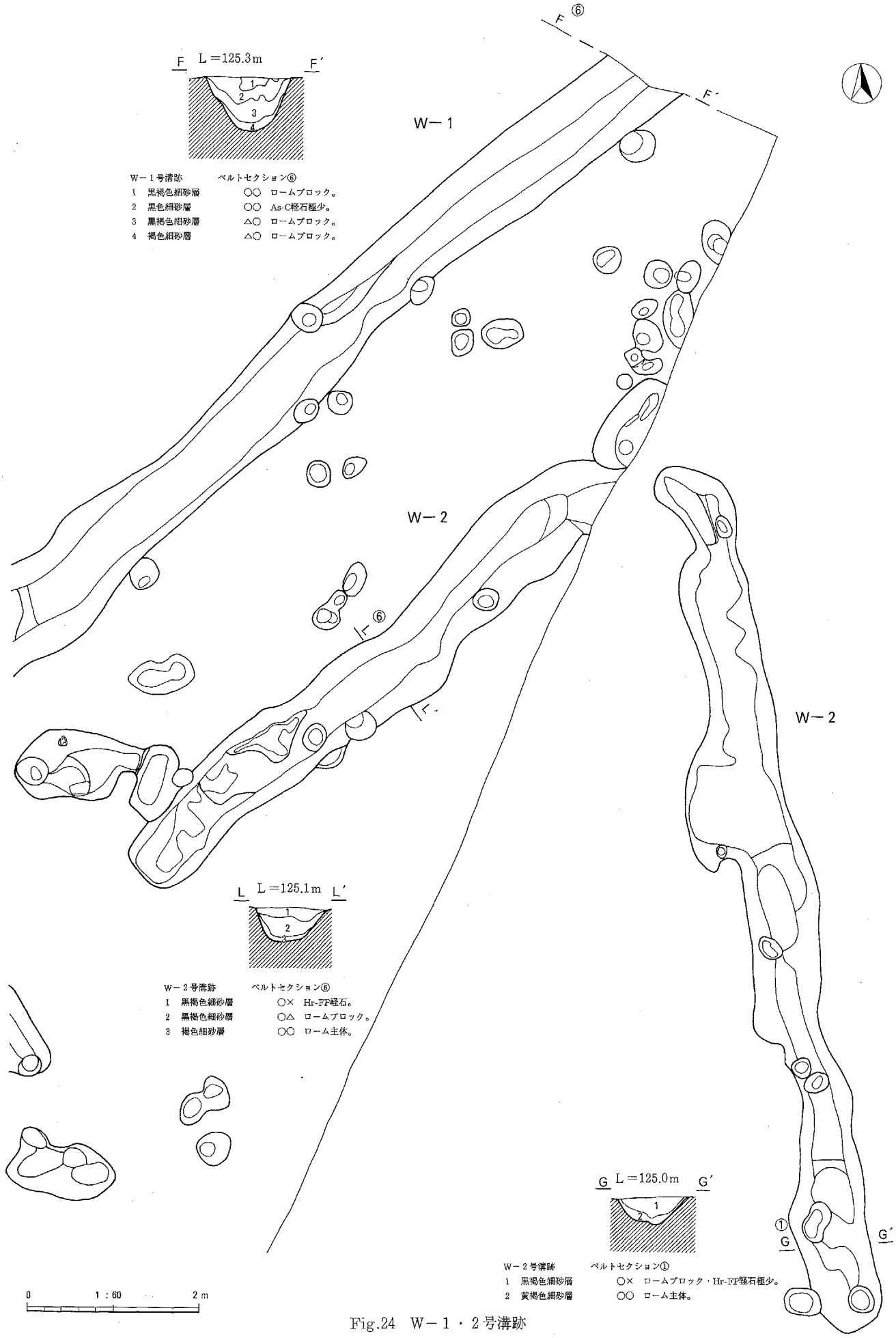


Fig.24　W－1・2号溝跡

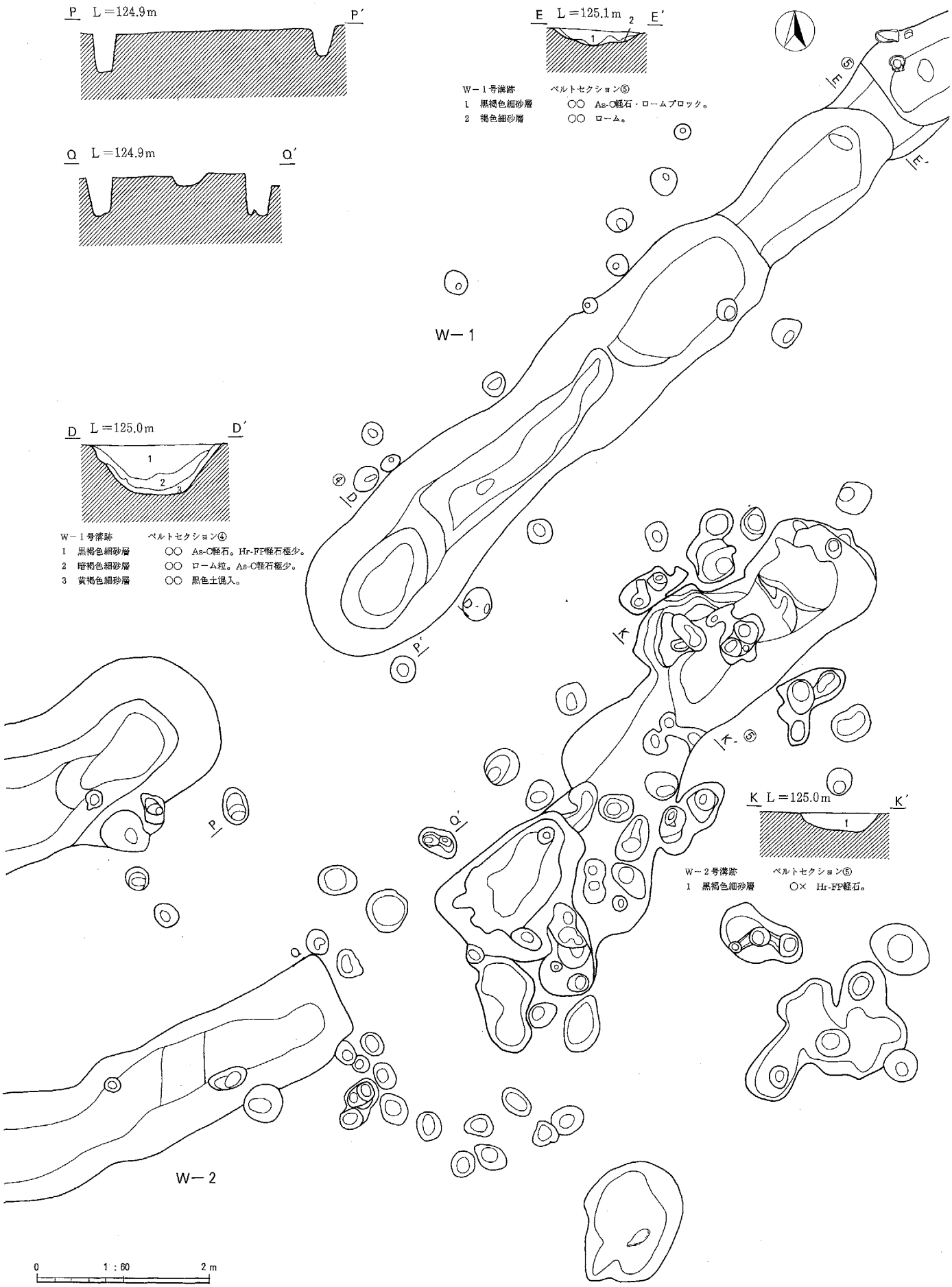


Fig.25 W－1・2号溝跡

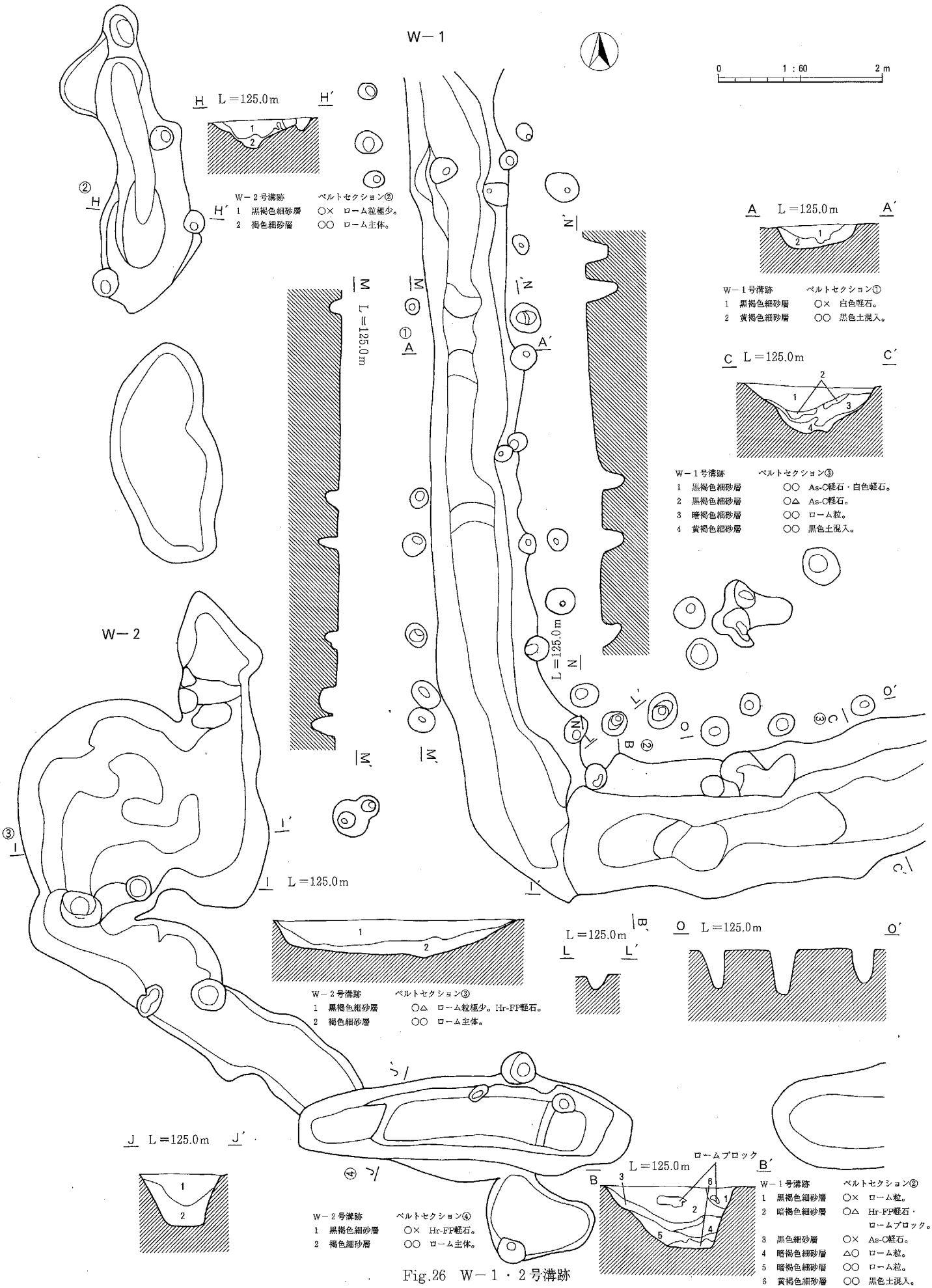


Fig.26 W－1・2号溝跡

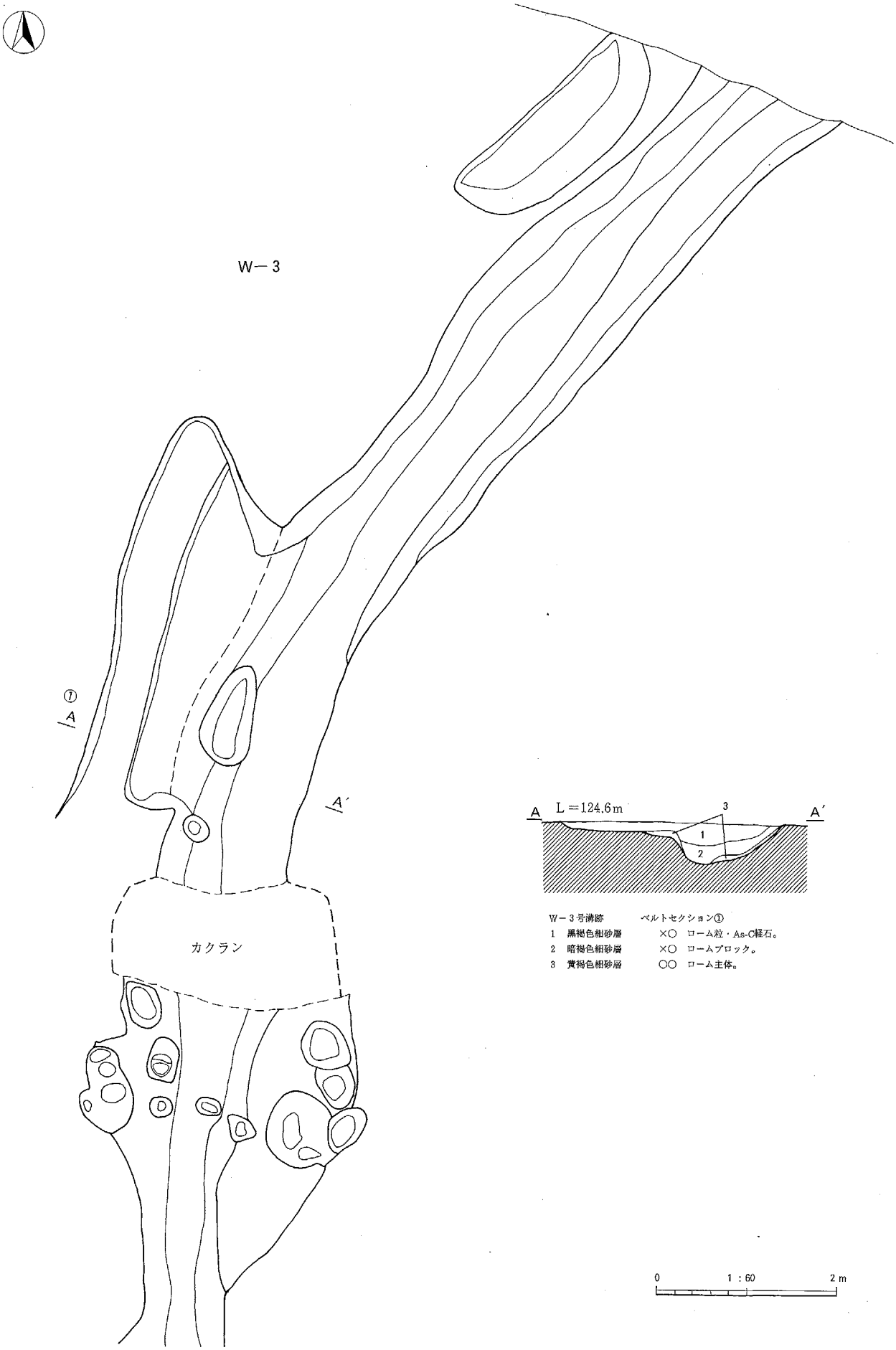

W－3
①
A
A′
カクラン
A
L＝124.6m
A′
3
1
2
W－3号溝跡
1 黒褐色細砂層
2 暗褐色細砂層
3 黄褐色細砂層
ベルトセクション①
×○ ローム粒・As-C軽石。
×○ ロームブロック。
○○ ローム主体。
0
1：60
2 m

Fig.27 W－3号溝跡

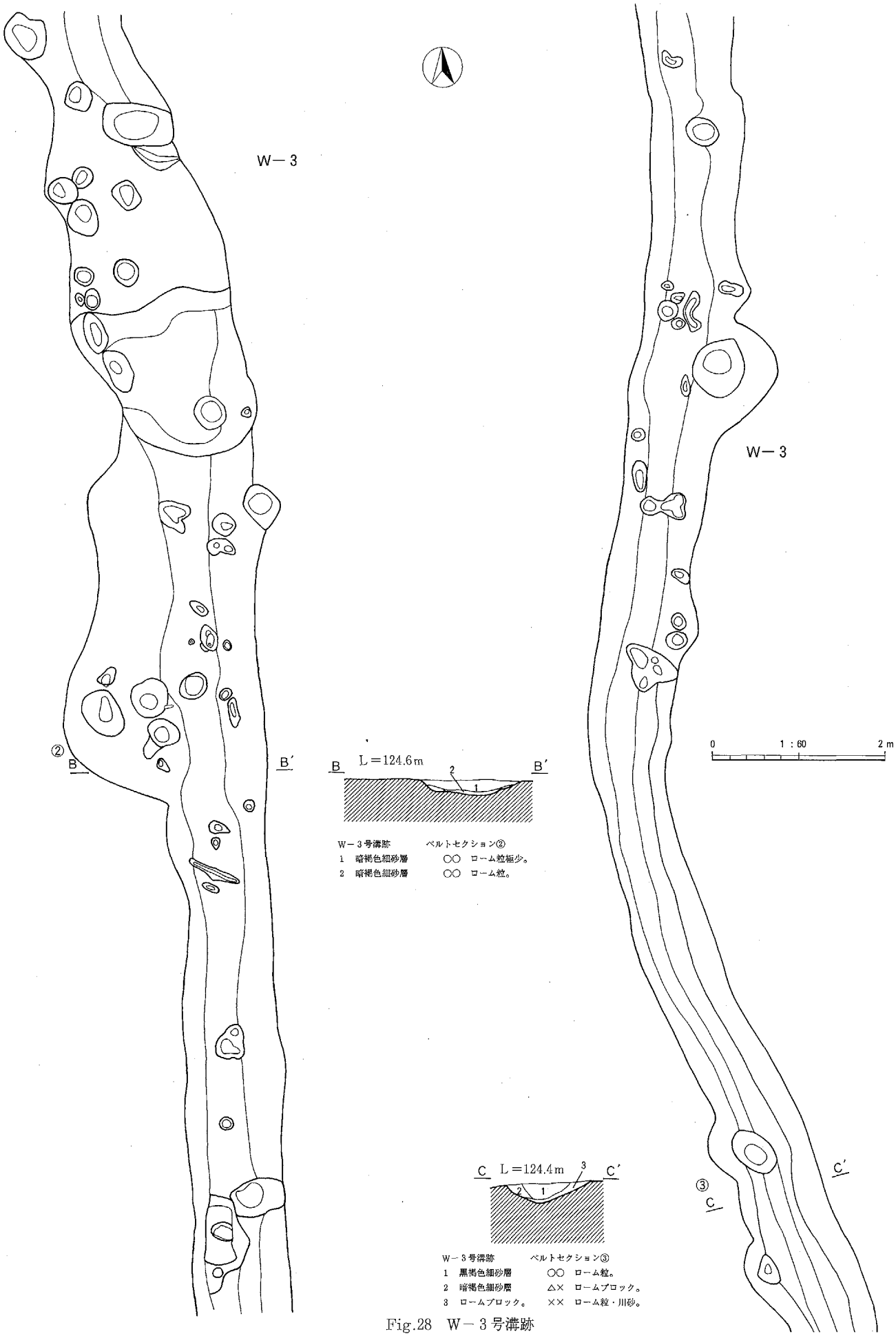
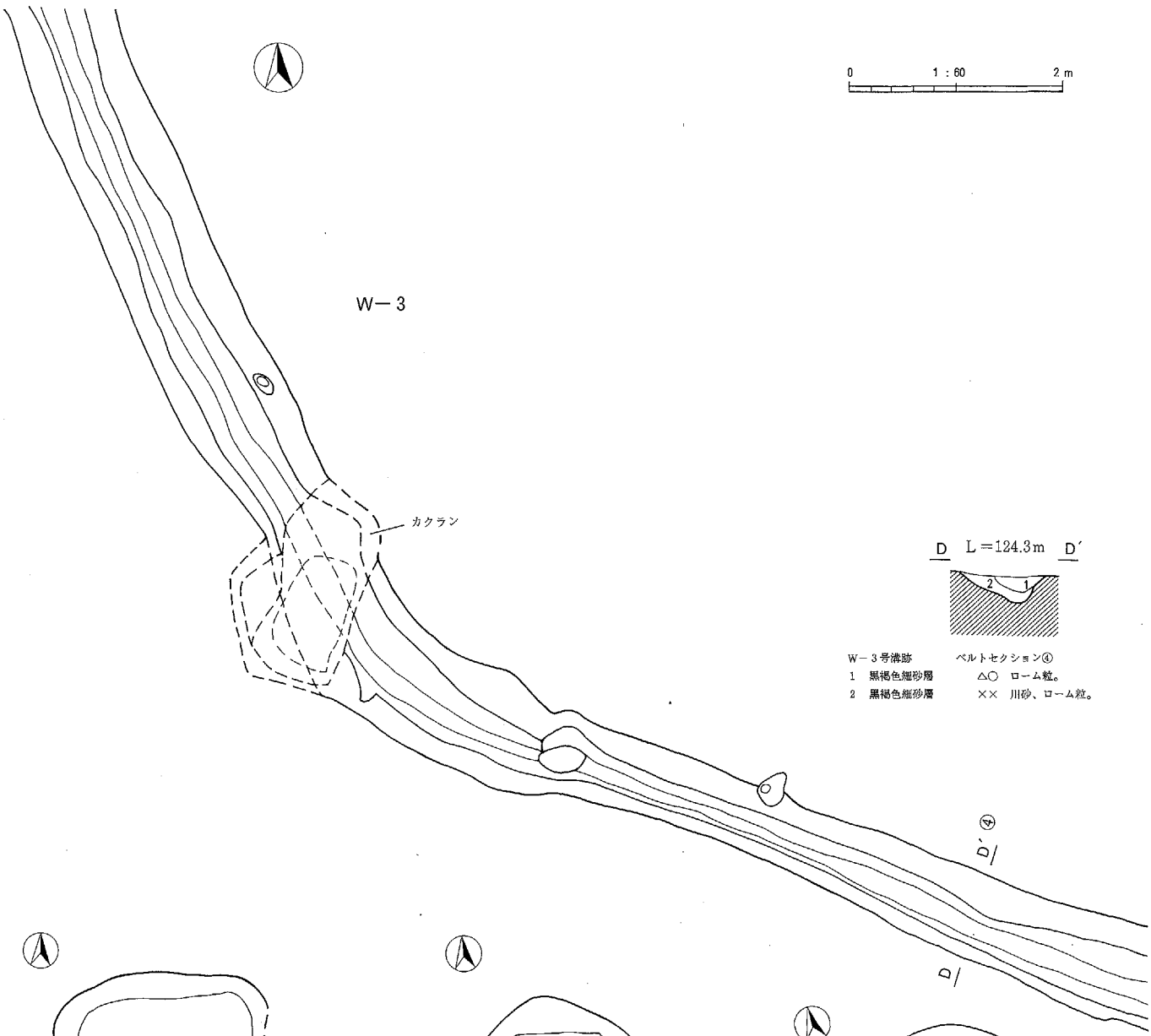
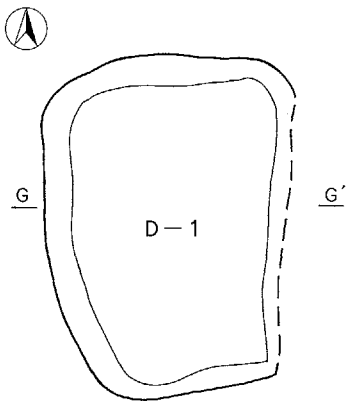
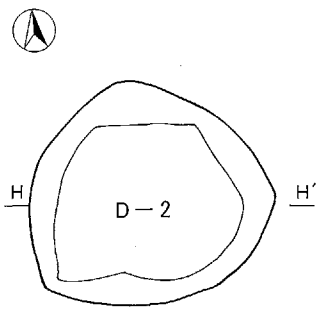
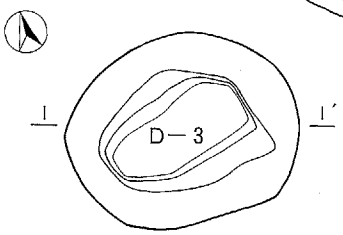

W－3
W－3
②
B
B′
B
L＝124.6m
B′
2
1
W－3号溝跡　ベルトセクション②
1　暗褐色細砂層　○○　ローム粒極少。
2　暗褐色細砂層　○○　ローム粒。
0　1：60　2m
C
L＝124.4m
C′
3
2
1
③
C
C′
W－3号溝跡　ベルトセクション③
1　黒褐色細砂層　○○　ローム粒。
2　暗褐色細砂層　△×　ロームブロック。
3　ロームブロック。　××　ローム粒・川砂。

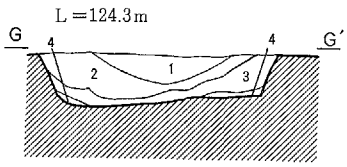
Fig.28　W－3号溝跡

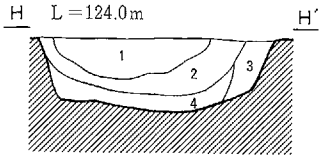


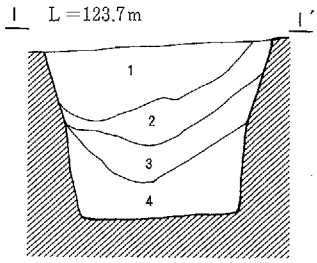










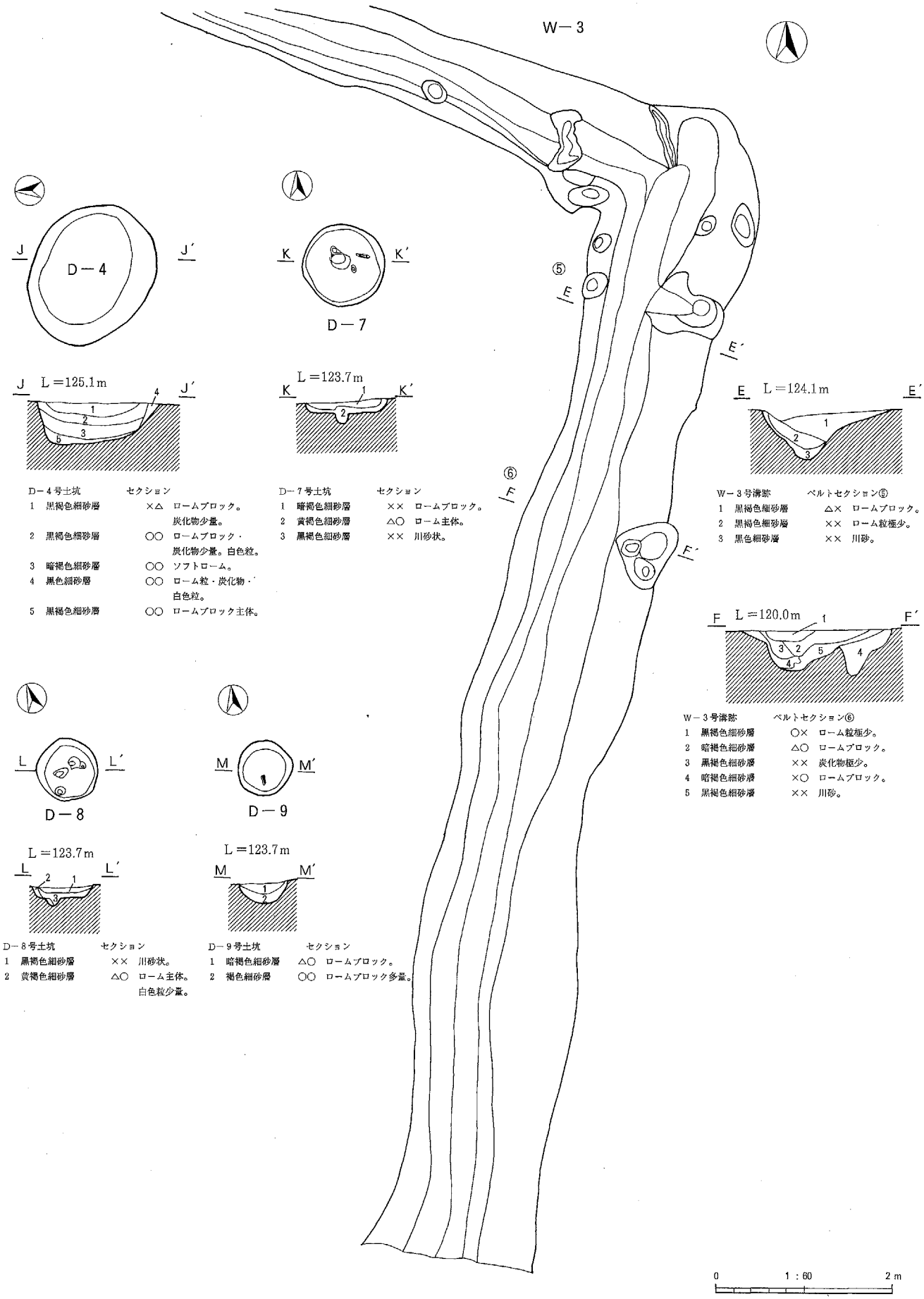


D－1号土坑　セクション
1 暗褐色細砂層　○○ 白色軽石・ロームブロック。
2 黒褐色細砂層　○○ 白色軽石多量。ロームブロック。
3 黒褐色細砂層　○○ ロームブロック。
4 暗褐色細砂層　○○ ローム粒。

D－2号土坑　セクション
1 黒褐色細砂層　○× ローム粒極少。白色軽石。
2 暗褐色細砂層　○△ ローム粒多量。炭化物極少。
3 黄褐色細砂層　○○ ローム層。
4 褐色細砂層　○○ ローム主体。

D－3号土坑　セクション
1 黒色細砂層　○○ 白色軽石多量。ロームブロック。
2 黒褐色細砂層　○○ 白色軽石・ローム粒。
3 にぶい黄褐色細砂層　×× 川砂。
4 暗褐色細砂層　×○ ローム粒多量。

Fig.29 W－3号溝跡、D－1～3号土坑



D－4号土坑　セクション

1	黒褐色細砂層	×△	ロームブロック。炭化物少量。
2	黒褐色細砂層	○○	ロームブロック・炭化物少量。白色粒。
3	暗褐色細砂層	○○	ソフトローム。
4	黒色細砂層	○○	ローム粒・炭化物・白色粒。
5	黒褐色細砂層	○○	ロームブロック主体。

D－7号土坑　セクション

1	暗褐色細砂層	××	ロームブロック。
2	黄褐色細砂層	△○	ローム主体。
3	黒褐色細砂層	××	川砂状。

W－3号溝跡　ベルトセクション⑤

1	黒褐色細砂層	△×	ロームブロック。
2	黒褐色細砂層	××	ローム粒極少。
3	黒色細砂層	××	川砂。

W－3号溝跡　ベルトセクション⑥

1	黒褐色細砂層	○×	ローム粒極少。
2	暗褐色細砂層	△○	ロームブロック。
3	黒褐色細砂層	××	炭化物極少。
4	暗褐色細砂層	×○	ロームブロック。
5	黒褐色細砂層	××	川砂。

D－8号土坑　セクション

1	黒褐色細砂層	××	川砂状。
2	黄褐色細砂層	△○	ローム主体。白色粒少量。

D－9号土坑　セクション

1	暗褐色細砂層	△○	ロームブロック。
2	褐色細砂層	○○	ロームブロック多量。

Fig.30　W－3号溝跡、D－4・7～9号土坑

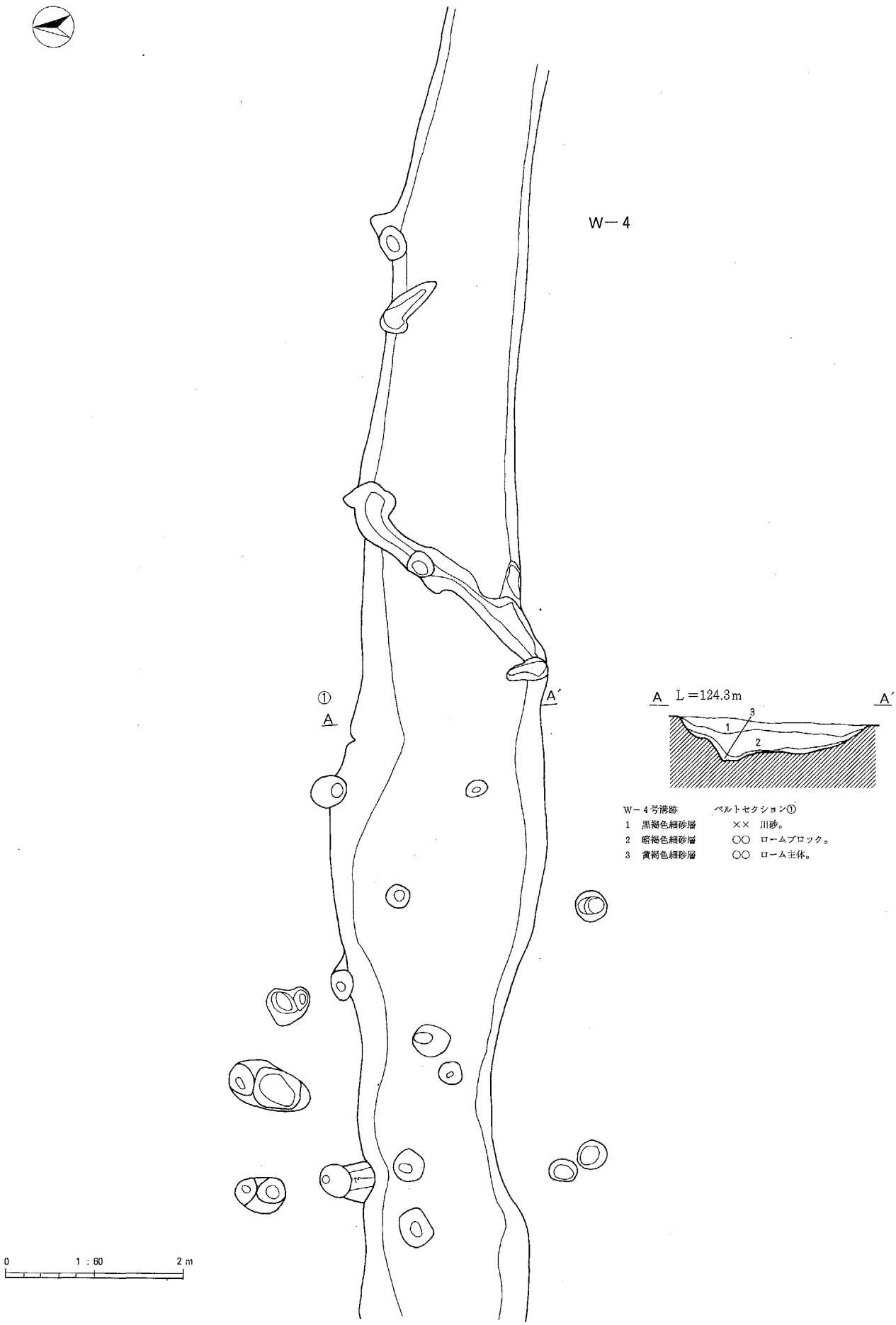

W－4
①
A
A′
A L＝124.3m A′
3
1
2
W－4号溝跡
1 黒褐色細砂層
2 暗褐色細砂層
3 黄褐色細砂層
ベルトセクション①
×× 川砂。
○○ ロームブロック。
○○ ローム主体。
0 1：60 2m

Fig.31 W－4号溝跡

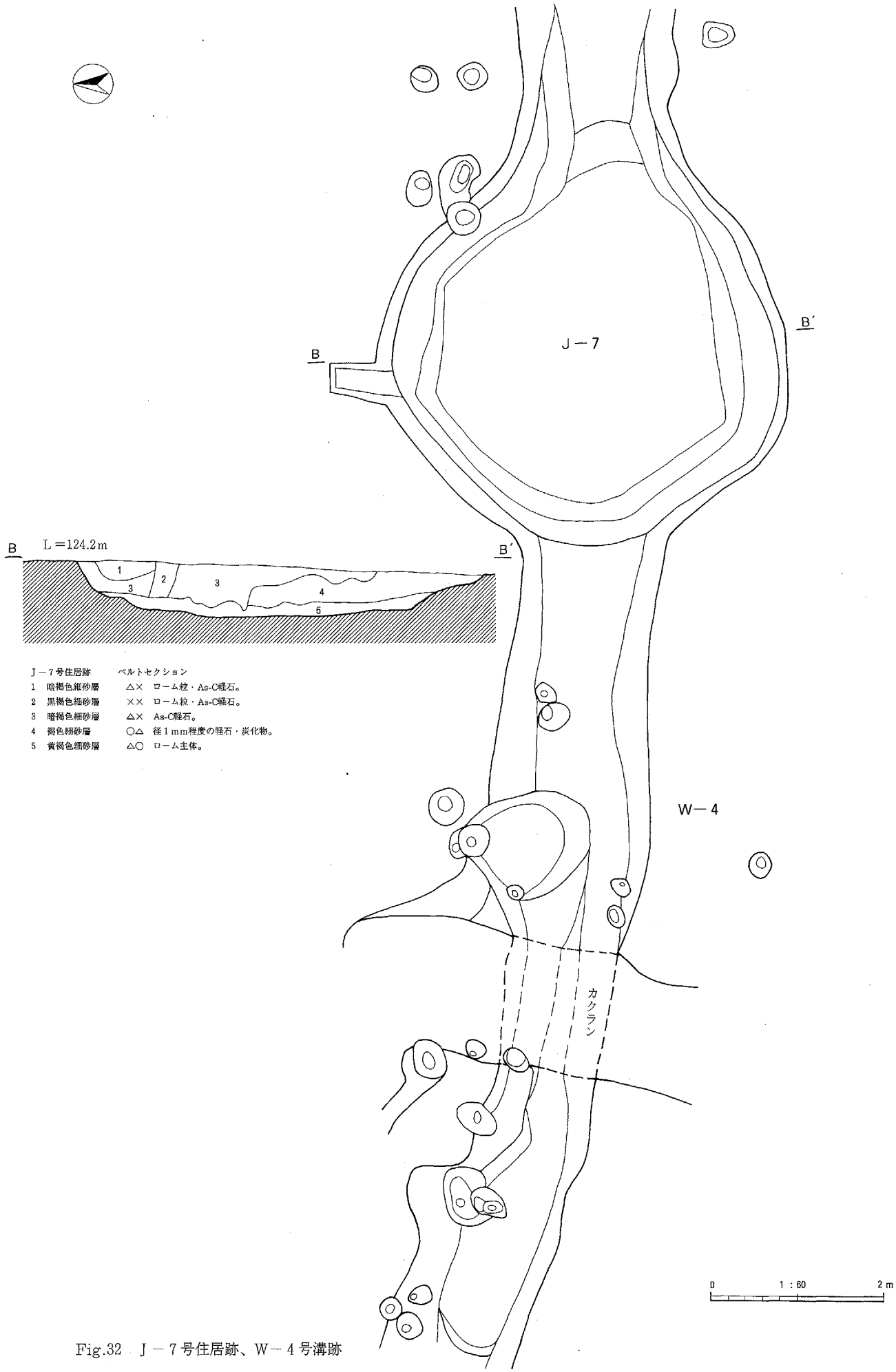


Fig.32　J－7号住居跡、W－4号溝跡

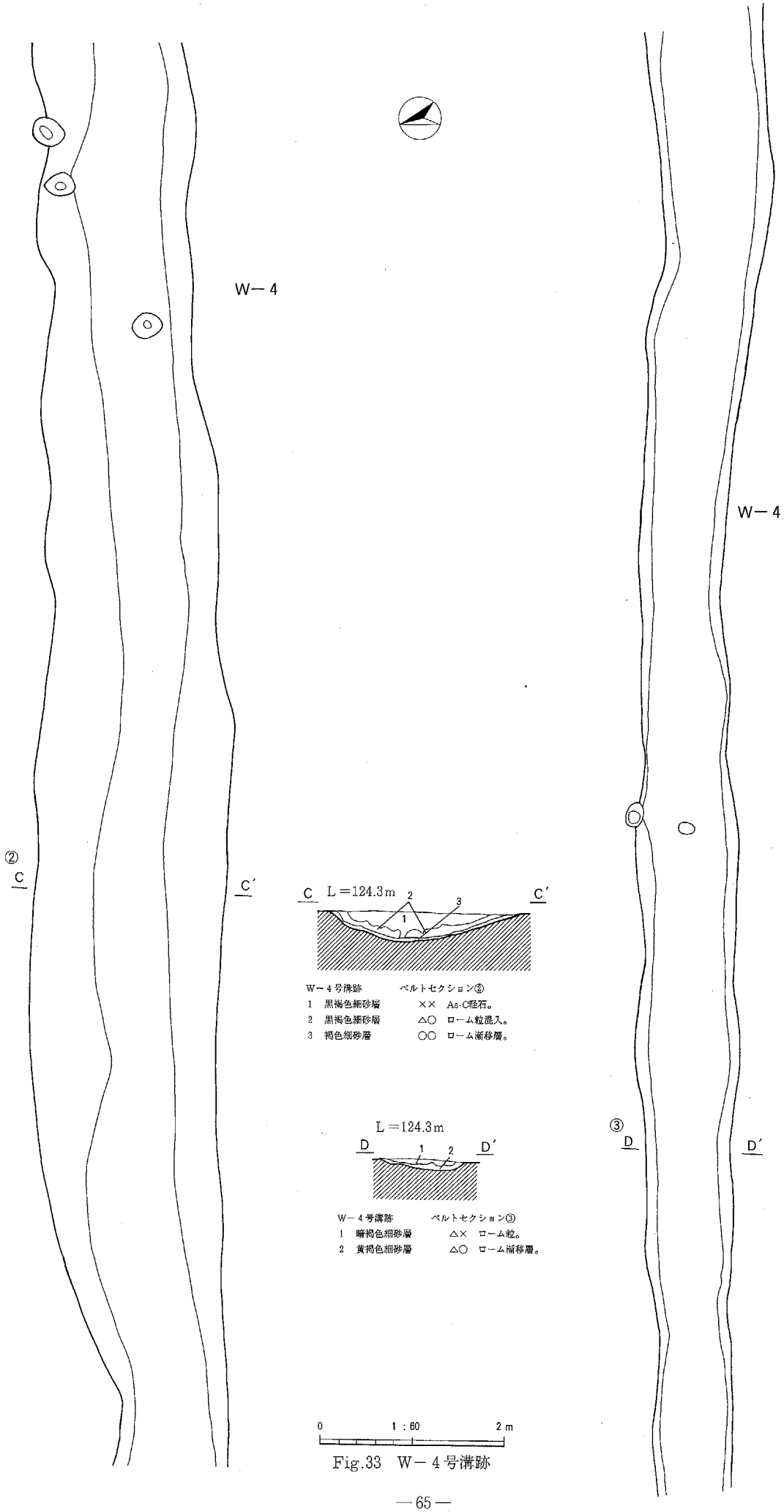

W－4
W－4
②
C
C′
C
L＝124.3m
C′
1
2
3
W－4号溝跡
1 黒褐色細砂層
2 黒褐色細砂層
3 褐色細砂層
ベルトセクション②
×× As-C軽石。
△○ ローム粒混入。
○○ ローム漸移層。
L＝124.3m
D
D′
1
2
W－4号溝跡
1 暗褐色細砂層
2 黄褐色細砂層
ベルトセクション③
△× ローム粒。
△○ ローム漸移層。
③
D
D′
0
1：60
2 m

Fig.33 W－4号溝跡

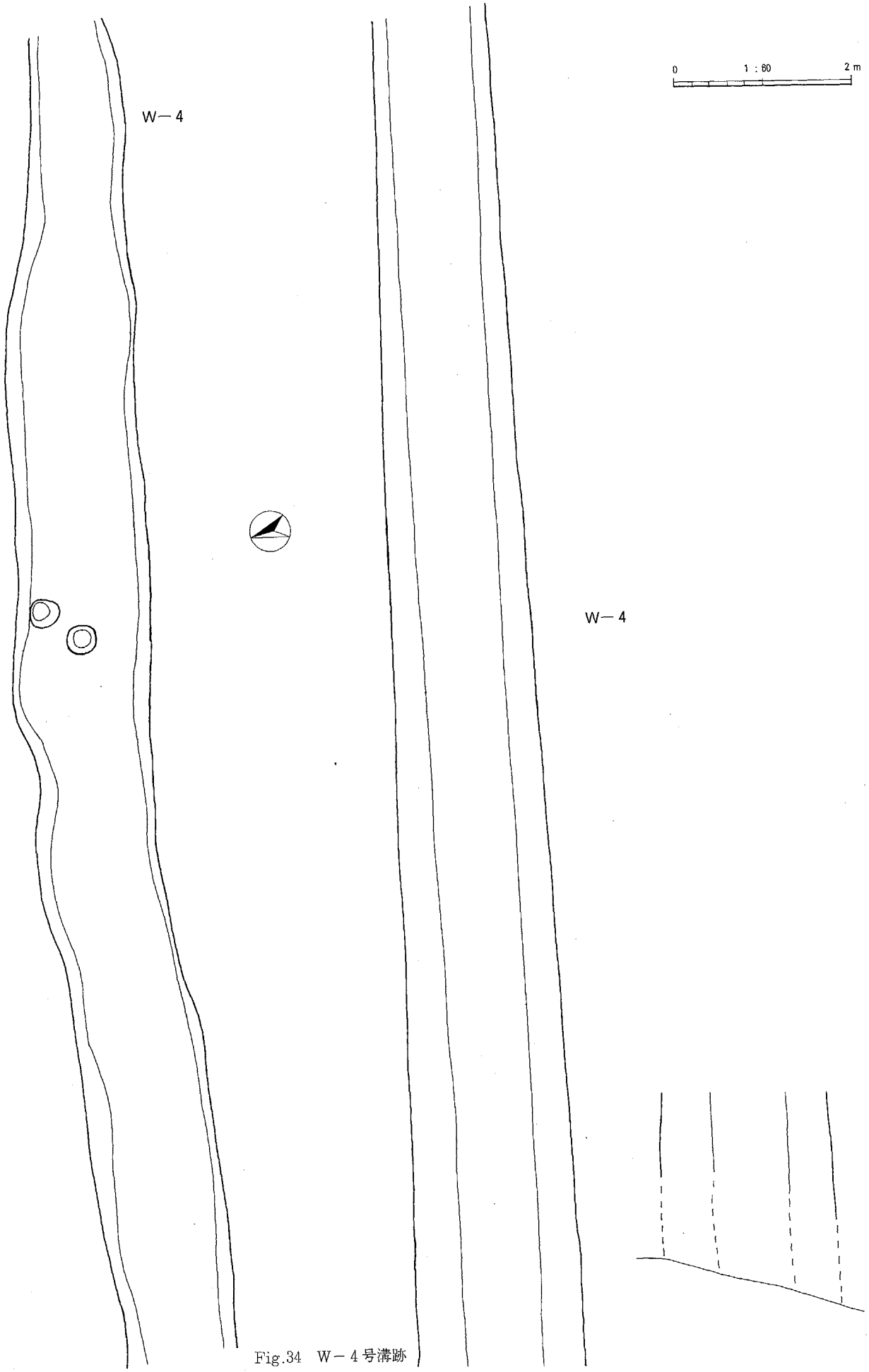


Fig.34　W－4号溝跡

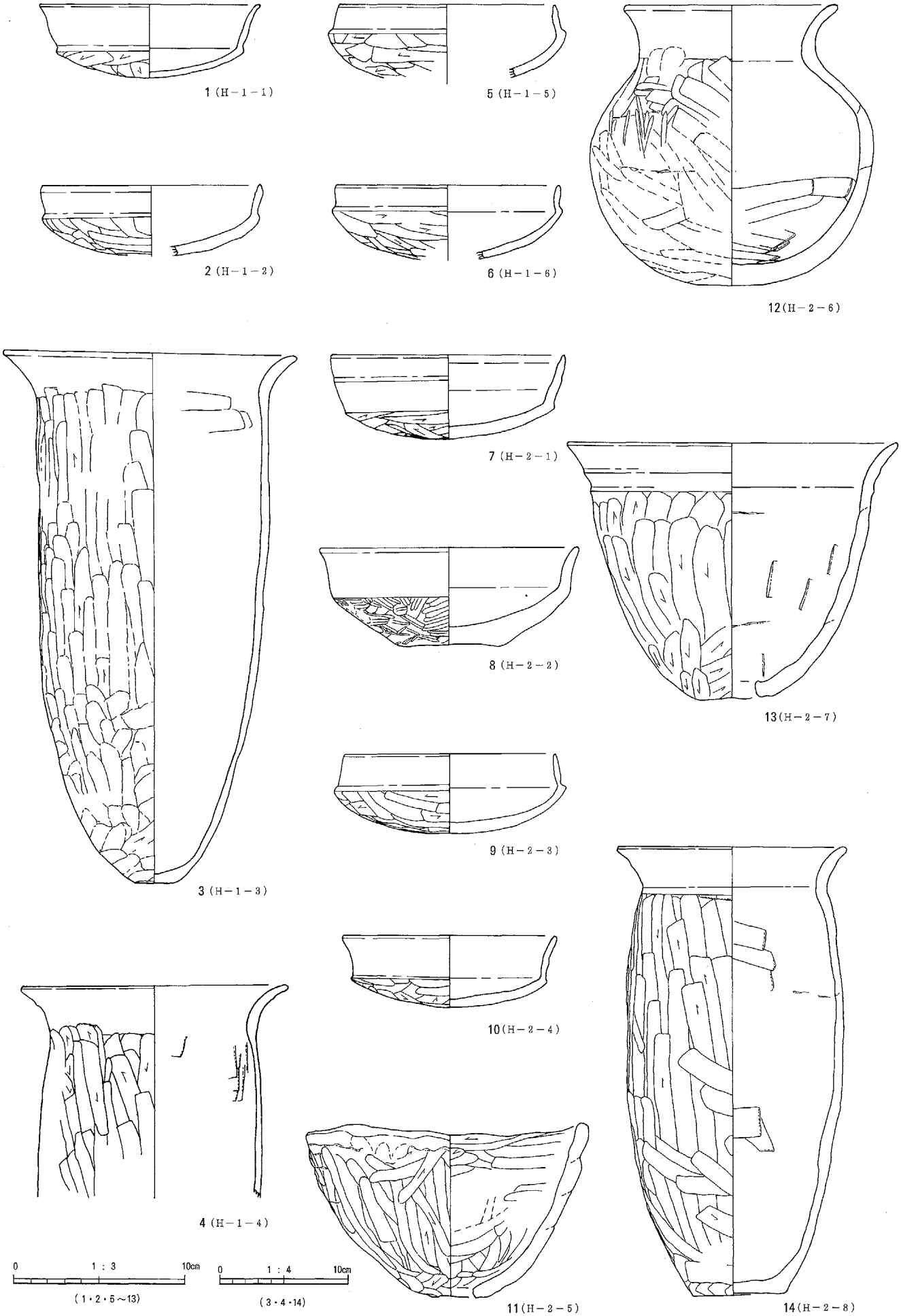


Fig.35　H－1・2号住居跡出土の土器

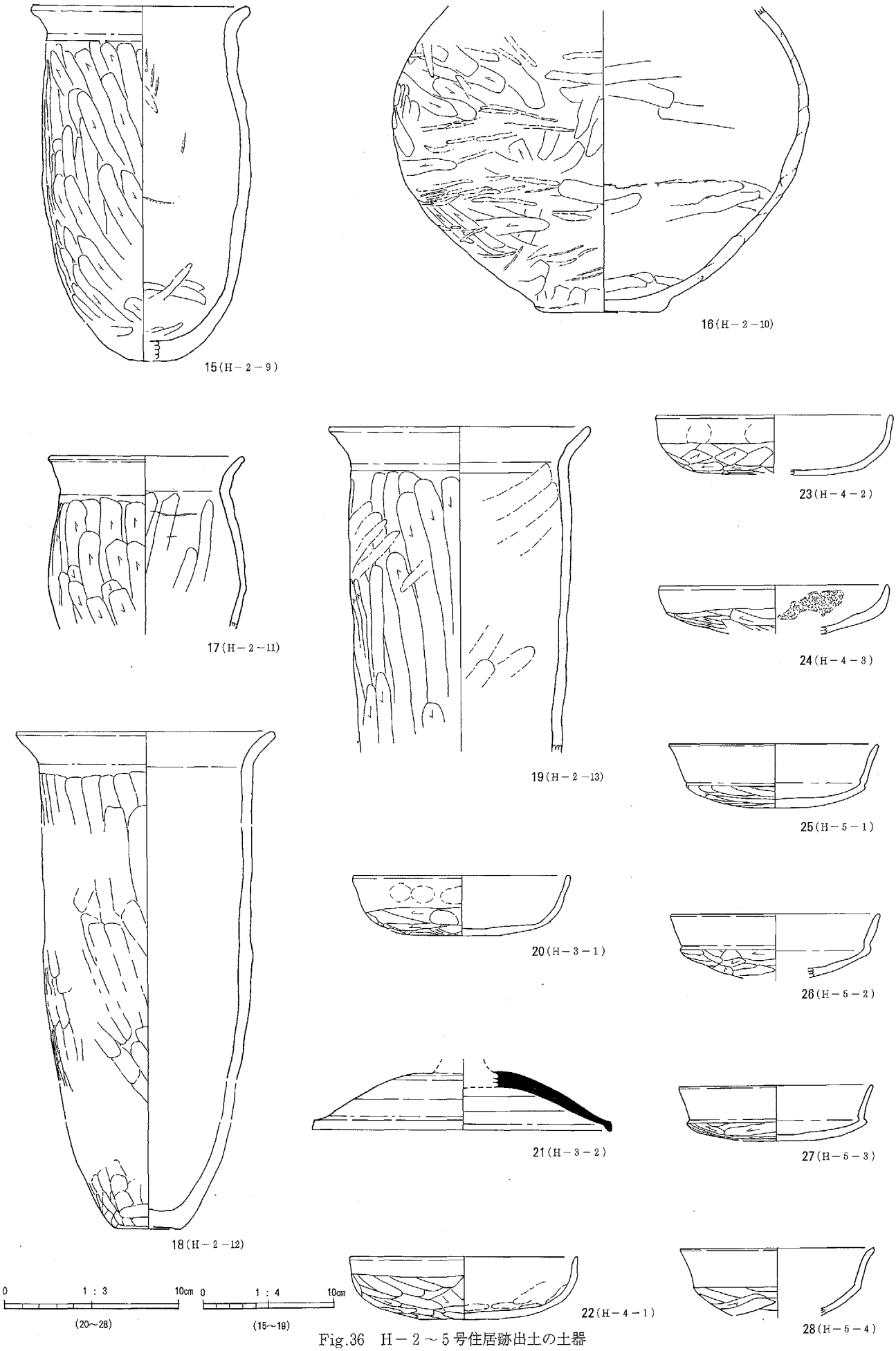


Fig.36　H－2～5号住居跡出土の土器

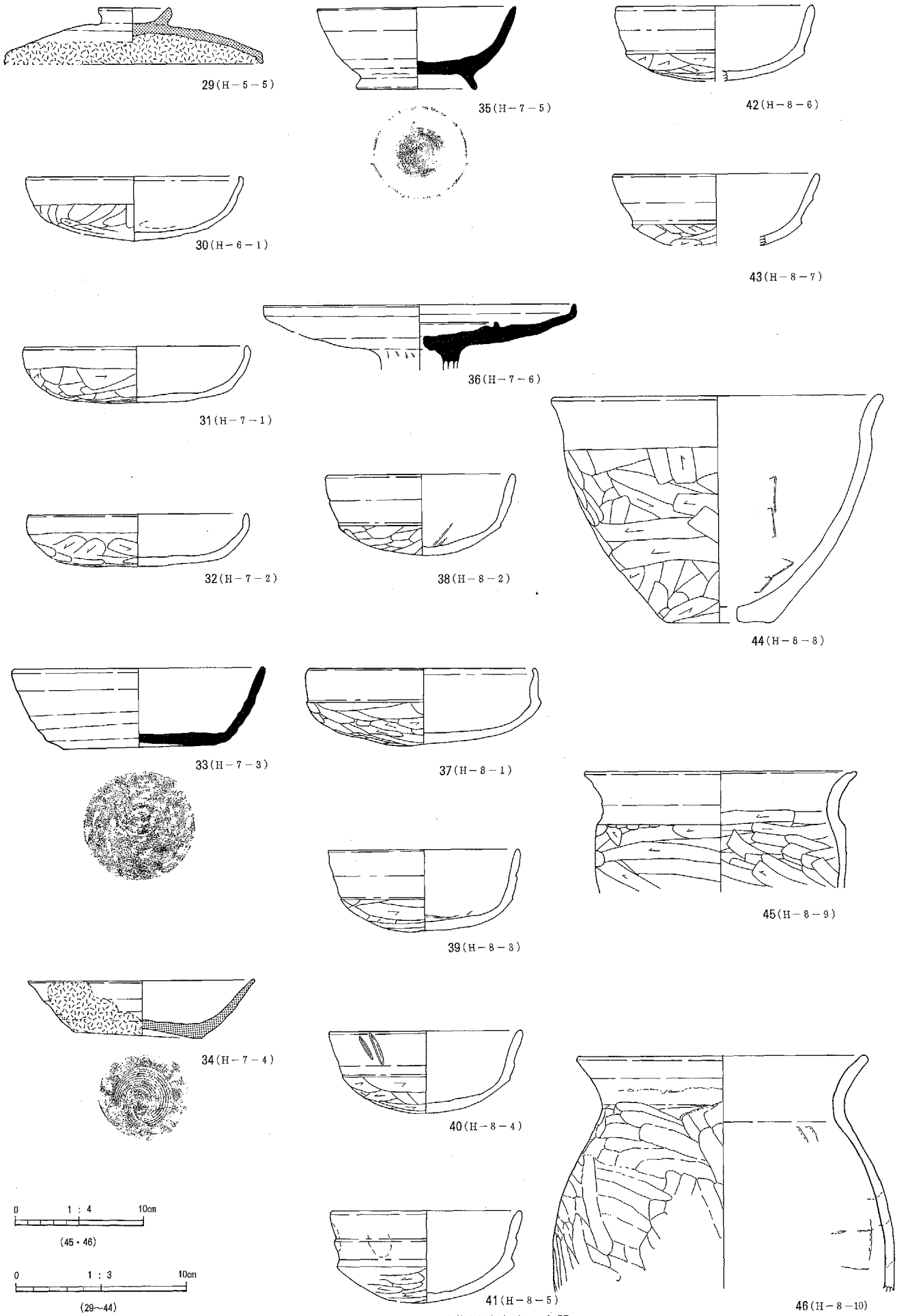


Fig.37　H－5～8号住居跡出土の土器

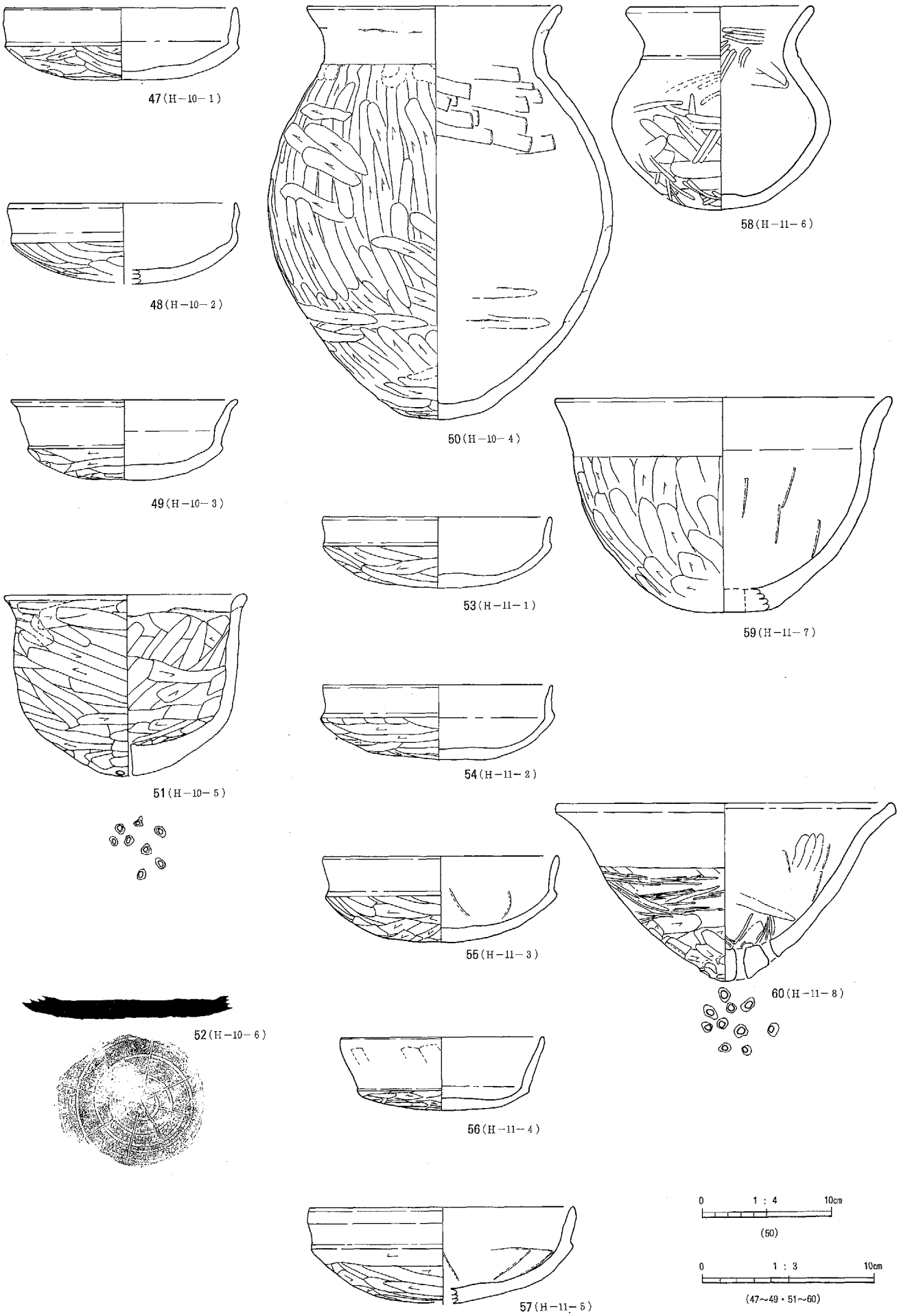


Fig.38　H－10・11号住居跡出土の土器

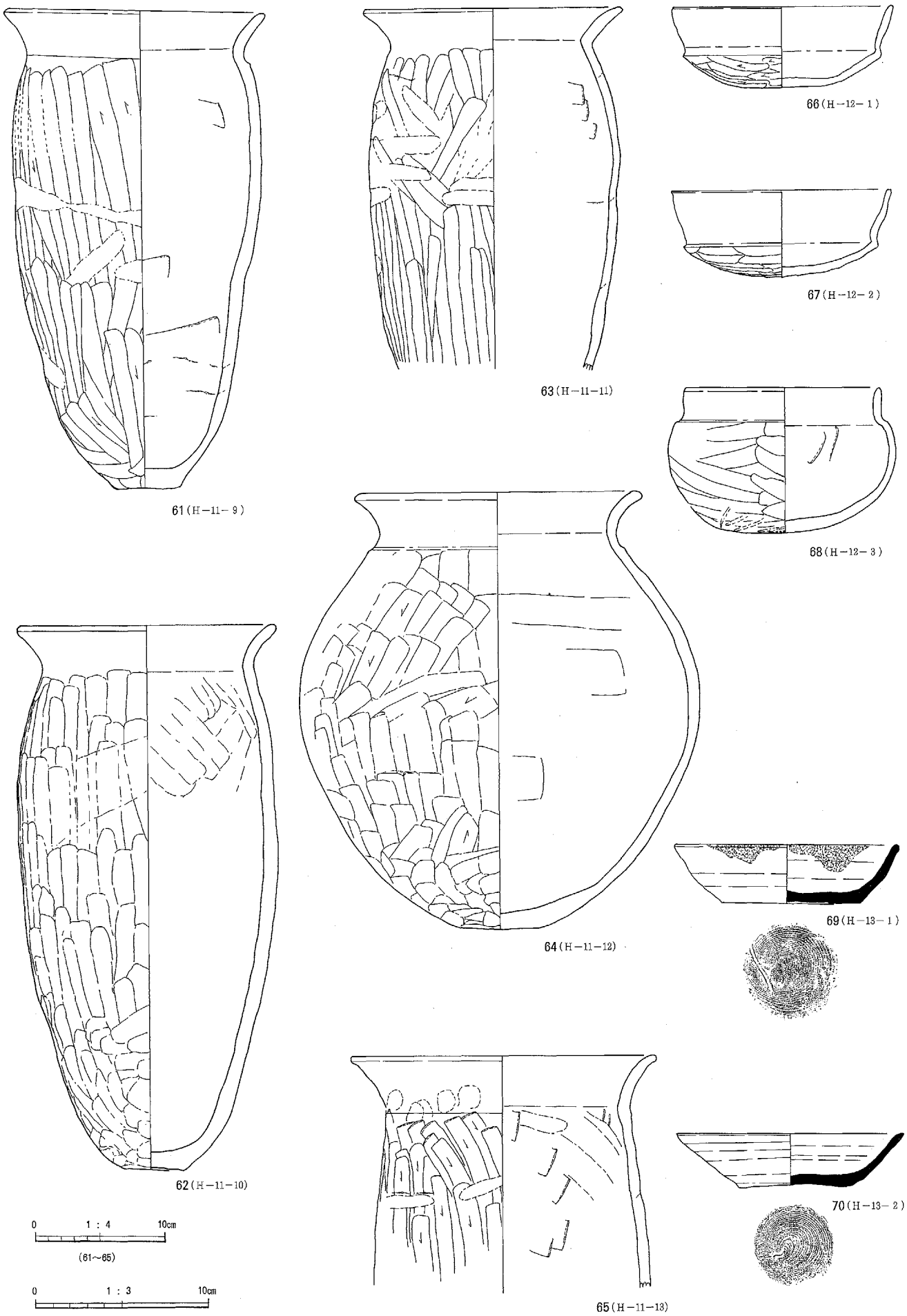


Fig.39 H−11~13号住居跡出土の土器

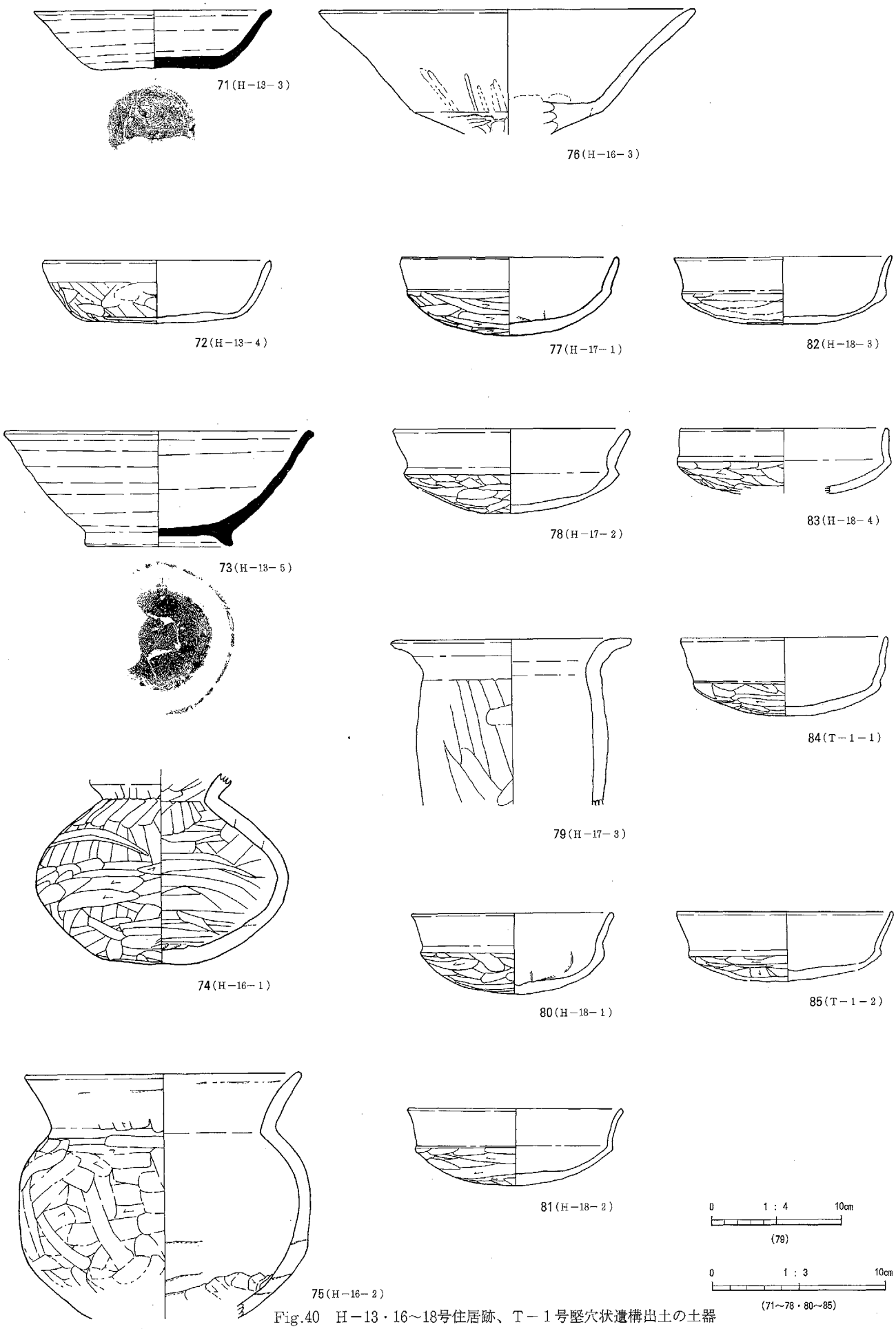
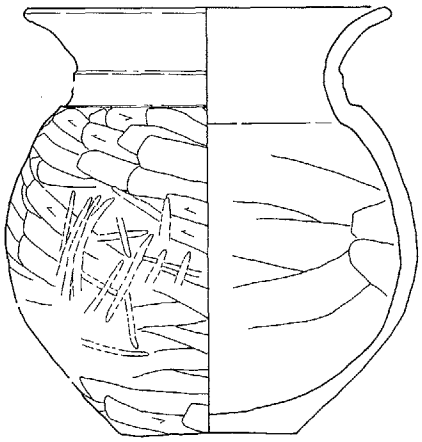
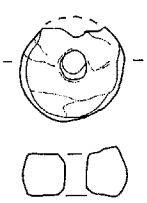


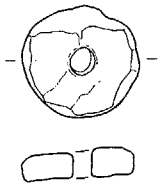
Fig.40　H－13・16～18号住居跡、T－1号竪穴状遺構出土の土器



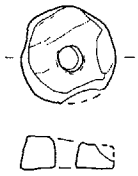
86(T－1－3)



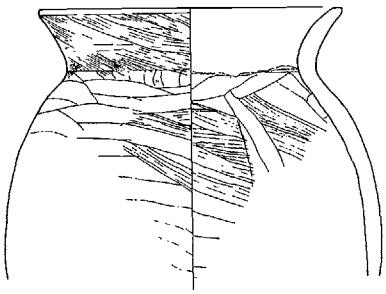
2(H－1)



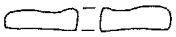
3(H－6)

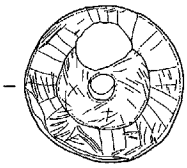


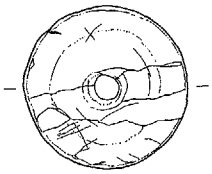
4(J－2)

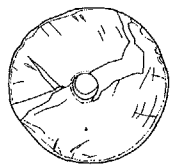


87(T－1－4)

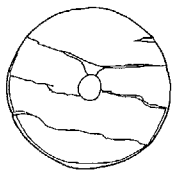




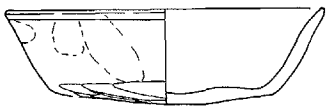




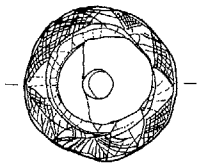
5(H－1)

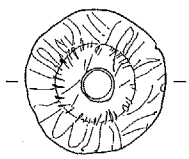


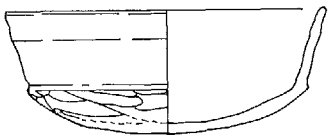
6(H－1)



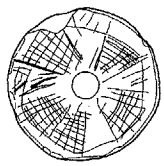
88(W－1－1)



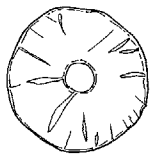




89(D－1－1)



7(H－2)



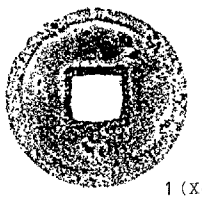
8(H－14)

0　1：4　10cm
(87)

0　1：1　2cm
(1～4)

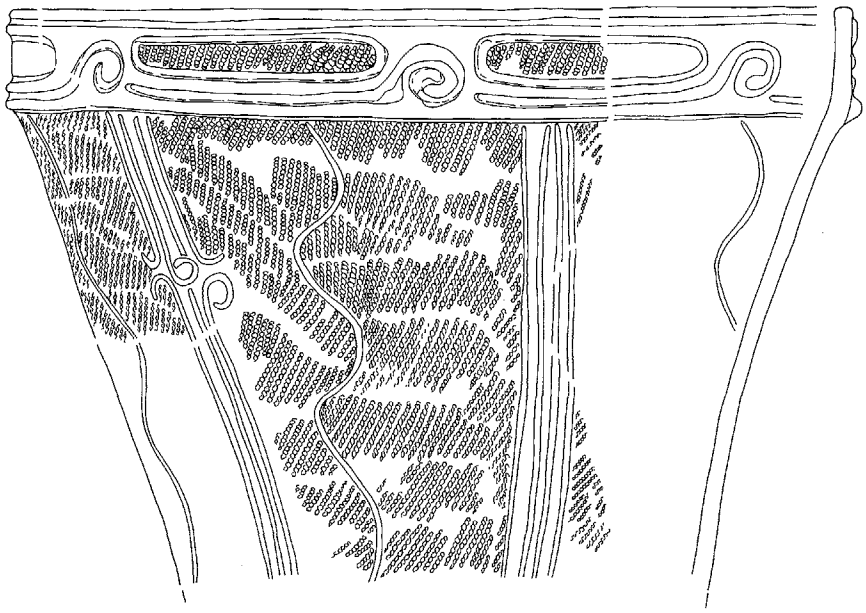
0　1：3　10cm
(86・88・89)

0　1：2　5cm
(5～8)

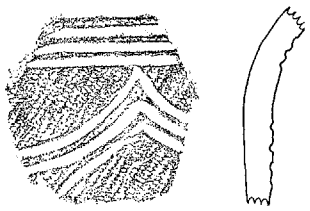


1(X48Y188)

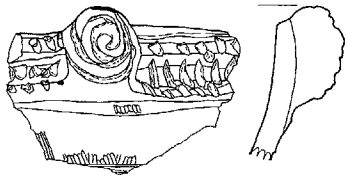
Fig.41　J－2号住居跡、H－1・2・6・14号住居跡、T－1号竪穴状遺構、W－1号溝跡、D－1号土坑、グリッド出土遺物



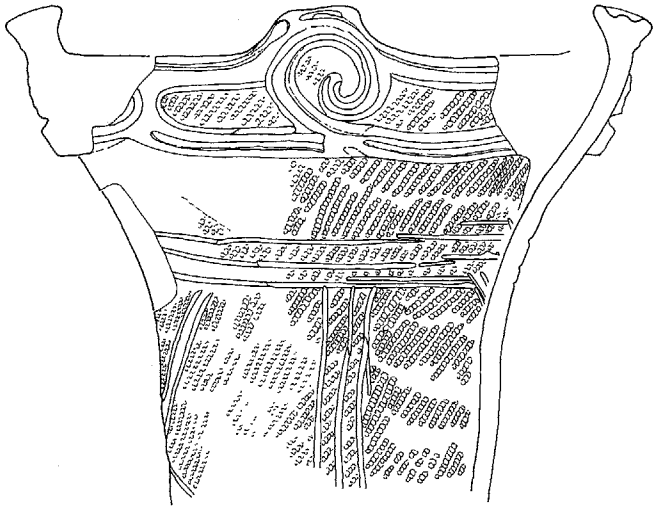
1（J－3）



4（J－3）



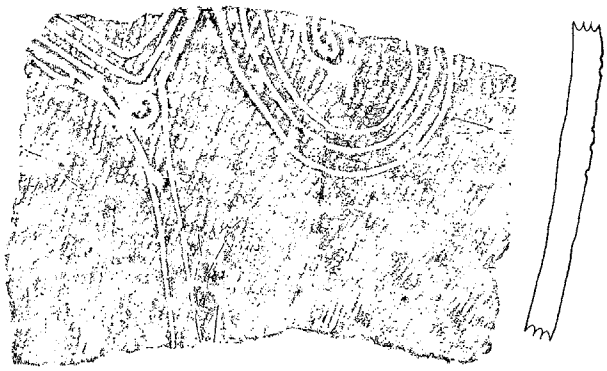
5（J－3）



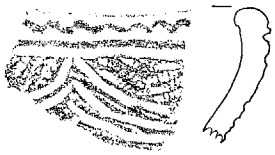
2（J－3）

6（J－3）

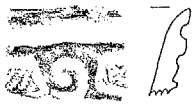
7（J－3）



3（J－3）



8（J－3）



9（J－3）

10（J－3）

11（J－3）

0　1：4　10cm

Fig.42　J－3号住居跡出土の縄文土器

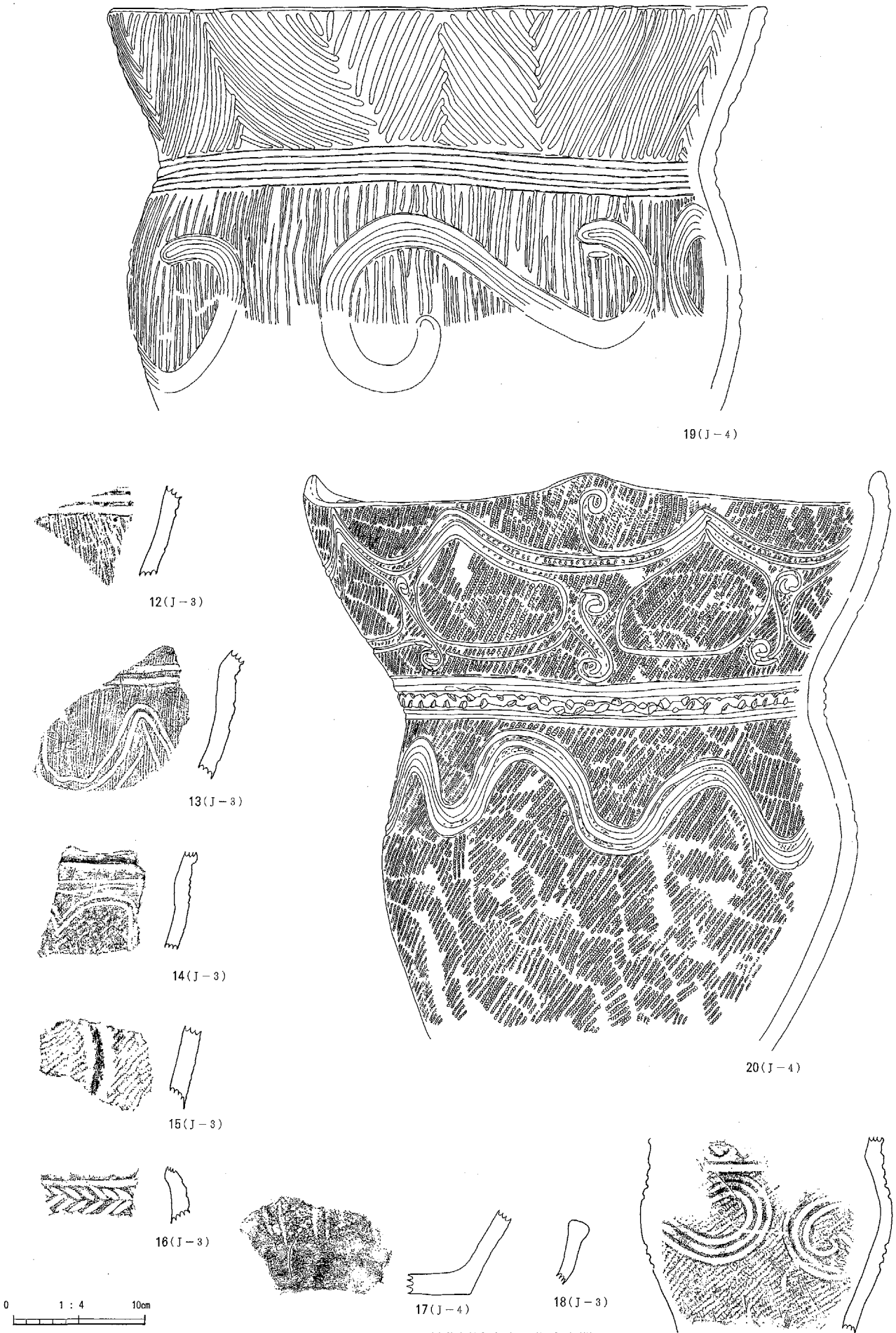
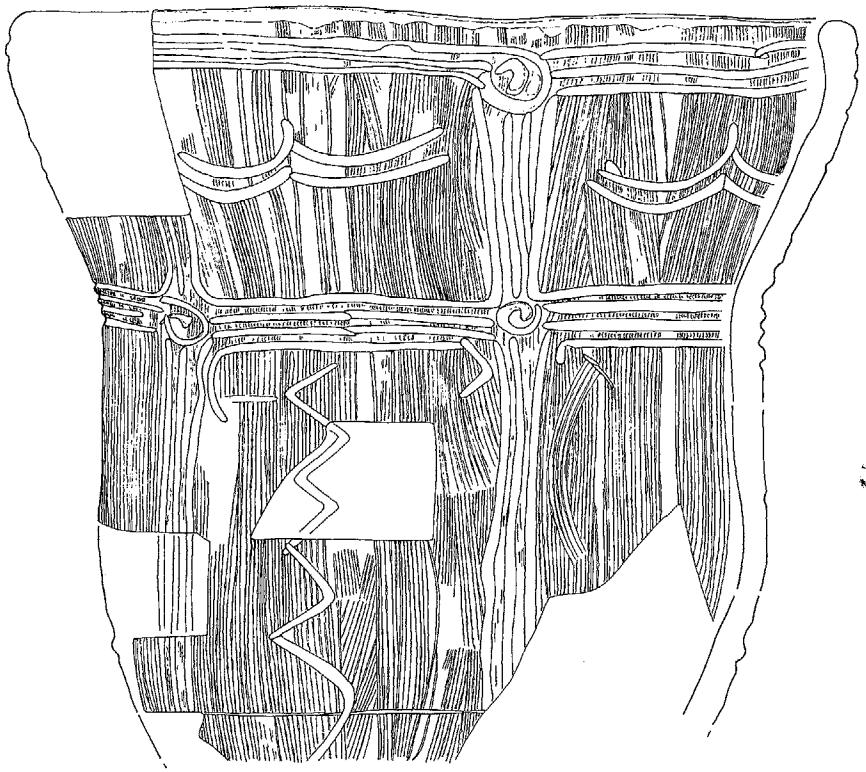
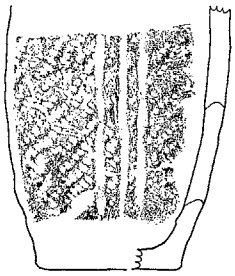


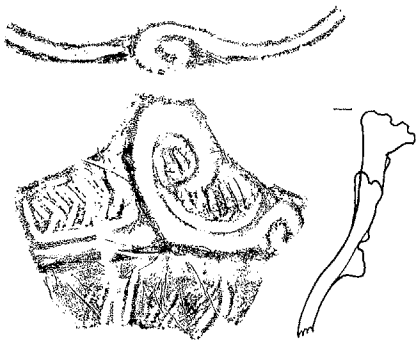
Fig.43　J－3・4号住居跡出土の縄文土器



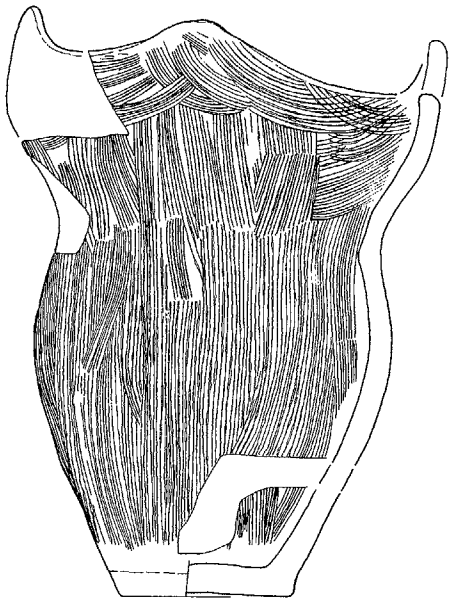
21(J－4)



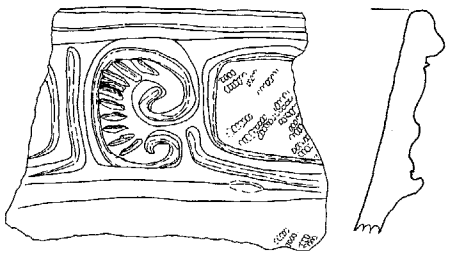
24(J－4)



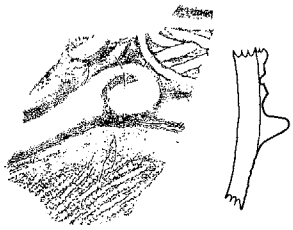
26(J－4)



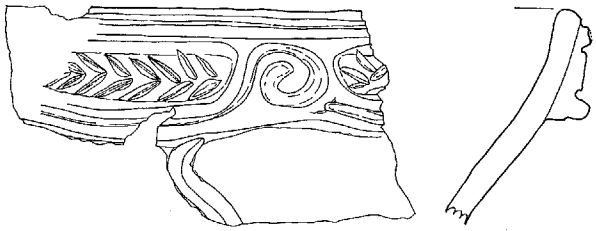
22(J－4)



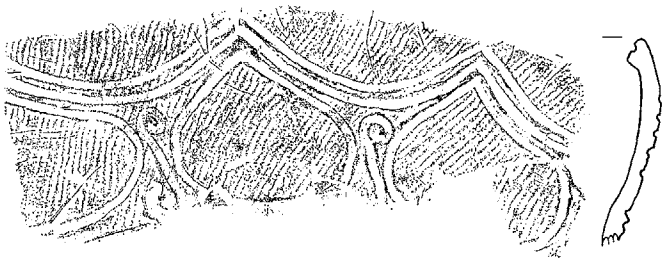
27(J－4)



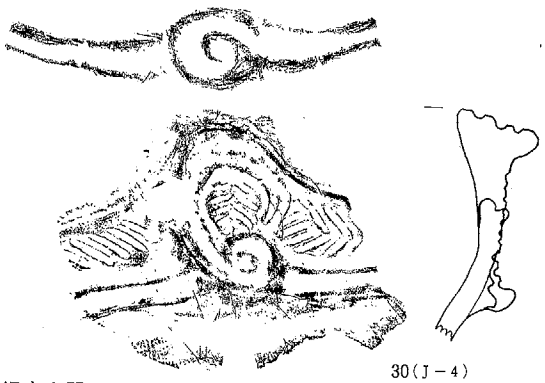
28(J－4)



29(J－4)



25(J－4)



30(J－4)

0　1：4　10cm

Fig.44　J－4号住居跡出土の縄文土器

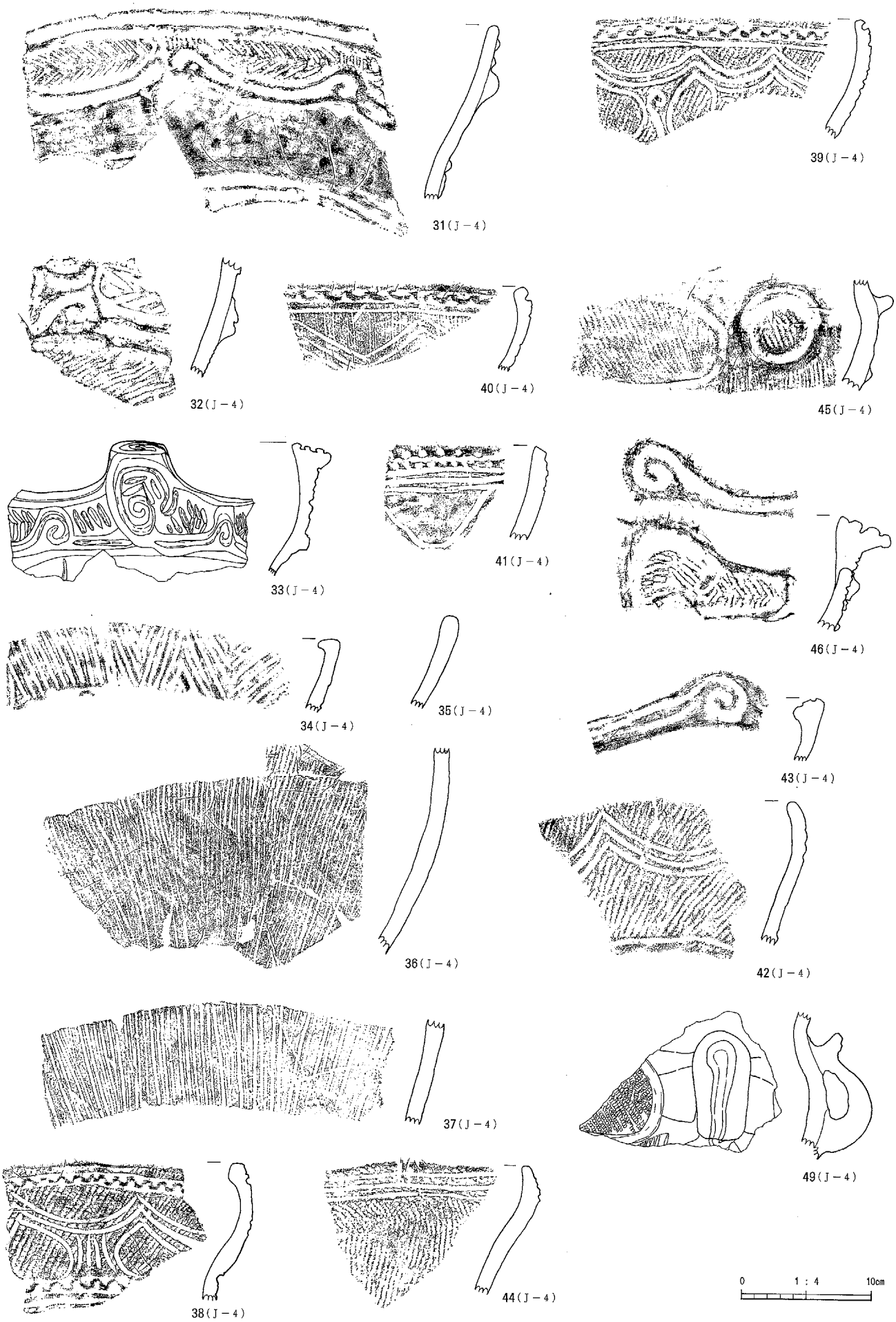


Fig.45　J－4号住居跡出土の縄文土器

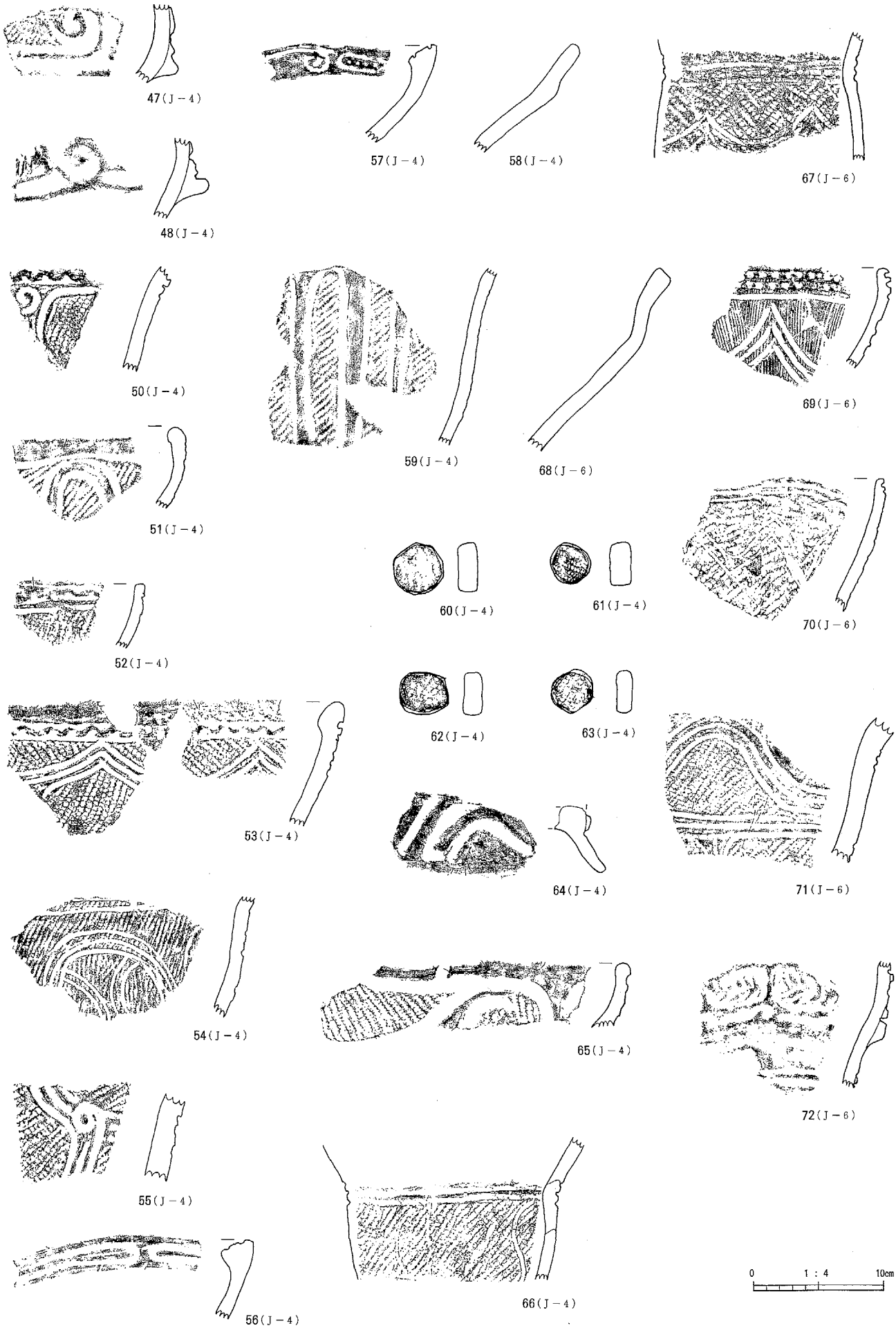


Fig.46　J－4・6号住居跡出土の縄文土器

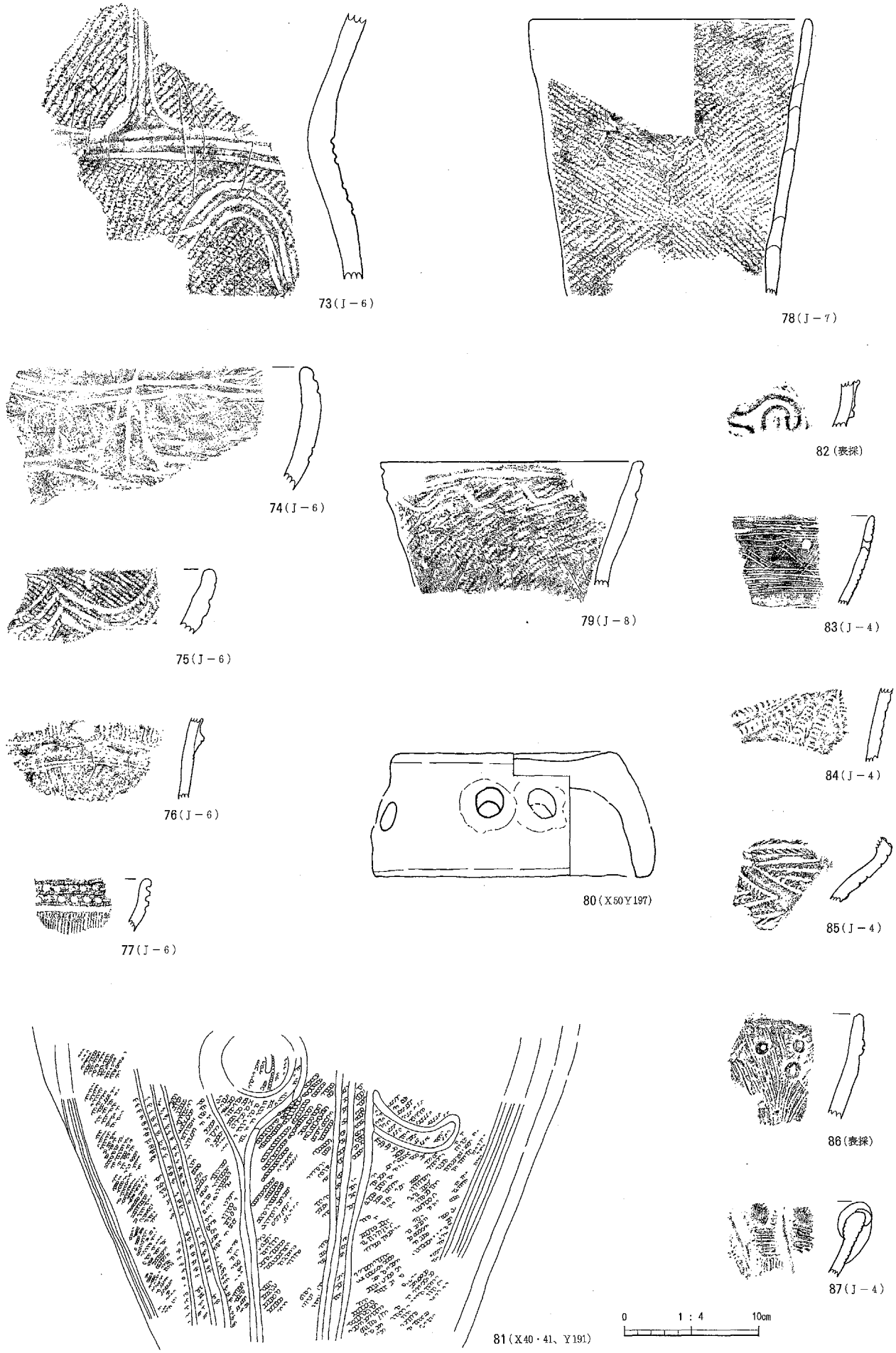


Fig.47　J－4・6～8号住居跡、グリッド出土の縄文土器

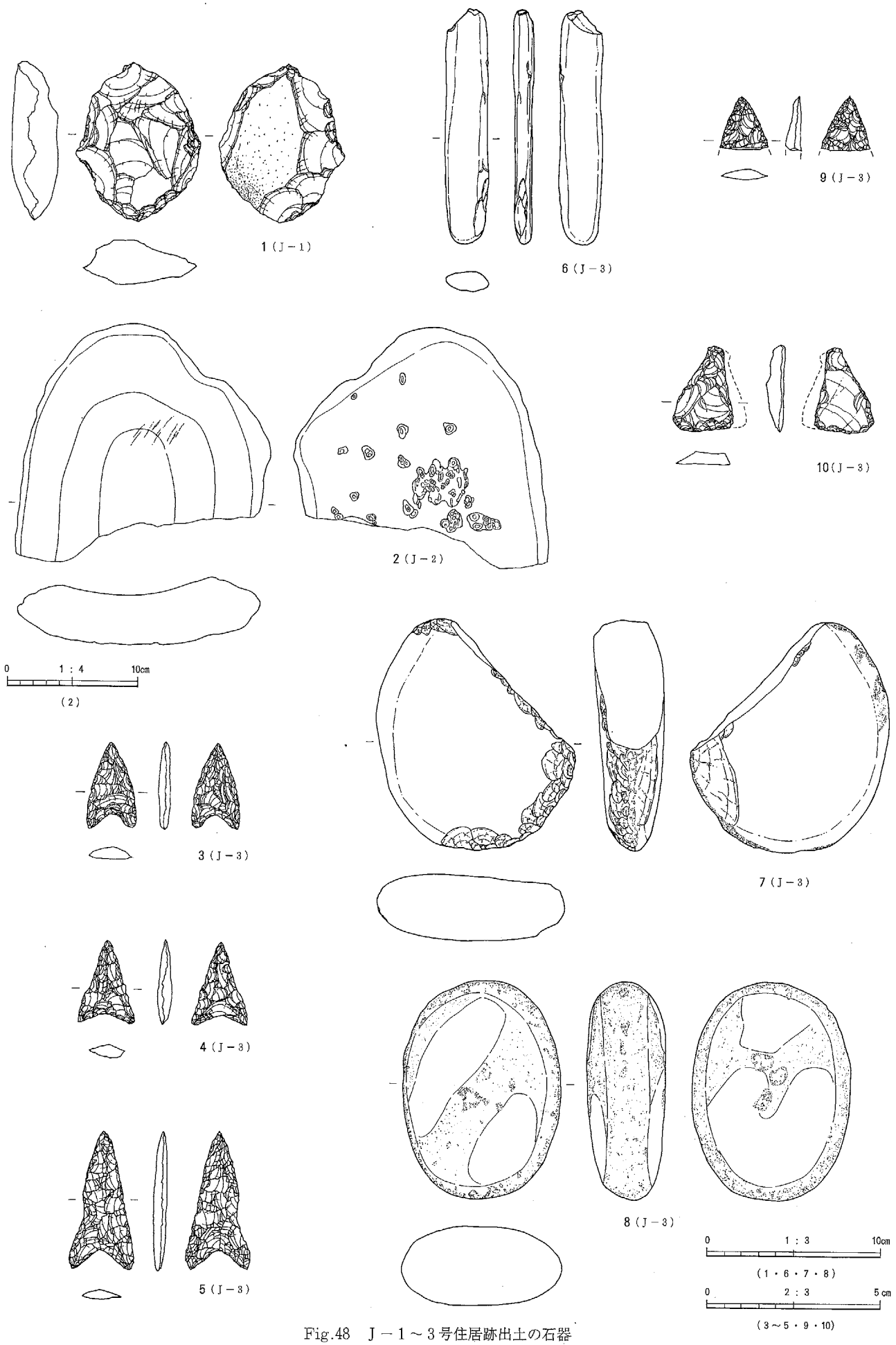


Fig.48　J－1～3号住居跡出土の石器

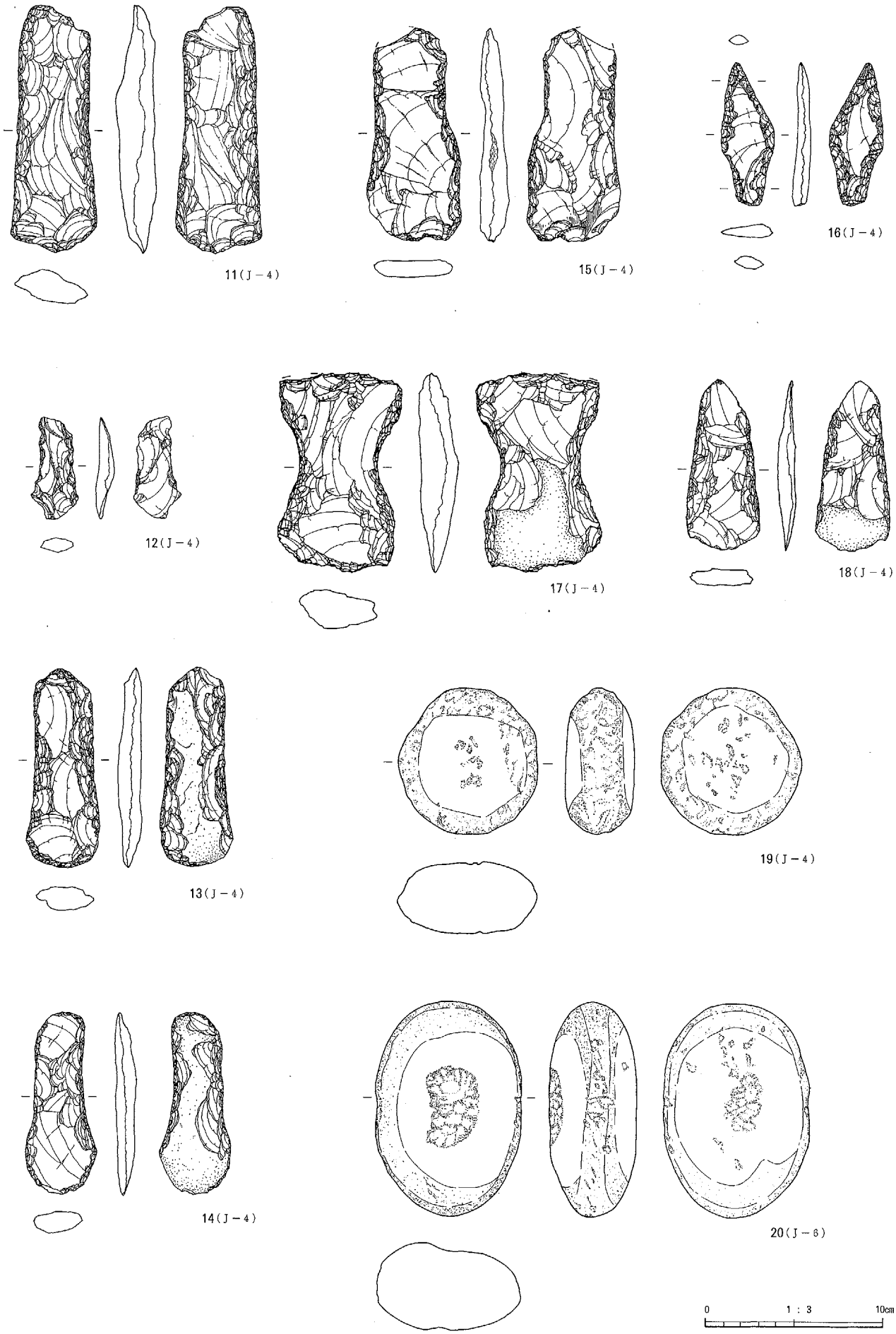


Fig.49　J－4・6号住居跡出土の石器

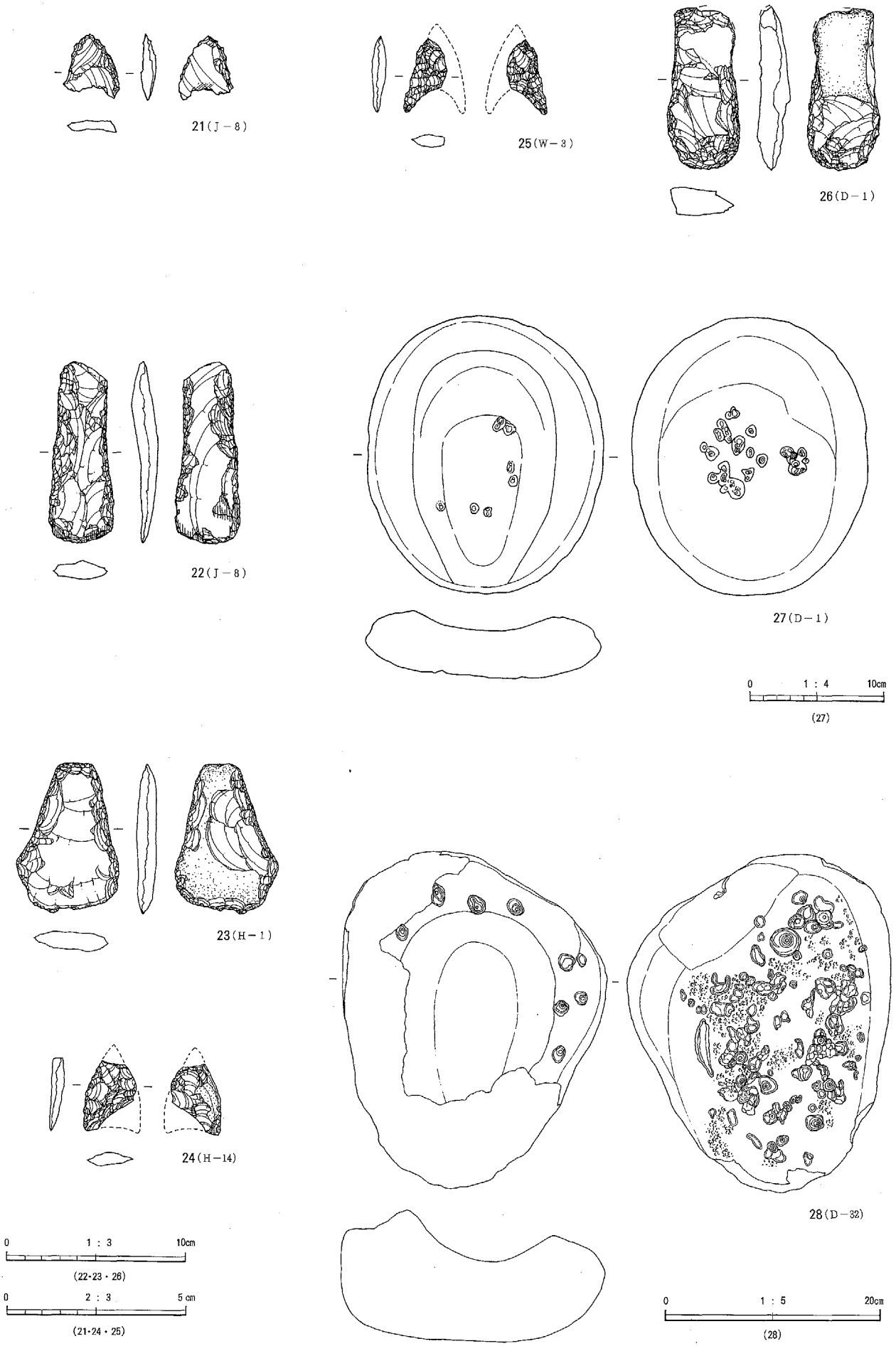


Fig.50　J－8号住居跡、H－1・14号住居跡、W－3号溝跡、D－1・32号土坑出土の石器

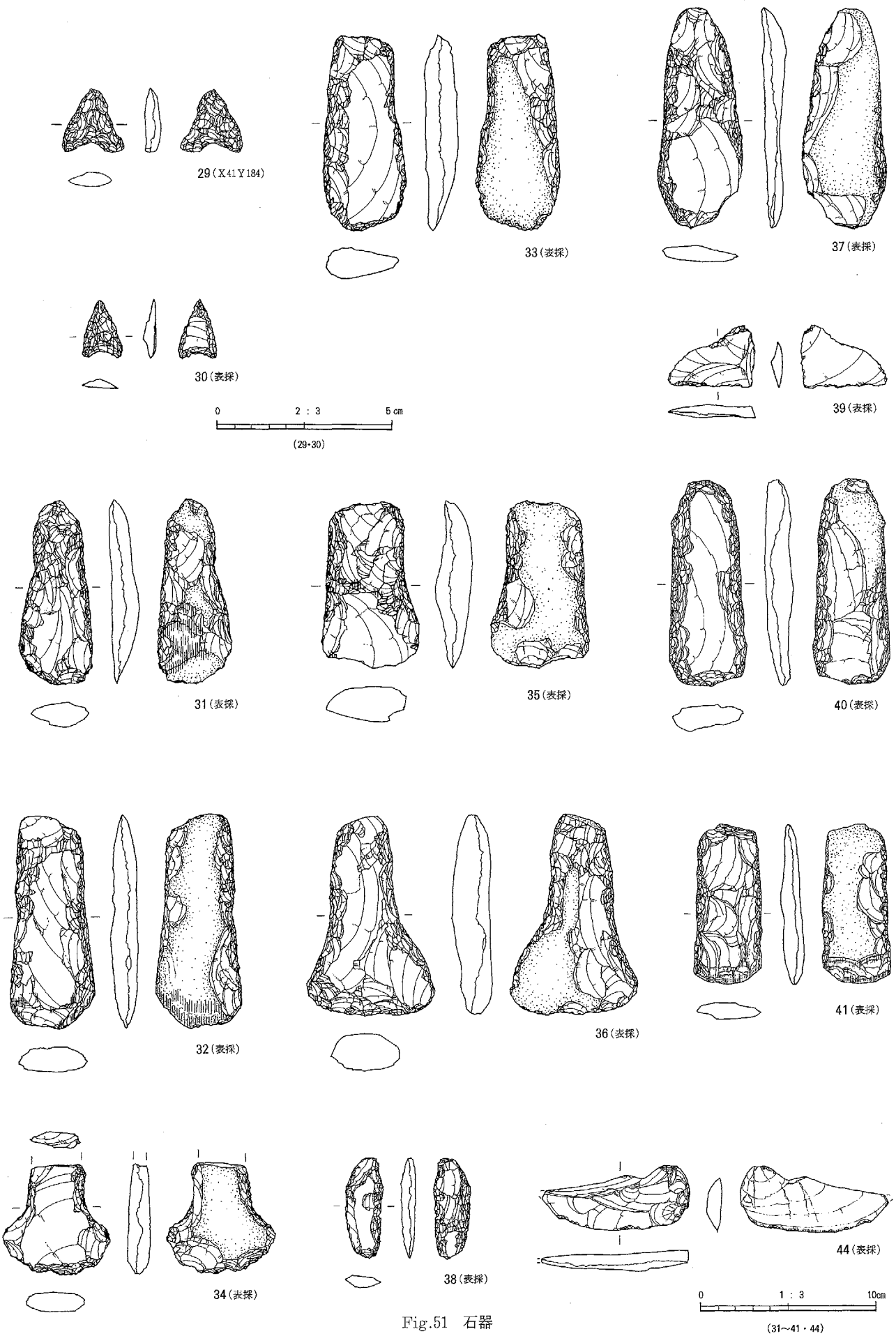

29(X41Y184)
33(表採)
37(表採)
30(表採)
39(表採)
0 2 : 3 5cm
(29・30)
31(表採)
35(表採)
40(表採)
32(表採)
36(表採)
41(表採)
34(表採)
38(表採)
44(表採)
0 1 : 3 10cm
(31~41・44)

Fig.51 石器

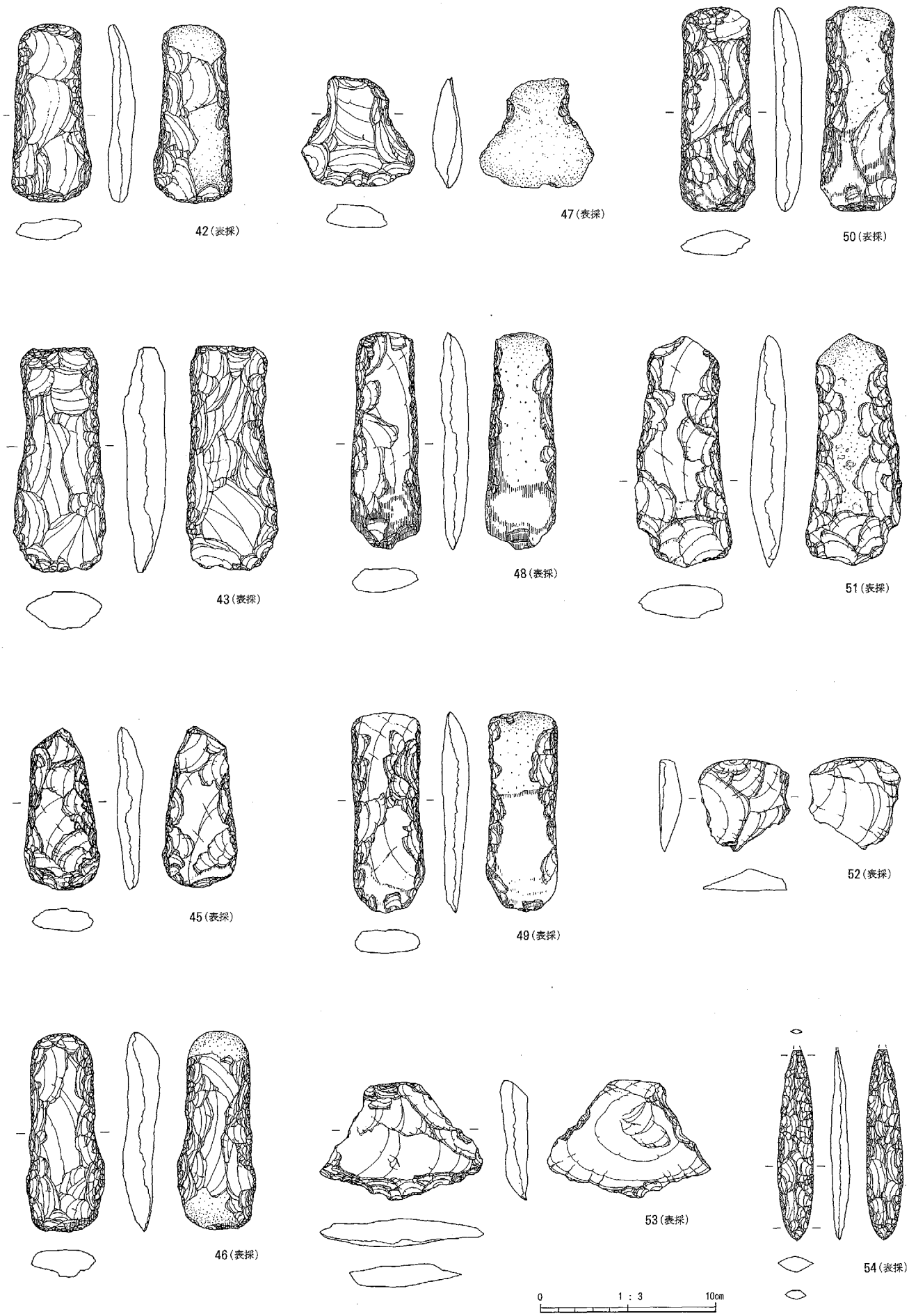

42(表採)
47(表採)
50(表採)
43(表採)
48(表採)
51(表採)
45(表採)
49(表採)
52(表採)
46(表採)
53(表採)
54(表採)
0
1 : 3
10cm

Fig.52 石器